

1 - 2 五街道・歴史街道に関する自治体アンケート調査

1 - 2 - 1 アンケートの実施方針

(1) アンケート調査の目的

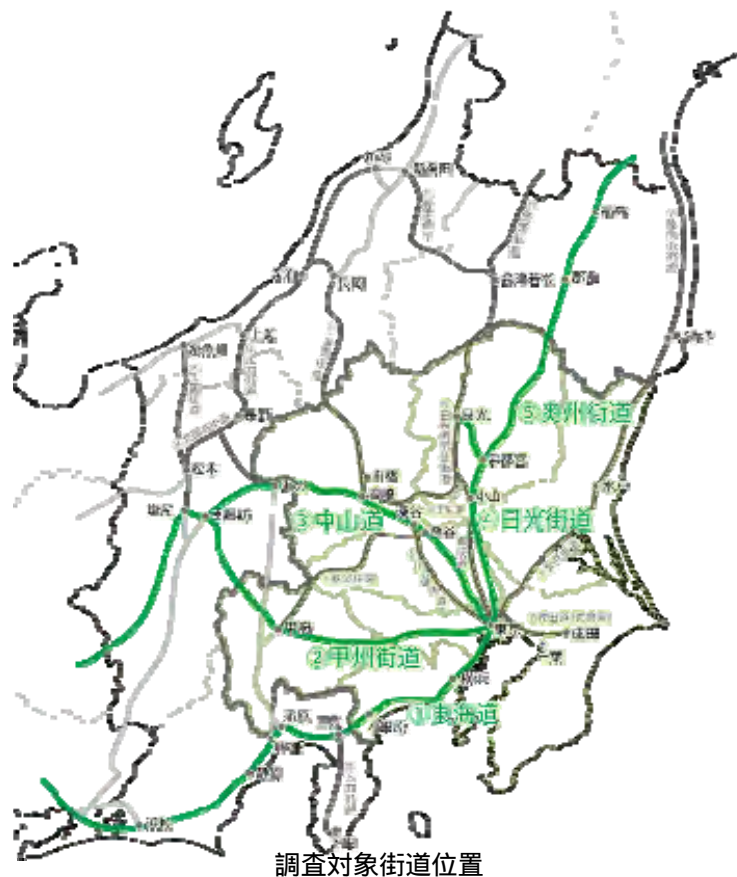
街道の沿線自治体を対象に、街道にまつわる歴史・文化資源、観光実態、活動状況など基礎調査に関するデータを取得するためにアンケート調査を実施する。

また、アンケートに回答する行為を通して、街道の沿線自治体が、地域の資源及び活動を見直し、連携・交流による発展の可能性を感じてもらうとともに、街道をテーマとした広域的な連携・交流に向けた意欲や活動の芽を把握し、連絡会議等の場における意見交換を促進する議題の抽出や参加自治体等の選出に資する情報を取得する。

(2) アンケート調査の対象

広域首都圏1都11県の5市区町村(東京都島嶼部9町村は除く)(平成20年11月時点)のうち、五街道及び江戸(東京)を中心に放射状に各地域を結ぶ脇街道、歴史街道が通っている258市区町村を調査対象とする。

調査対象とした街道は、東海道、甲州街道、中山道、日光街道・日光御成街道、奥州街道、川越街道・秩父往還、三国街道、水戸街道、陸前浜街道、日光例幣使街道・日光壬生道、会津街道・会津通り、下田街道、成田道、北国街道・北国西街道、千国街道。



(3) アンケート送付状

平成 20 年 11 月 28 日

市区町村

企画担当課長 各位

首都圏広域地方計画協議会事務局
国土交通省関東地方整備局 首都圏広域地方計画推進室

五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する

自治体アンケート調査へのご協力をお願い

国土交通行政の推進につきましては、平素よりご協力を賜り御礼申し上げます。

首都圏広域地方計画協議会においては、21 世紀の新たな首都圏を実現するため、「首都圏広域地方計画」の策定に向けて、今後の首都圏における総合的な国土形成の方針やその実現のために必要な主要施策等について協議を進めているところです。

そのなかで、新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略として、「五街道・歴史街道魅力アッププロジェクト」(同封資料参照)を位置づけ、街道を活かした文化の薫り高い地域づくりを地域のみならずと広域的に連携しながら取り組んでいく所存です。

当該プロジェクトでは、五街道・脇街道などが築いてきた歴史・文化・風土・景観等の地域資源に着目し、街道を活かした歴史まちづくりや広域連携の取り組みを進めることにより、地域の魅力向上を図り、地域のブランド力や情報発信力の強化につなげることを目指しています。

そこで、当該プロジェクトの推進にあたり、貴市区町村における街道沿いの地域の歴史資源及びそれらの資源を活かしたまちづくりの取り組み状況を調査させていただくとともに、街道をテーマとした連携・交流の可能性についてのご意向を伺いたいと存じます。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮に存じますが、当該プロジェクトの主旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、調査結果については、街道ごとにとりまとめ整理し、連絡会議等の場を設けて情報提供を図りたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

【調査に関する問合せ】

国土交通省関東地方整備局 首都圏広域地方計画推進室(鈴木、土田)

〒330-9742 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1 さいたま新都心合同庁舎 2 号館
16 階

TEL 048-600-1945 FAX 048-600-1946

kokudokeisei@ktr.mlit.go.jp

ご記入していただいた調査票は、同封した返信用封筒に入れて平成 20 年 12 月 12 日(金)までにご返送をお願いいたします。

(4) アンケート同封資料
このアンケートは

五街道と脇街道など、首都圏の歴史街道にかかわる
市町村のみなさんに協力をお願いしています

そのわけは？

いま、あらためて街道が目まぐるしています。

首都圏では、五街道・脇街道が広域的に発達し、多種多様な役割を果たしてきましたが、往時の面影は失われつつあります。街道が築いてきた文化・資源に着目し、街道でつながった地域が広域的に連携して魅力の向上に取り組むことで、地域の価値が高まり、ブランド力、情報発信力が強化されると考えています。

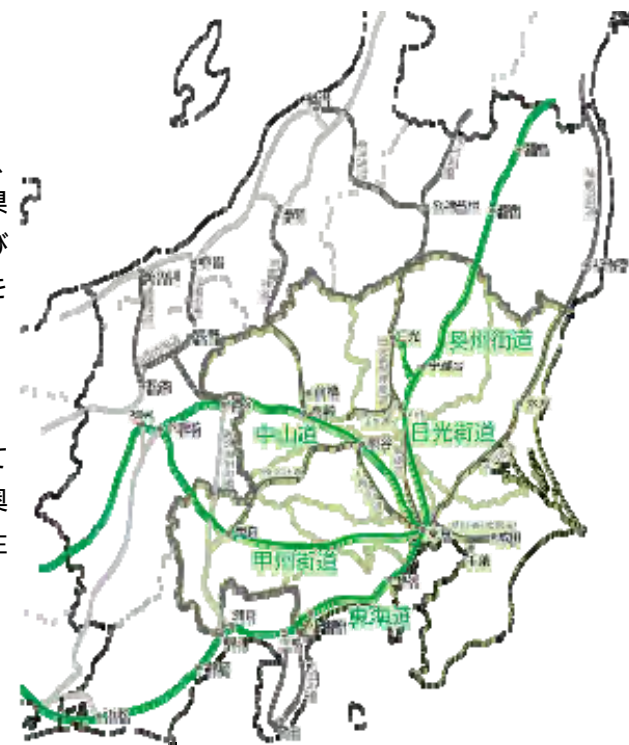
「五街道・歴史街道魅力アップ プロジェクト」は、策定中の「首都圏広域地方計画」の主要プロジェクトのひとつに位置づけられており、地域の発意で行う取り組みを、国はバックアップしていきます。

その範囲は？

「首都圏広域地方計画」は、首都圏（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び山梨県の1都7県）と、隣接する福島県、新潟県、長野県及び静岡県の4県を一体とした区域である「広域首都圏」を対象区域としています。

五街道・歴史街道って？

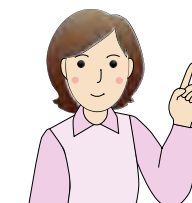
「五街道」のプロジェクトでは、日本橋を起点として放射状に伸びる五街道（東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道）と、その枝道や古街道である脇往還（日光例幣使街道など）を主な対象としています。



では、「五街道」のプロジェクトのめざすものは？

例えば、川越（埼玉県）の街道観光とまちづくり

江戸との舟運による物流、穀物・織物・たんすなど商業で栄え、明治期の大火を機につくられた土蔵造りの街並みを資源として、まちづくりが行われています。まちなみ整備にとどまらず、住む人が楽しみとし、誇りを持てる、歴史街道を活かした活動が地域の発案で実現しています。



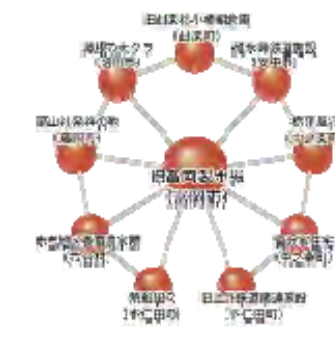
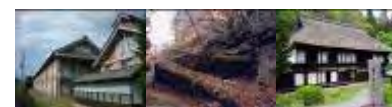
「歴史資源を保存する」だけでなく、
わがまちのよさを再認識し、多面的なまちづくりを、
街道を通して連携しながら行っていくことを目指しています。

「川越は旧街道の資源が豊富だから」
「わがまちは関係ないのでは」などとお思いになるかもしれません



日本で最初の官営製糸工場である「旧富岡製糸場」(群馬県富岡市)は、工場のほかに養蚕農家群、鉄道施設、繭を保存した風穴など8市町村に散在する絹産業遺産をあわせて世界遺産登録を目指しています。そのため養蚕ボランティアやツアーガイドの養成など市町村界を越えて連携した取り組みをすすめて県内外にアピールし、相乗効果をあげています。

同じように、たとえひとつひとつの地域資源の知名度は低くとも、ひとつの街道でつながるまち同士が連携することで、魅力的な街道ができるはず。



「旧富岡製糸場と絹産業遺産」として連携

各種の制度を組み合わせ、
街道を活かしたまちづくりを総合的に支援します

法令・制度: 歴史まちづくり法、景観法など

例えば、「歴史まちづくり法」は歴史的風致維持向上計画の策定・認定により、法律上の特例措置、各種事業による支援を受けられます。

各種事業: 歴史的環境形成総合支援事業、景観形成総合支援事業、都市公園事業、まちづくり交付金、街なみ環境整備事業など

例えば「歴史的環境形成総合支援事業」では歴史的風致形成建造物の復原・修理や周辺のハード整備のほか、伝統行事などソフト事業も支援します。

法律上の特例措置: 歴史的風致形成建造物、都市公園、電線共同溝、文化財保護、農業用排水施設、屋外広告物の特例など

(5) アンケート票

五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する アンケート調査

_____都・県 _____市・区・町・村

回答いただいた方：氏名_____ ご所属_____ 役職_____

連絡先_____ メールアドレス_____

ご記入いただいた個人情報については「個人情報の保護に関する法律」に基づいて適正に管理し、当該プロジェクトに関する問い合わせ等にものみ使用させていただきます。

「街道を活かしたまちづくり」に関するお考えについておききします

問1 貴市区町村内に残る街道（五街道・脇街道及び歴史街道）は以下のどれにあたりますか。
(該当するものすべてに)

東海道	中山道	日光街道	奥州街道	甲州街道
三国街道	北国街道	会津街道	千国街道	水戸街道
川越街道	成田道（佐倉道）	陸前浜街道	日光例幣使街道	
その他（				）

問2 貴市区町村の街道はどのような状況にありますか。

街道沿いに歴史的な建物や史跡が連続して残っているなど風情がある	
街道沿いに歴史的な建物や史跡が残る場所が点在する	
街道沿いに歴史的な建物や史跡がごく一部にある	
街道沿いに往時の面影はない	
その他（	）

問3 貴市区町村において街道はどのような位置づけにありますか。

街道は地域の歴史的な資産として位置づけられ、それらを活かしたまちづくりが進められている	
街道は地域の歴史的な資産として認識されており、まちづくりの取り組みが一部にある	
街道は地域の歴史的な資産として認識されているが、まちづくりの取り組みは特にない	
街道があることは認識されているが、歴史的な資産としてはあまり考えられていない	
街道があったことが認識されている程度である	
その他（	）

首都圏広域地方計画協議会においては、新しい首都圏の実現に向けた地域の戦略として、「五街道・歴史街道魅力アッププロジェクト」を位置づけ、街道を活かした文化の薫り高い地域づくりを地域のみなさんと広域的に連携しながら取り組んでいきます。

当該プロジェクトでは、五街道・脇街道などが築いてきた歴史・文化・風土・景観等の地域資源に着目し、街道を活かした歴史まちづくりや広域連携の取り組みを進めることにより、地域の魅力向上を図り、地域のブランド力や情報発信力の強化につなげることを目指しています。

問4 貴市区町村が「五街道・歴史街道魅力アッププロジェクト」の推進による広域的な連携・交流に期待することについてご記入ください。(該当するものすべてに)

イベントなどを連携して行うことで、来訪者の増加が期待される
連携して情報発信（HP、パンフレットなど）することで、知名度が高まる
定期的に情報交換することで、刺激を受けて活動が活発になる
街並の保全など連携した取り組みを行うことで、街道としての魅力が高まる
交流イベントや意見交換を実施することで、まちづくりのノウハウが共有できる
交流イベントや意見交換を実施することで、活動の担い手の確保・育成につながる
その他()

問5 貴市区町村が、五街道・歴史街道を活かしたまちづくりを進めるために必要と考えることはどのようなことですか。(該当するものすべてに)

歴史的な資産の保全・再生に対する支援措置
歴史的な資産を活かした交流の場の設置等に対する支援措置
歴史的な資産を活かした伝統行事等に対する支援措置
支援制度の活用に関する情報提供
街道沿いの他市区町村との情報交換の場
まちづくりの担い手育成に関する支援措置
その他()

問6 首都圏広域地方計画協議会では、五街道・歴史街道を活かしたまちづくりを進めるために、街道沿いの市区町村による情報交換の場として連絡会議の設置等を検討しています。
貴市区町村ではこのような情報交換の場の設置についてどのようなお考えをお持ちですか。

情報交換の場は必要である
情報交換の場があってもよい
情報交換の場の必要性はあまり感じない
その他()

貴市区町村の街道と歴史資源についておききします

問7 街道をテーマとした連携・交流の可能性を検討するうえでの基礎資料として、街道の状況及び街道沿いの地域の歴史資源を確認させていただきたいと思います。

まず、貴市区町村内に残る街道（五街道・脇街道及び歴史街道）及び宿場（本陣等）の位置を教えてください。

貴市区町村の管内図（縮尺5万分の1程度）に「街道」「宿場」「主な歴史資源」等の位置をサインペン等で記入し、返信用封筒に同封してください。（同封の記入例を参照）

問8 貴市区町村内の街道沿いに残る宿場（本陣等）の現在の状況、街道をテーマとした連携・交流の可能性のある地域の主な歴史資源、人物等について教えてください。

【宿場名と現在の状況】

（現在の状況の記入例：往時の面影が連続して残っている、再整備されて往時の面影が復元されている、往時の面影を残す建物がある、往時の面影はない等）

- _____宿（現在の状況：_____）
- _____宿（現在の状況：_____）
- _____宿（現在の状況：_____）
- _____宿（現在の状況：_____）
- _____宿（現在の状況：_____）

【地域の主な歴史資源、人物名と連携・交流の可能性】

（街道沿いに同様の資源が連続する、知名度が高い、多くの来訪者が訪れる、光をあてれば輝く可能性がある等）

- 資源名_____（連携・交流の可能性：_____）
- 資源名_____（連携・交流の可能性：_____）
- 資源名_____（連携・交流の可能性：_____）
- 資源名_____（連携・交流の可能性：_____）
- 資源名_____（連携・交流の可能性：_____）

歴史資源名及びその内容がわかる資料（パンフレット、マップ、リスト等）があれば、返信用封筒に同封してください。

貴市区町村の「街道を活かしたまちづくり」についておききします

問9 貴市区町村で実施している(または実施したいと考えている) 街道及び街道沿いに残る地域の歴史資源を活かしたまちづくりの取り組みについて教えてください。

(該当する箇所を つけてください)

地域の歴史資源を活かしたまちづくりの取り組み(例示)	実施している	実施したい
歴史的建造物や街並の保全活動		
歴史的建造物や街並の再生・整備		
歴史的な資産を活かした交流拠点づくり		
歴史的な資産を活かしたイベントの開催		
歴史的な資産の案内地図の作成、サインの設置		
市民ガイド等による案内の実施		
体験観光メニューの開発、実施		
歴史的な資産のブランド化、商品開発		
その他 ()		

問10 上記で実施していると記されたまちづくりの取り組みの具体的な名称と実施主体を教えてください。また、活動が活発なものをつけていただき、次ページの問11において具体的な内容について教えてください。

取り組みの名称	実施主体(民間団体等含む)	活動が活発なもの

取り組みの内容がわかる資料(パンフレット、イベントのチラシ等)があれば返信用封筒に同封してください。

問 11 問 10 でご記入いただいた活発に活動が行われている取り組みについて、取り組みの目的、具体的な取り組みの内容、NPO等の民間団体との連携状況、取り組みで工夫している点、及び課題と今後の方向等について教えてください。

取り組みの名称	
取り組みの目的	
取り組みの内容 活用している地域資源、 活用している公的支援策 など	
実施時期	
参加者（数）	
NPO等の民間団体との 連携状況	
取り組みの工夫点 資金集めの工夫、 人集めの工夫、 組織運営の工夫 など	
取り組みの課題 （今後の方向）	

複数の取り組みが行われている場合、当該シートをコピーしてご記入願います。

問 12 今後、街道をテーマに広域的に連携・交流してみたいNPO等の民間団体、市区町村があれば、名称とその理由をご記入ください。

【連携・交流してみたいNPO等の民間団体とその理由】

民間団体名_____

(連携・交流したい理由 : _____)

【連携・交流してみたい市区町村とその理由】

市区町村名_____

(連携・交流したい理由 : _____)

問 13 最後に、五街道・歴史街道を活かしたまちづくりについて、どのようなことでも結構ですので、ご意見をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入していただいた調査票、街道の位置を記した管内図、及び地域の歴史資源・取り組みがわかる資料(パンフレット等)は、同封した返信用封筒に入れて平成20年12月12日(金)までにご返送をお願いいたします。

1 - 2 - 2 アンケート結果

(1) 回答市区町村の属性について

実施日：平成 20 年 11 月 26 日発送

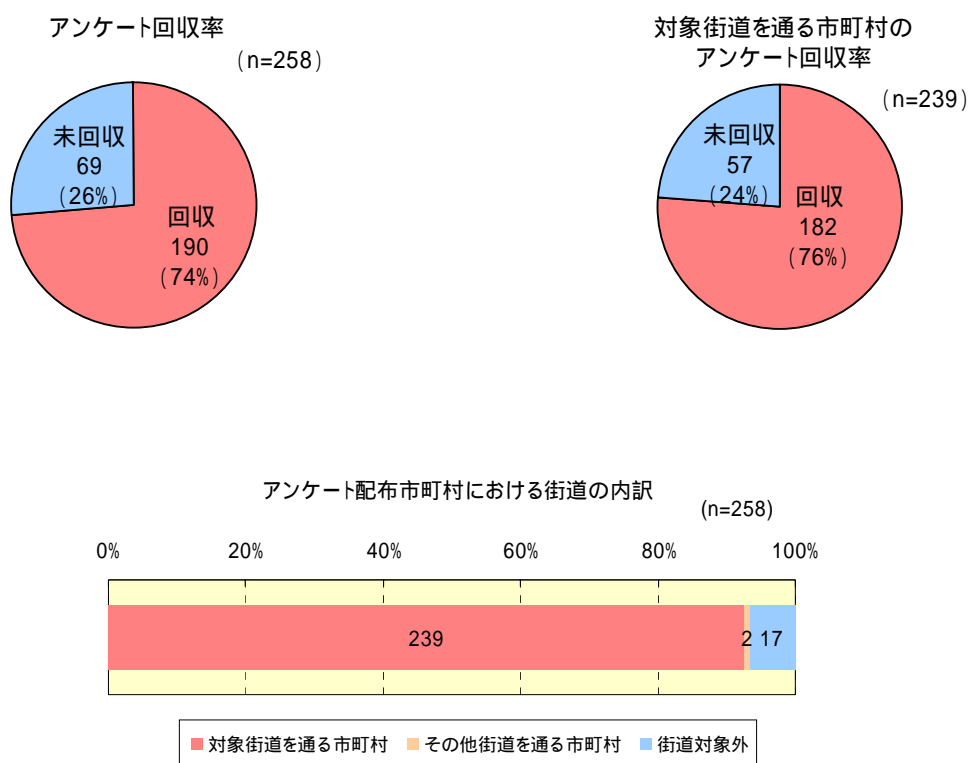
配布数：258 市区町村

配布および回収方法：郵送による配布・回収（回収 190 票（74%））

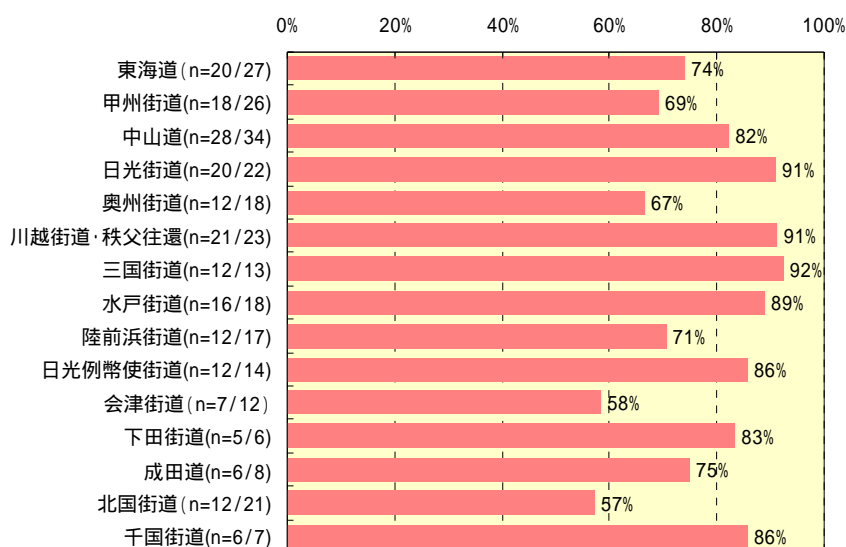
アンケートは 190 票（74%）の回答数となっている。アンケートを配布した 258 市区町村のうち、対象街道を通過している市町村は 239 市区町村であり、そのうち 182 市区町村（76%）からの回答があった。

街道別では、三国街道、日光街道・日光御成街道、川越街道・秩父往還沿線の市町村からの回答率が高く、90%以上の市町村からの回答があった。

また、今回対象としている街道以外に、各市区町村を通過している「その他の街道」として 49 街道が挙げられた。特に、鎌倉街道では 8 市町村、越後・米沢街道では 5 市町村が通過していると回答している。



街道毎の回収率



注) 街道毎のn値は、他街道と重なる市町村も含むため合計は239にはならない

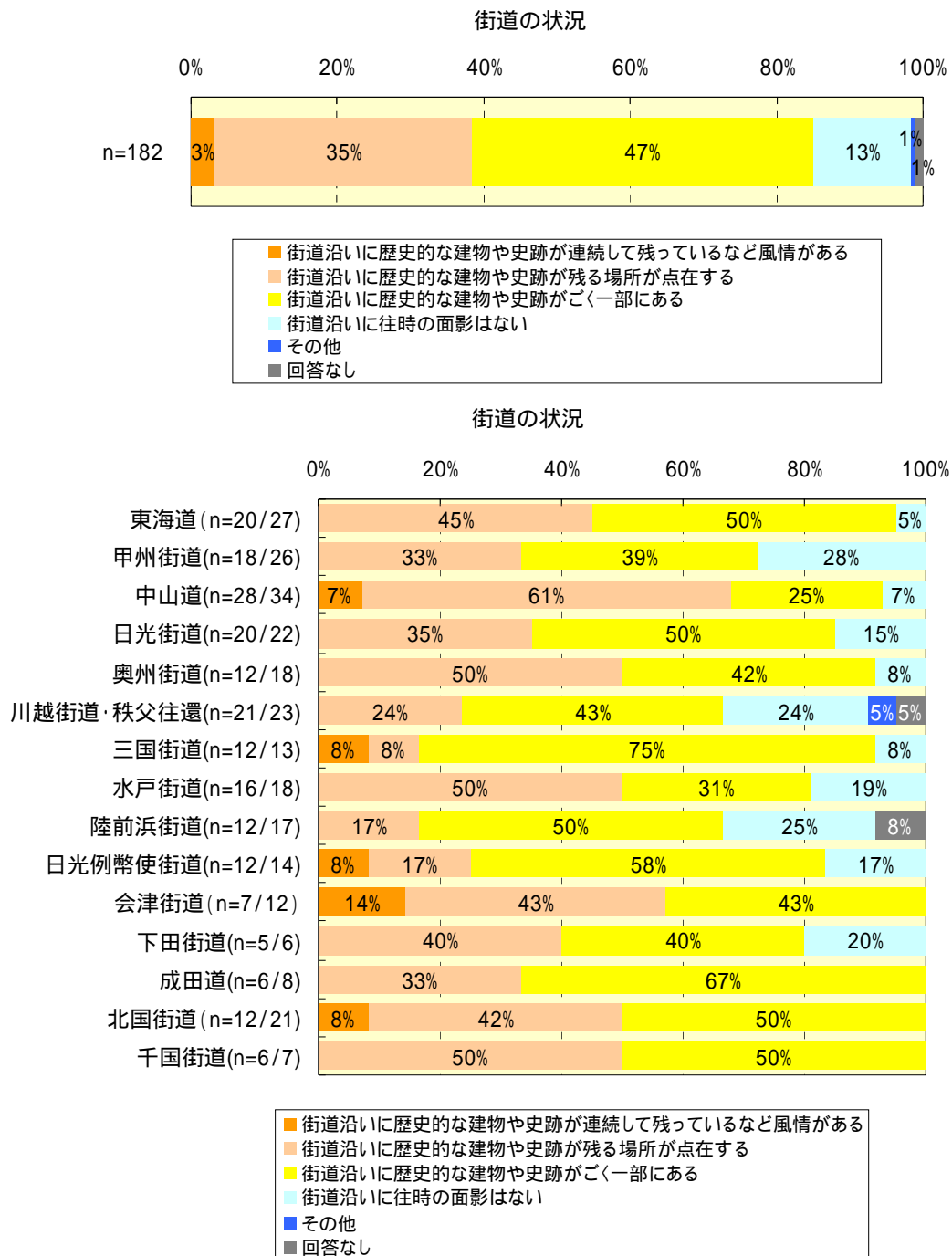
その他街道	市町村数
1 鎌倉街道	8
2 越後・米沢街道	5
3 日光脇往還	4
4 羽州街道	3
5 沼田街道	3
6 佐久甲州街道	2
7 佐渡奉行街道	2
8 棚倉街道	2
9 あずま道	1
10 伊香保道	1
11 越後裏街道	1
12 加賀街道	1
13 会津西街道	1
14 会津中街道	1
15 関街道	1
16 銀山街道	1
17 結城道	1
18 権兵衛街道	1
19 原街道	1
20 五千石街道	1
21 江戸往還道	1
22 江戸街道	1
23 行徳道	1
24 国分道	1
25 根府川通	1

その他街道	市町村数
26 佐野川往還	1
27 佐野道	1
28 三州街道	1
29 駿信往還	1
30 菖浦往還	1
31 上総道	1
32 新田往還	1
33 神奈川往還	1
34 推定東山道駅路	1
35 清戸道	1
36 青梅街道	1
37 足尾銅山街道	1
38 秩父江戸巡礼古道	1
39 秩父裏街道	1
40 田沼街道	1
41 東山道	1
42 栃木道	1
43 日光街道東往還	1
44 日光山裏道	1
45 日光東街道	1
46 熱海道	1
47 福島街道	1
48 木下道	1
49 立石道	1

(2) 各市区町村における街道の状況について

対象街道が通過しており、アンケートの回答があった 182 市区町村のうち、「街道沿いに歴史的な建物や史跡がごく一部にある」と回答している市区町村が最も多い。一方、「街道沿いに歴史的な建物や史跡が連続して残っているなど風情がある」と回答している市区町村は 3%とごくわずかにとどまっている。

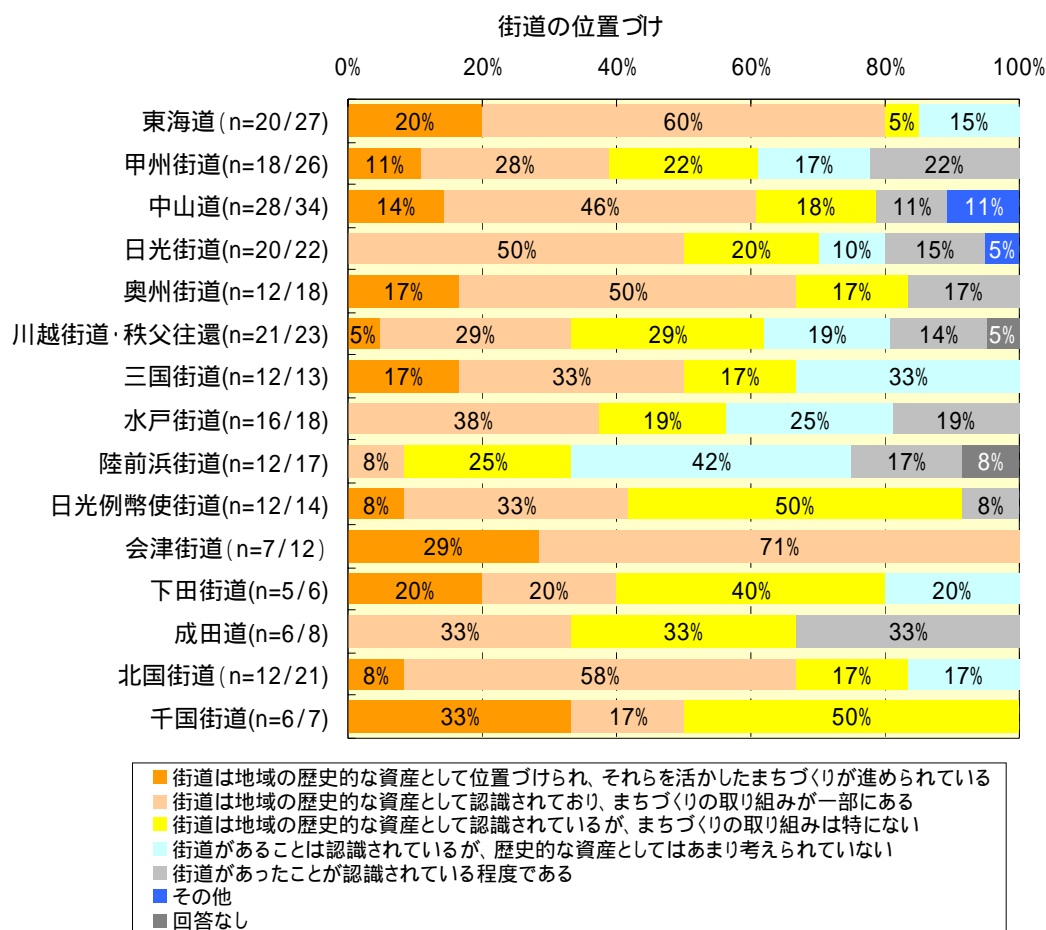
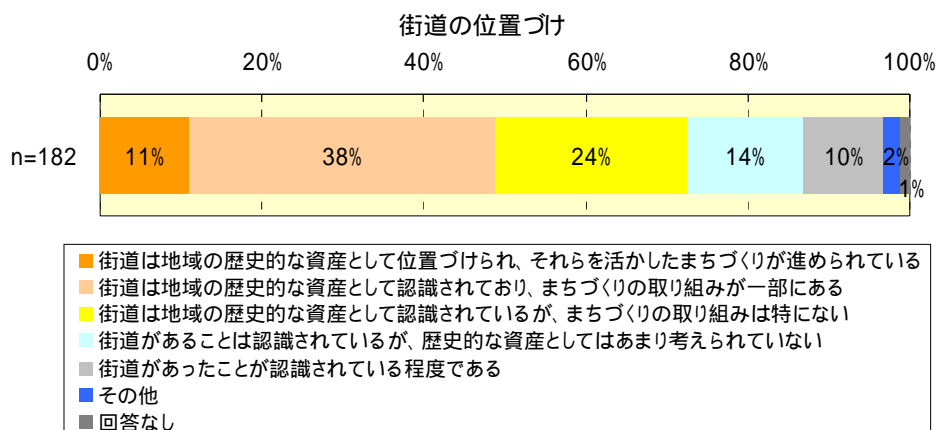
街道別では、中山道、千国街道、会津街道・会津通りにおいて、街道沿いに歴史的な建物や史跡が連続して残っているもしくは、点在している市区町村が約 6 割を占めている。



(3) 各市区町村における街道の位置づけについて

対象街道が通過しており、アンケートの回答があった182市区町村のうち、49%の市町村で、街道は歴史的な資産として認識されており、それを活かしたまちづくりが行われている。

街道別では、会津街道が通過している市町村のうち回答のあった市町村すべてにおいて、街道を活かしたまちづくりが行われている。また、東海道、中山道、奥州街道、北国街道・北国西街道が通過している市町村のうち、回答のあった市町村の約6割において、街道を活かしたまちづくりが進められている。一方、陸前浜街道沿線の市区町村において、街道を活かしたまちづくりの取組みはあまり行われていない。

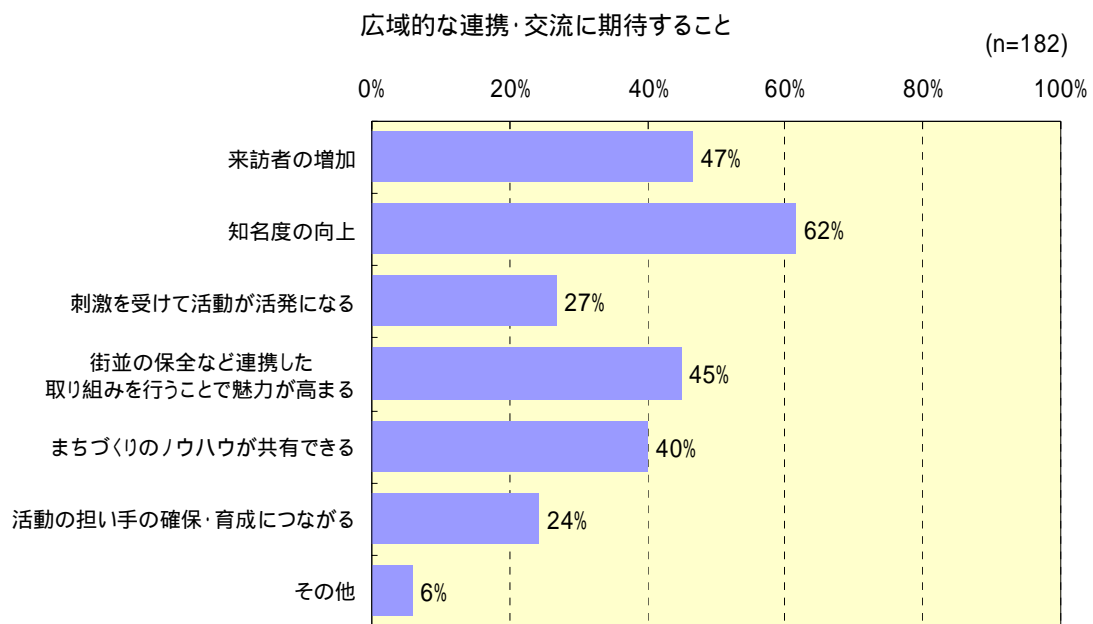


注) 街道毎のn値は、他街道と重なる市町村も含むため合計は182にはならない

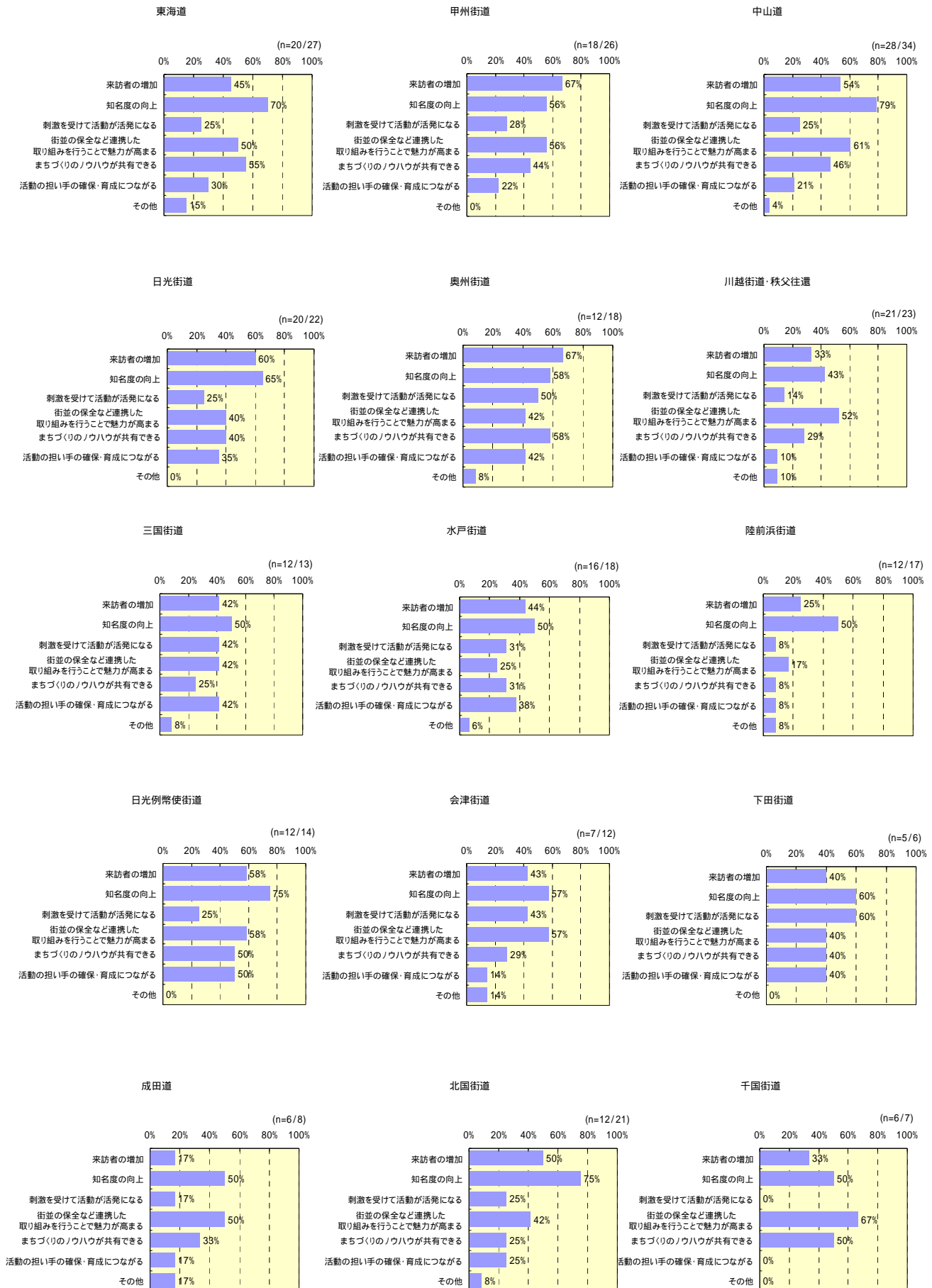
(4) 「五街道・歴史街道魅力アッププロジェクト」の推進による広域的な連携・交流に期待すること

広域的な連携・交流に向けては、知名度や魅力を高め、来訪者の増加につなげたい傾向がみられる。また、ノウハウの共有化への期待も高い。

街道別にみると、来訪者増加への期待が甲州街道、奥州街道で高く、刺激を受けて活動が活発化することの期待についても、奥州街道、下田街道において高い。また、活動の担い手の確保・育成への期待は日光例幣使街道で高い。

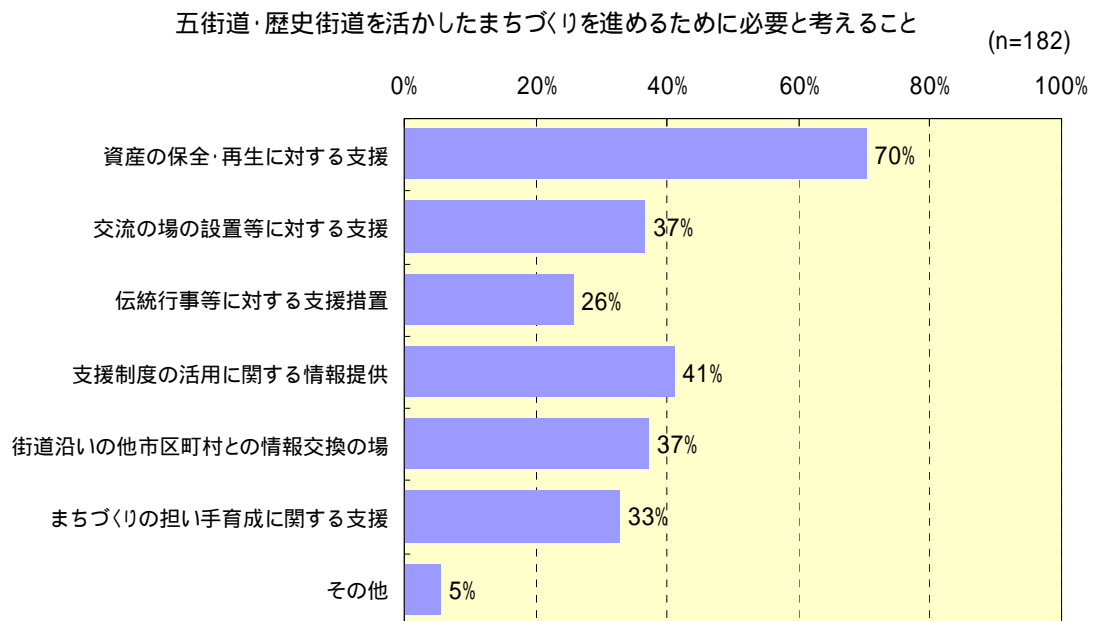


広域的な交流・連携に期待すること（街道別）



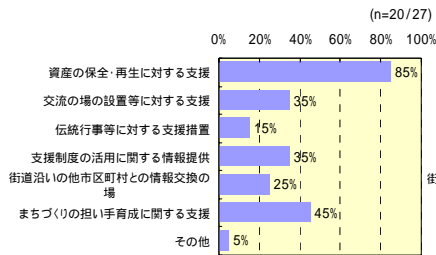
(5) 五街道・歴史街道を活かしたまちづくりを進めるために必要なこと

五街道・歴史街道を活かしたまちづくりの推進のためには、基本となる資産の保全・再生に対する支援を求めていることがわかる。また、街道別にみても、概ねいずれの市町村においても基本となる資産の保全・再生に対する支援を求めているが、特に日光街道では他の市町村よりも高い値を示している。また、歴史的な資産を活かした交流の場の設置に対する支援措置については奥州街道、伝統行事等に対する支援措置については成田道、支援制度の活用に関する情報提供については中山道、街道沿いの他市区町村との情報交換の場の設置については中山道、三国街道、日光例幣使街道で高い。また、担い手育成に関する支援については奥州街道、日光例幣使街道で高い。

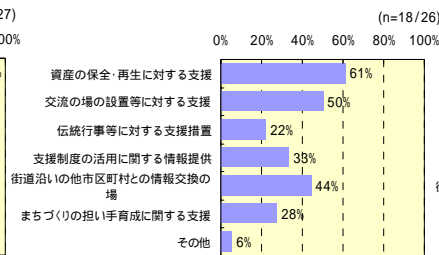


五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに必要なこと（街道別）

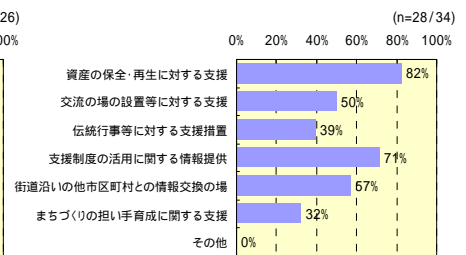
東海道



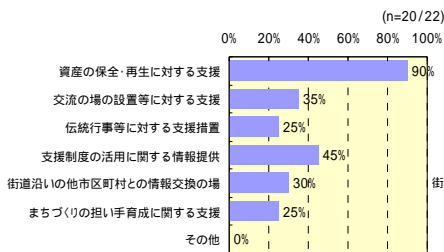
甲州街道



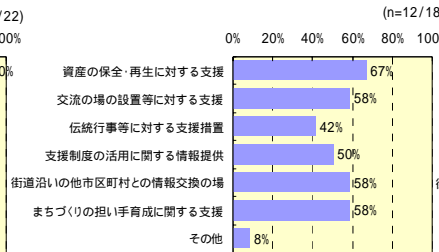
中山道



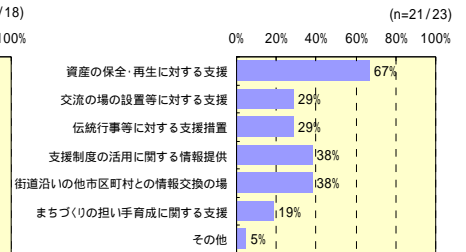
日光道中



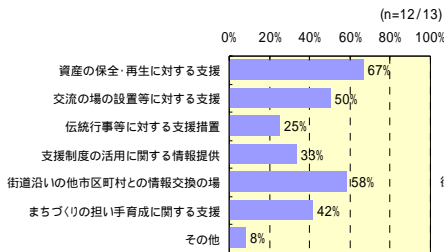
奥州街道



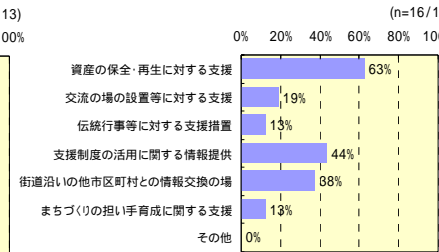
川越街道・秩父往還



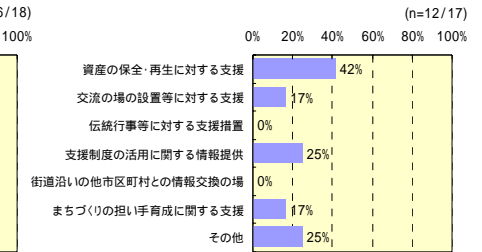
三国街道



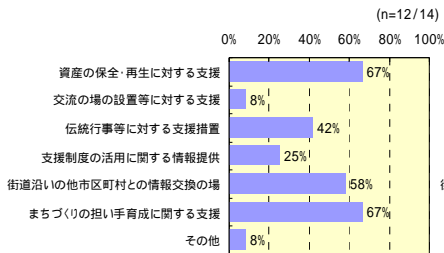
水戸街道



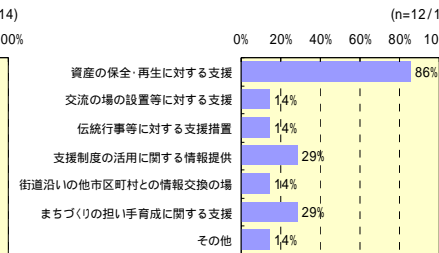
陸前浜街道



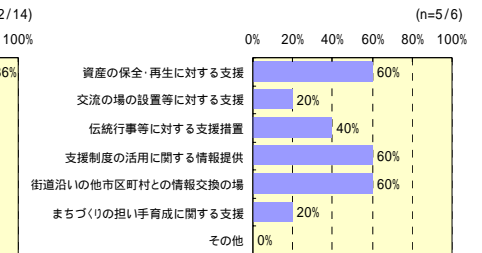
日光例幣使街道



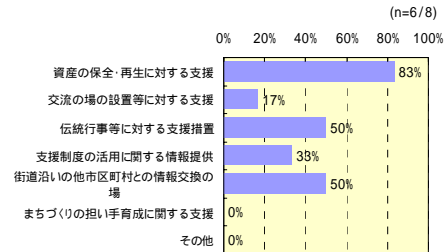
会津街道



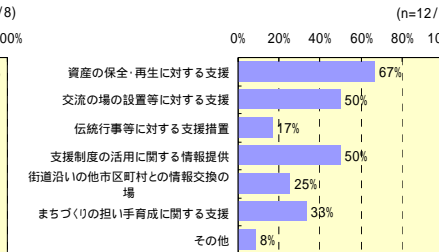
下田街道



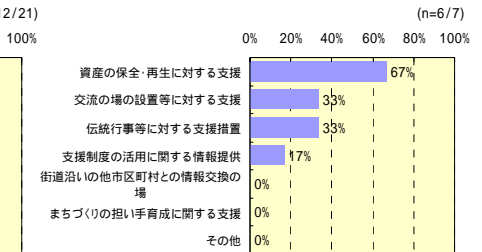
成田道



北国街道



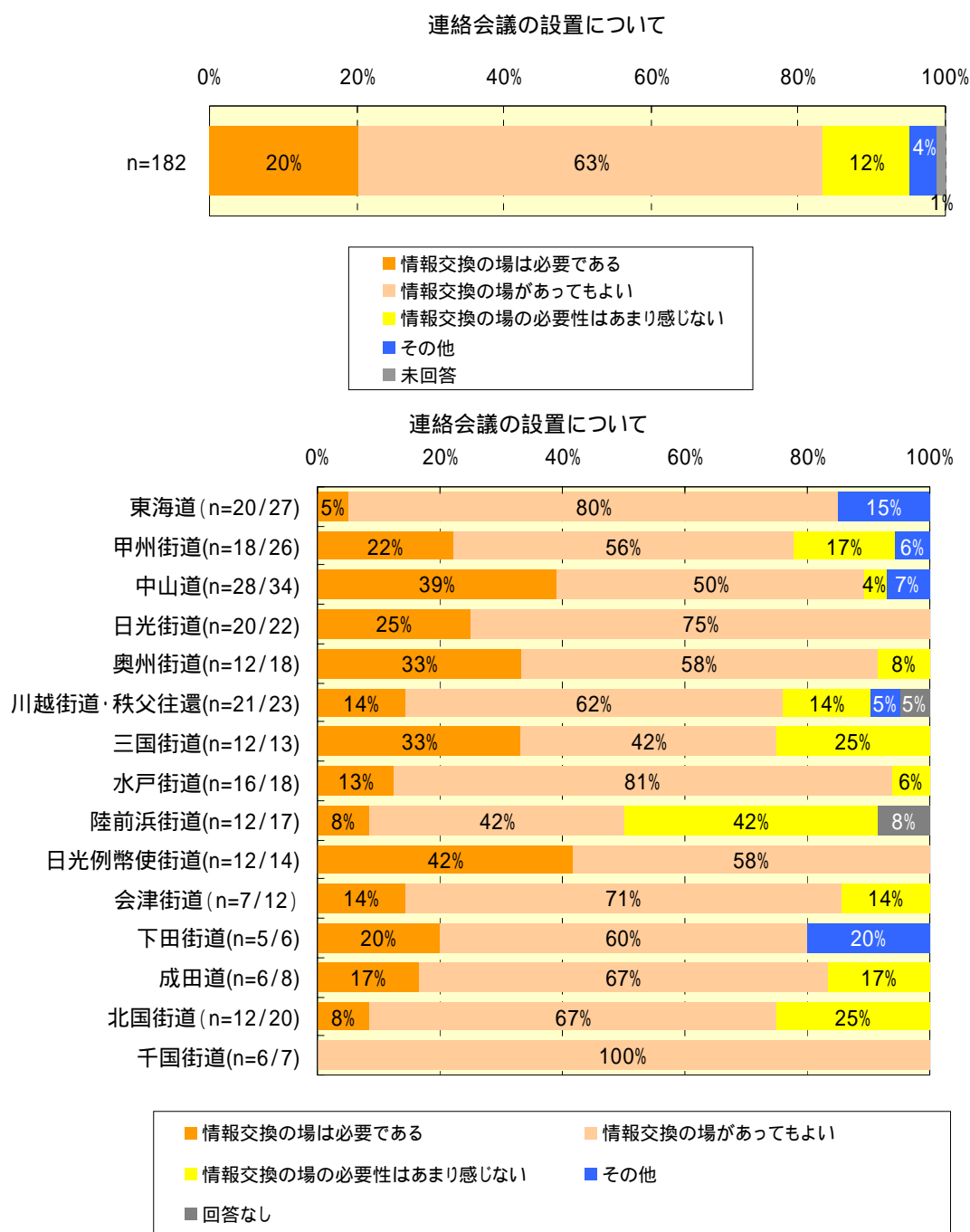
千国街道



(6) 連絡会議の設置について

情報交換の場の設置については、対象街道が通過しておりアンケートの回答があった182市区町村のうち全体で83%の市区町村で必要性を感じていることがわかる。

街道別では、日光街道、日光例幣使街道、千国街道が通過している市町村のうち、回答のあった市町村すべてにおいて、情報交換の場の必要性を感じている。また、中山道、奥州街道、水戸街道沿線の回答のあった市区町村のうち、約9割の市区町村で情報交換の場の必要性を感じている。

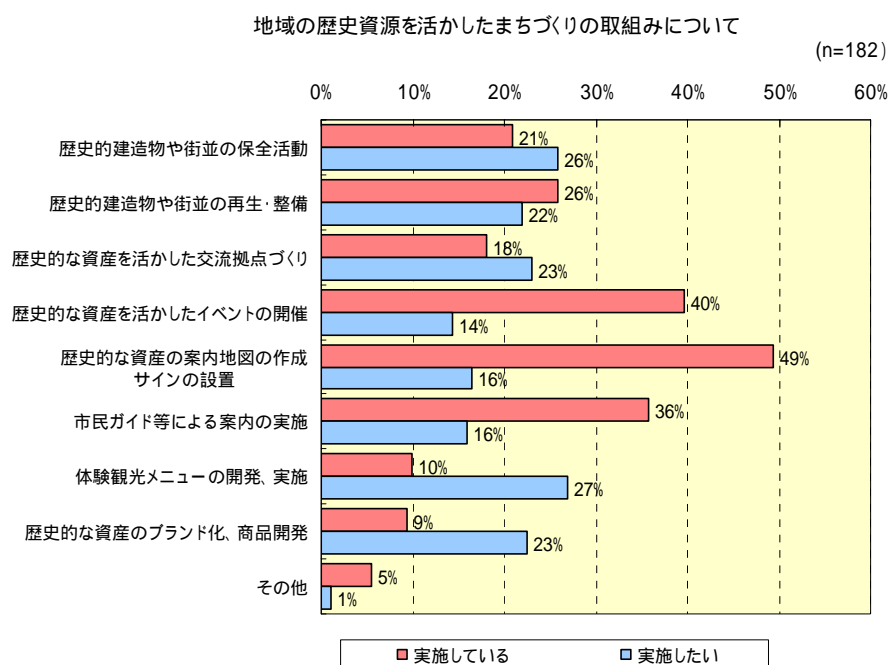


(7) 地域の歴史資源を活かしたまちづくりの取組みについて

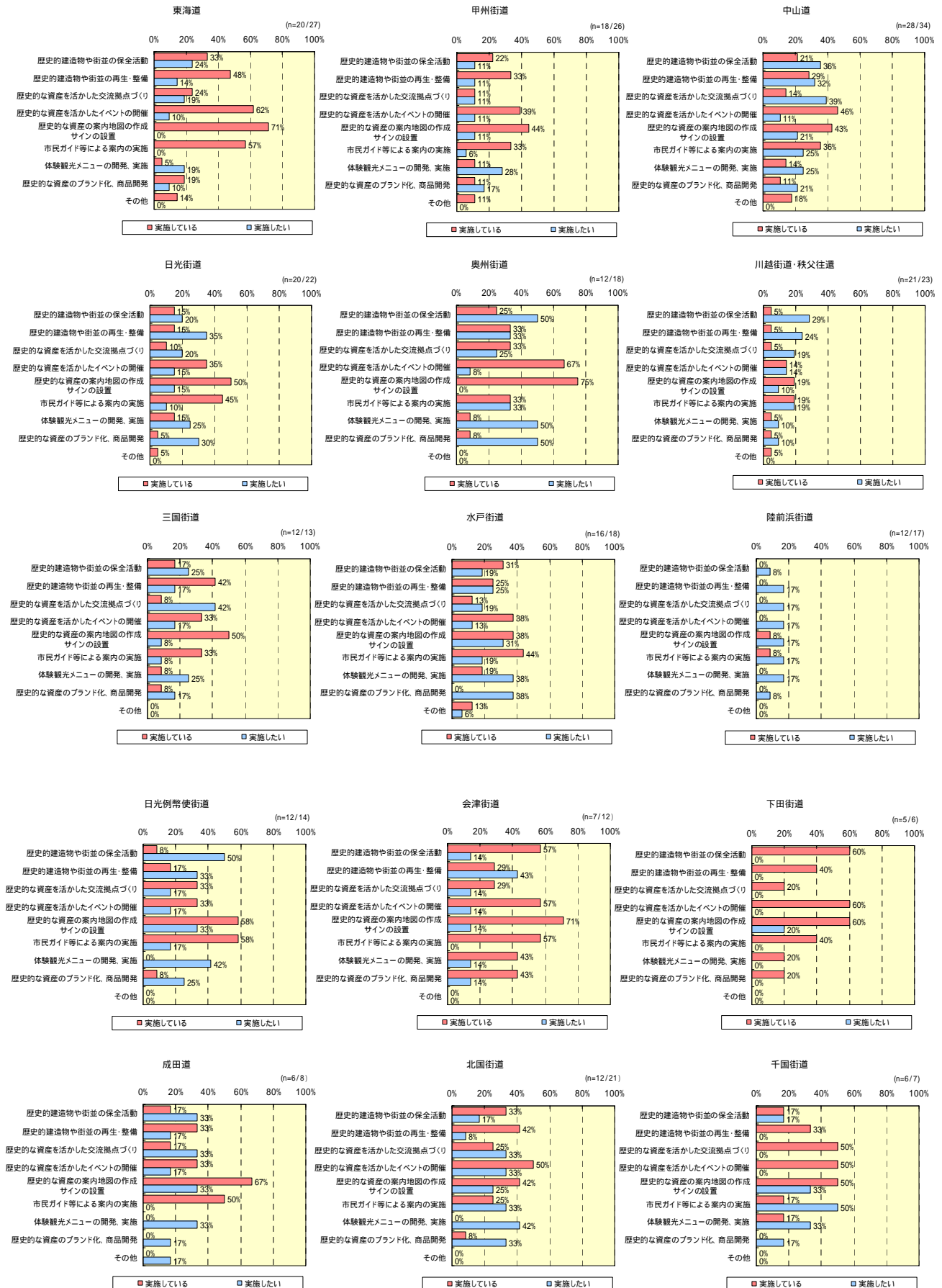
街道を活かしたまちづくりの取組みについては、歴史的な資産を活かしたイベントの開催、案内地図の作成、市民ガイドによる案内の実施などソフト面での取組が多く実施されている。また、歴史的建造物や街並みの保全、再生・整備については実施したいとも回答が多い。

また、現在はあまり行われていないが、これから実施したいものとして体験観光メニュー、商品開発などがあげられている。

街道別では、歴史的建造物や街並みの保全、再生・整備への取組が、東海道、会津街道、下田街道で多く実施されている。歴史的な資産を活かしたイベントの開催、案内地図の作成、市民ガイドによる案内などの取組は、東海道、奥州街道、日光例幣使街道、会津街道、下田街道、成田道、北国街道、千国街道で多く実施されている。また、会津街道、会津通りにおいては、体験観光メニューの開発や商品開発が約4割の市町村で既に実施されている。

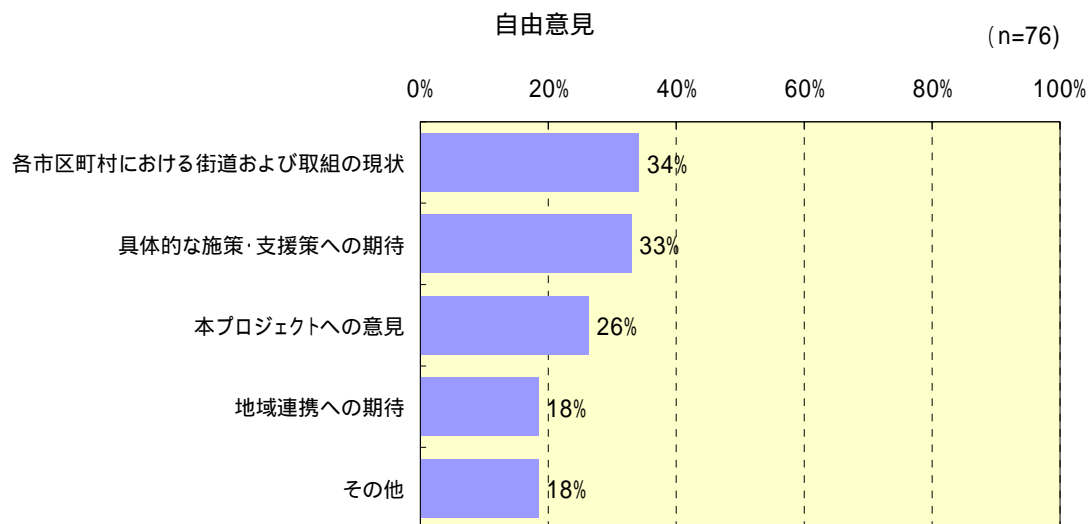


地域の歴史資源を活かしたまちづくりの取り組み（街道別）



(8) 五街道・歴史街道を活かしたまちづくりに関する自由意見の分類

自由意見の主な意見を分類すると、大きく「各市区町村における街道および取組の現状」「具体的な施策・支援策への期待」「地域連携への期待」「プロジェクトへの意見」と分けられる。そのうち、現状に対する意見や具体的な施策・支援策への期待に関する意見が多い。



自由意見（主要な意見の抜粋）

各市区町村における街道および取組の現状	街道沿いは市内に4200棟あると言われている喜多方の蔵を保全・活用し、蔵のまち喜多方のまちづくりを進めております。（福島県喜多方市）
	新潟は江戸時代以前から続く歴史のある港町であり、「みなと」をキーワードに歴史的建造物・遺産の保存と活用を図り、まちおこしにも取り組んでいる。陸路・街道をテーマにしたイベント開催などは現在区役所レベルの活動に留まっている。（新潟県新潟市）
	本区においては甲州街道の“歴史的価値”に着目したまちづくり、道路整備について、具体的な取り組み検討を行っていない現状にあります。（東京都杉並区）
具体的な施策・支援策への期待	神奈川県東海道ルネッサンス推進協議会で発行している「宿場マップ歩く・知る・発見する東海道！」が好評。詳しい情報があり、このような歴史に興味がある人に十分応えていけるパンフレットは是非作成すべきと思う。（神奈川県藤沢市）
	歴史的建造物及び周辺の整備、維持管理に対してかかる財政負担が財政上厳しい。整備、維持管理への支援が必要である。また、整備だけでなくその後の活用のためには街道沿い等、広域な連携が必要である。（栃木県日光市）
	街道に関する資料がなかなか入手できないため、データベースがあればと思います。その地域の歴史等はその町の図書館に行かなければ勉強できない。旧街道のルートを現在の地図に反映させたものがないため、検証が困難である（街道マップがあったらいいと思う）。（新潟県新発田市）

本プロジェクトへの意見	<p>街道沿いに歴史的建物等が豊富にある地域とそうでない地域を線で結ぶ広域的な連携のビジョンが見えてこない。</p> <p>広域的な連携が歴史的建物等が豊富である地域同士だけに留まる事が懸念される。</p> <p>同プロジェクトを推進して行く上で、持続的かつ確実な財政支援は必須と考える。</p> <p>(埼玉県深谷市)</p>
	<p>日本風景街道との連携も検討頂きたい。(栃木県日光市)</p>
	<p>このプロジェクトの目指すものとして、連携の必要性は総論として理解できるが各論としてすでに、往時の面影がまるでない近代的街並みの旧宿場町もありすべてが同じ方向に進むことは難しいと思います。また、より具体的な連携のあり方を示して頂きたいと思います。(群馬県高崎市)</p>
地域連携への期待	<p>観光まちづくり、地域振興の手段としてとても有効であると思います。市町村がそれぞれ個別に行っている事業も街道という共通点を通して連携すれば新たな事業やPR効果ができると思います。(東京都板橋区)</p>
	<p>当市は中山道が市の片側の一部を横断しているがその沿線に宿場、歴史資源、人物等は残念ながらない。しかし、街道をテーマとして他市区町村との情報交換の場に参加できることは当市のこれからのまちづくりにプラスになると考えています。(群馬県藤岡市)</p>
	<p>街道沿いに位置する自治体間交流を促進し、交流人口の拡大を図る。(福島県二本松市)</p>

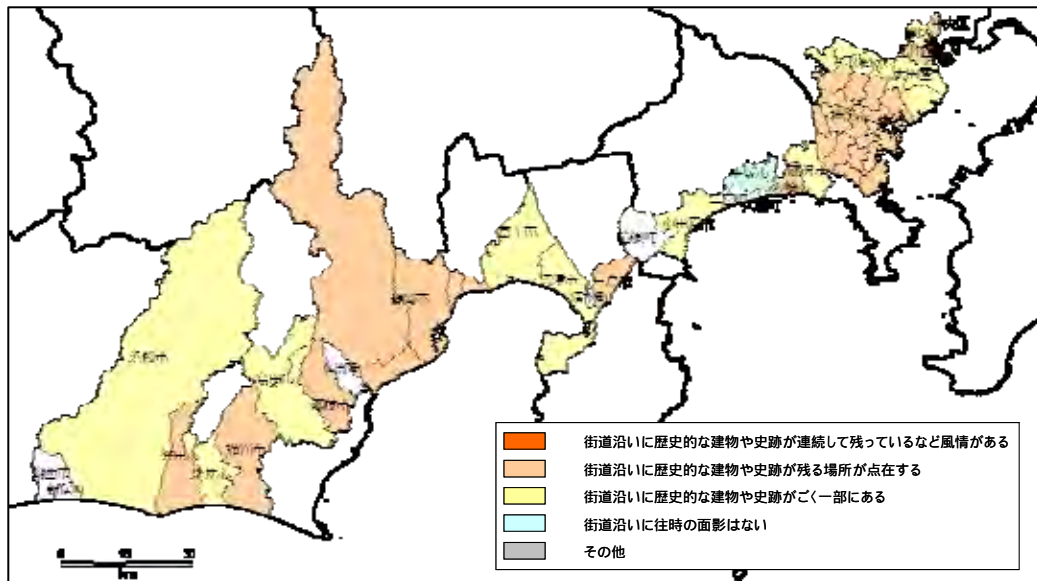
(9) 各街道におけるアンケート回答結果

東海道

東海道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

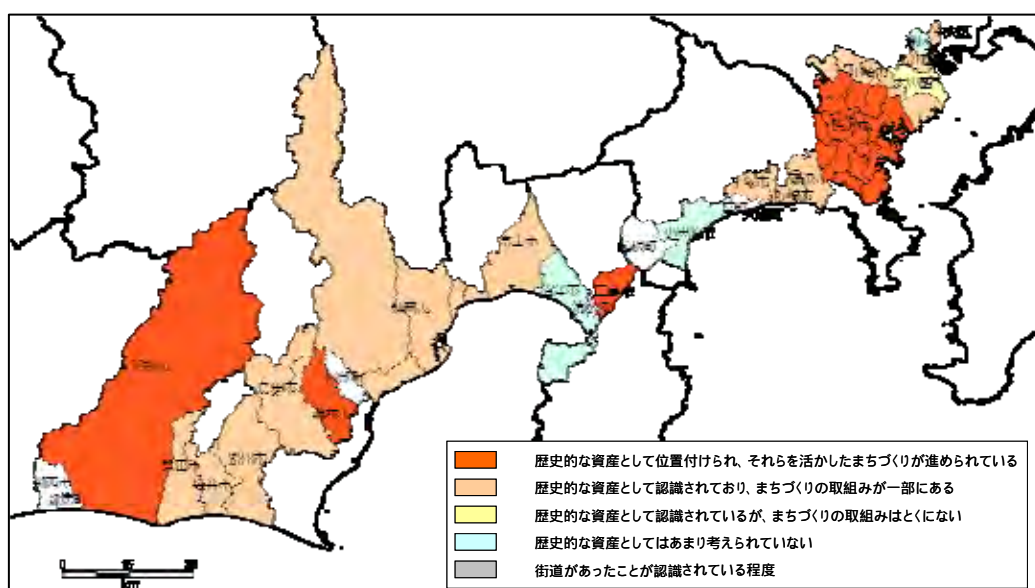
i) 街道の状況

東海道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られないが、殆どの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



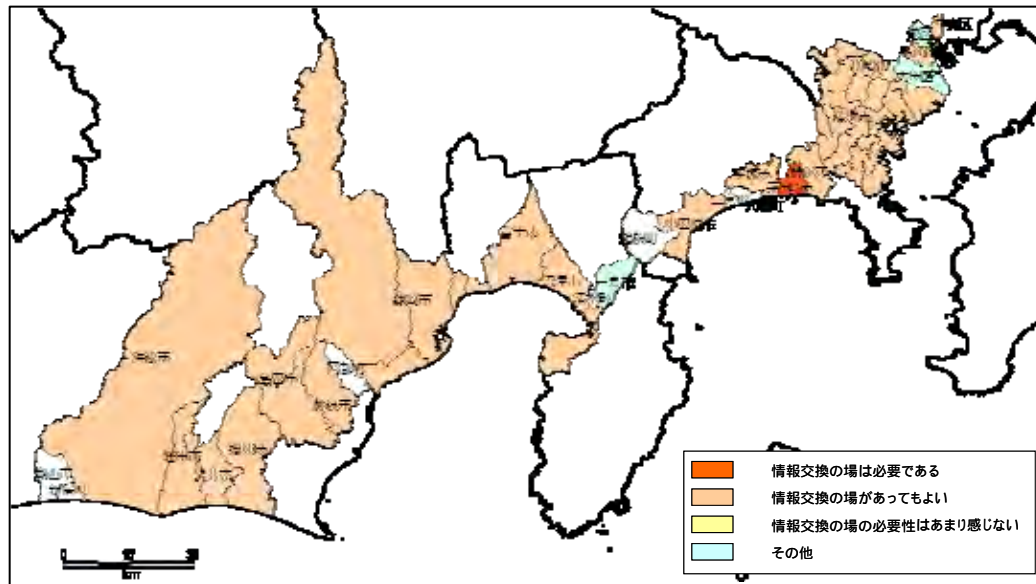
ii) 街道の位置づけ

東海道では、神奈川県川崎市から平塚市、静岡県富士市～浜松市にかけて東海道を活かしたまちづくりの取組みが行われている。



iii) 連絡会議の設置について

東海道では、連絡会議の設置について多くの市町村において、情報交換の場があってもよいと回答している。



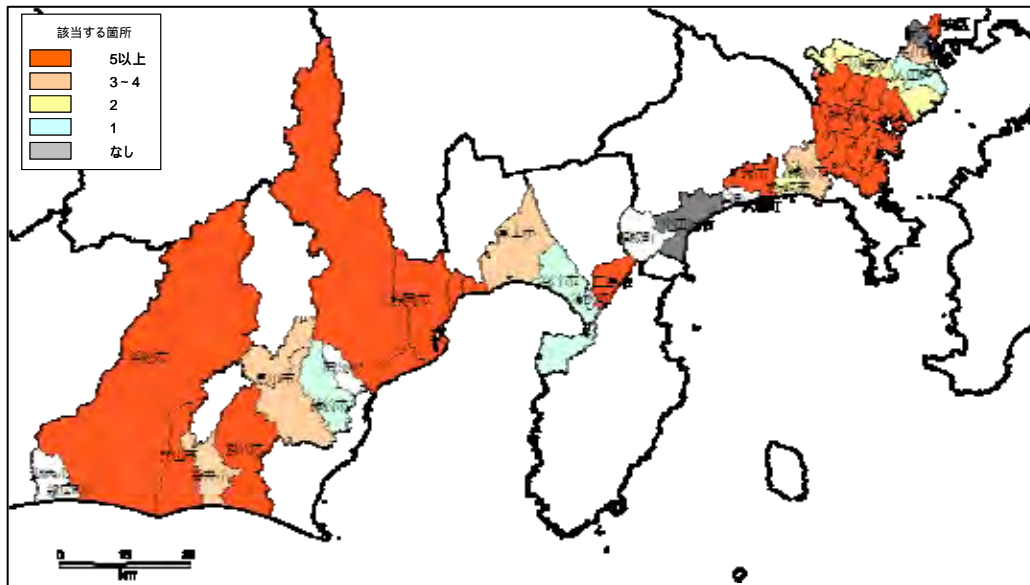
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

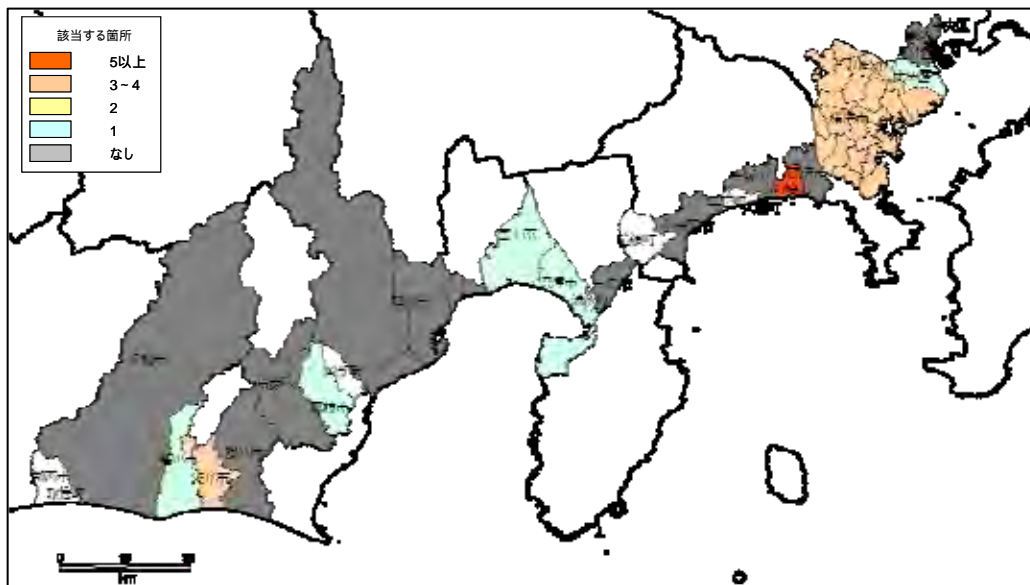
東海道においては、中央区、川崎市、横浜市、平塚市、三島市、静岡市、掛川市、磐田市、浜松市において地域の歴史資源を活かしたまちづくりの取組みが活発に行われている。

また、茅ヶ崎市では現在実施している取組みは少ないものの、今後実施したいと考えている取組みが多いことがわかる。

<実施している>



<実施したい>

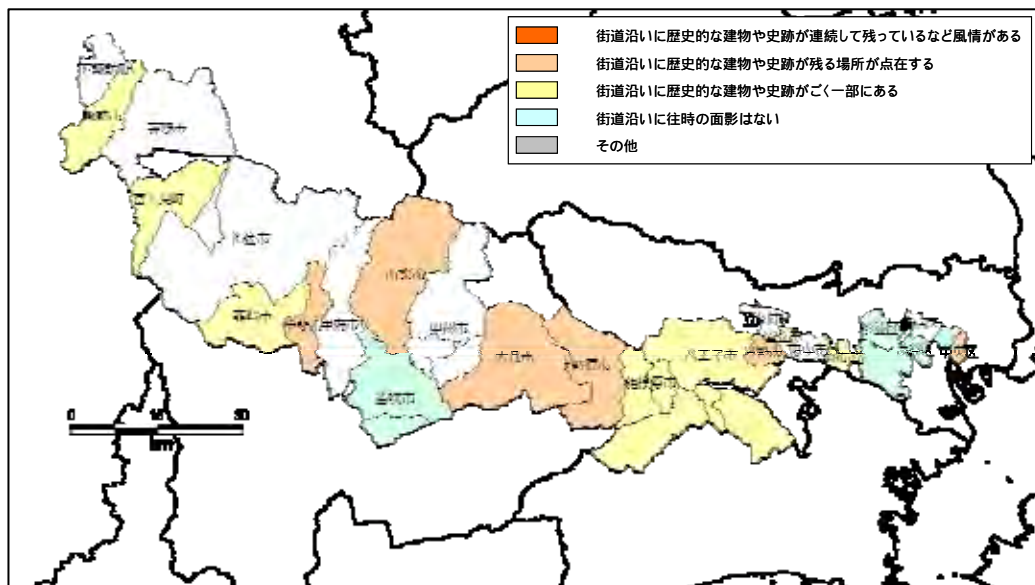


甲州街道

甲州街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

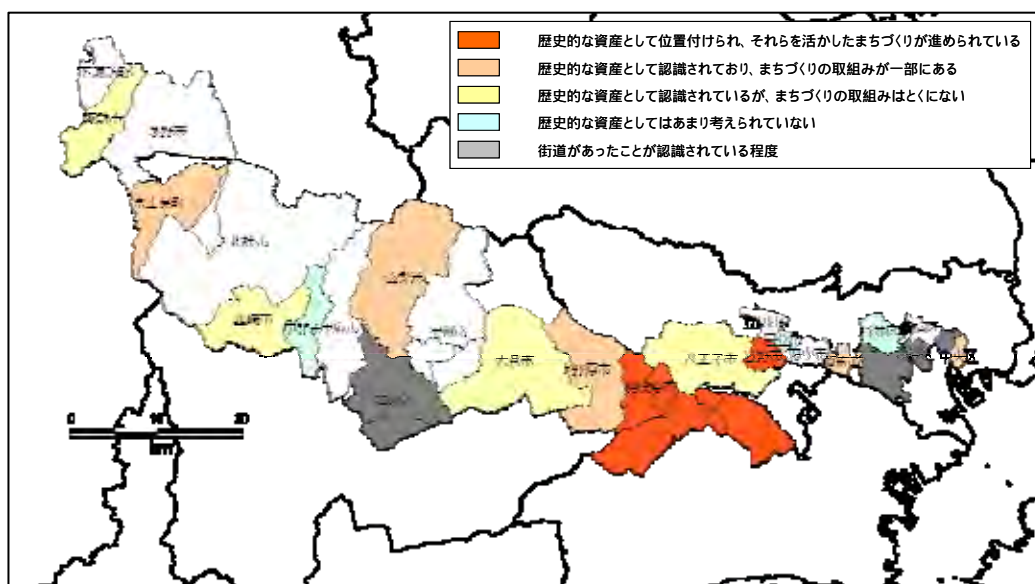
i) 街道の状況

甲州街道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られない。また、歴史的な建物や史跡が点在している市区町村も東京都中央区、神奈川県日野市、山梨県上野原市、大月市、山梨市、甲斐市となっており、甲州街道において、歴史的資源は主に山梨県に集中していることがわかる。



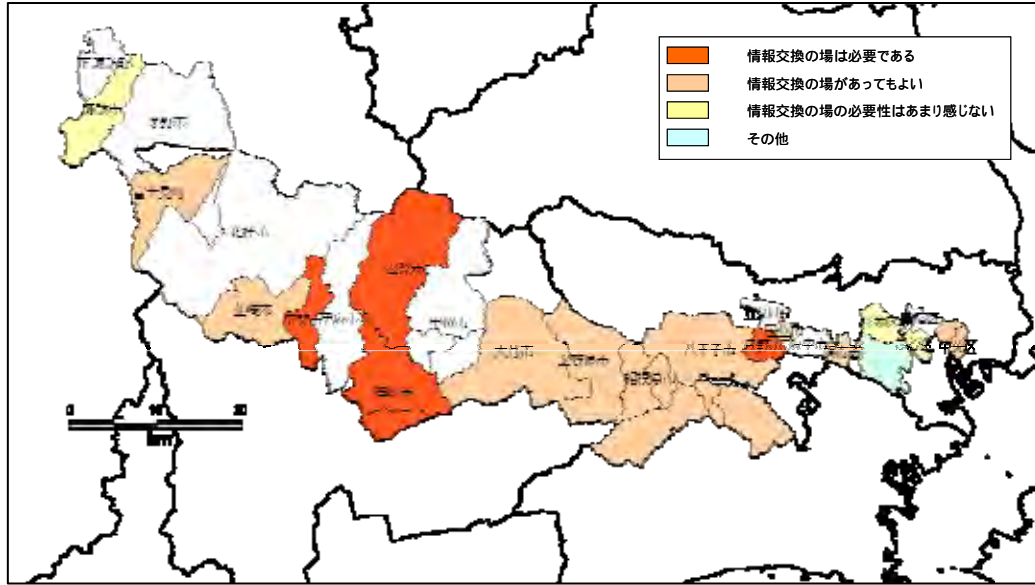
ii) 街道の位置づけ

甲州街道では、東京都日野市、神奈川県相模原市において、甲州街道を活かしたまちづくりが進められている。しかし、各市区町村のつながりとして、連続して甲州街道を活かしたまちづくりの取組が行われている市区町村は神奈川県相模原市・山梨県上野原市のみとなっている。



iii) 連絡会議の設置について

甲州街道では、連絡会議の設置について多くの市町村において情報交換の場があっても良いと回答している。特に、東京都日野市、山梨県山梨市、笛吹市、甲斐市においては情報交換の場の設置は情報交換の場の設置に積極的である。



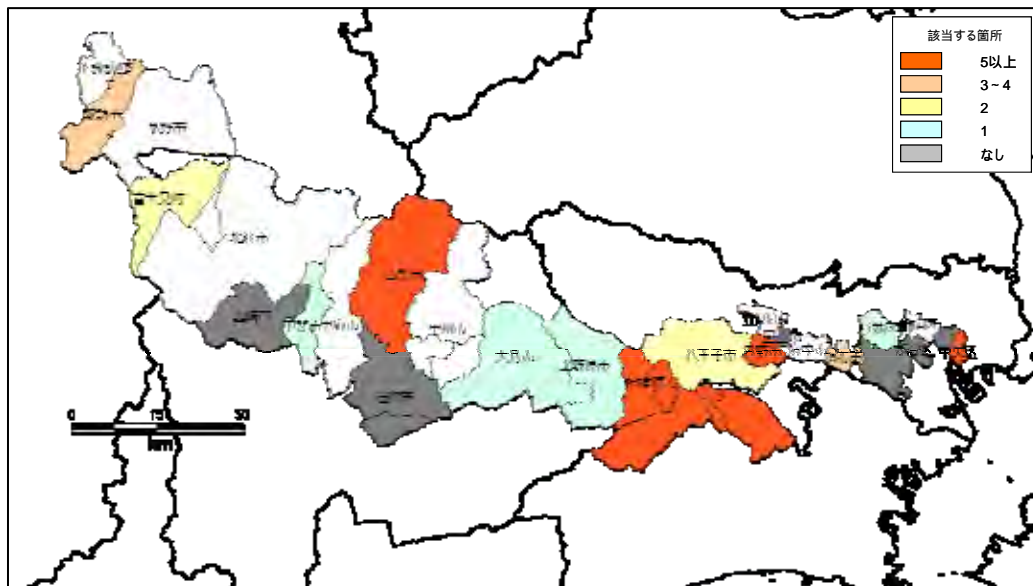
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

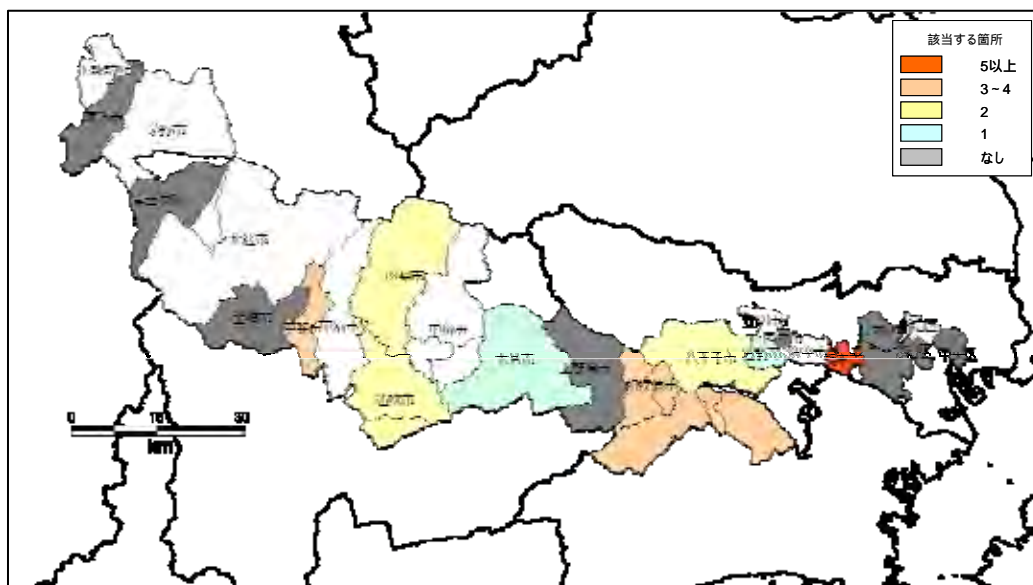
甲州街道においては、東京都中央区、日野市、神奈川県相模原市、山梨県山梨市において地域の歴史資源を活かしたまちづくりの取組が活発に行われている。

また、東京都調布市においては、今後実施したいものとして5つ以上の項目を上げており、今後の活動の活発化が期待される。

<実施している>



<実施したい>

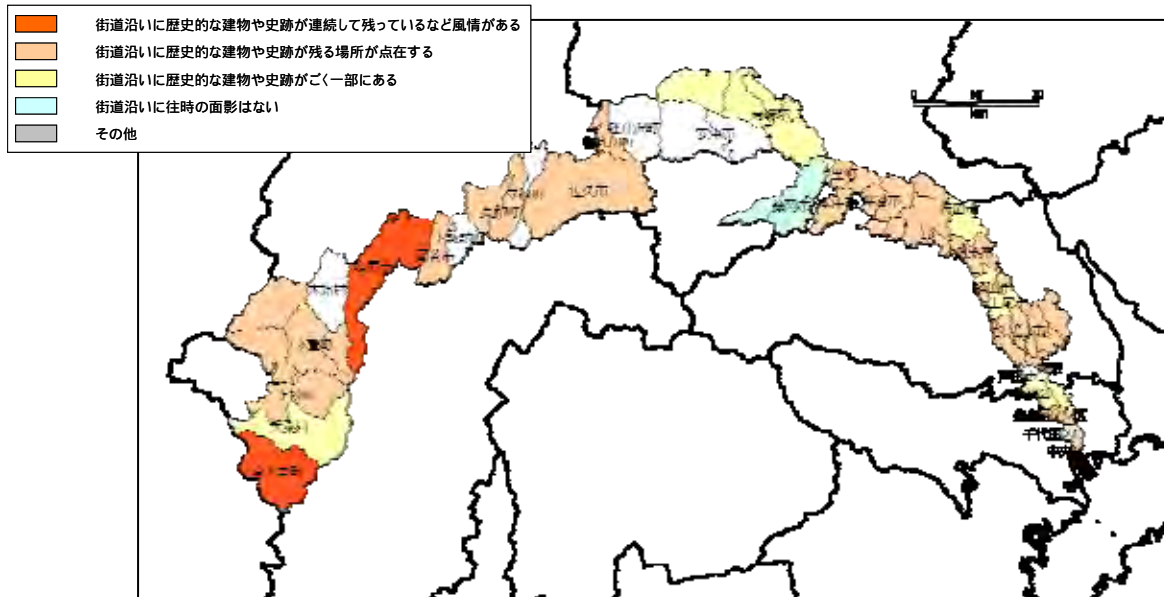


中山道

中山道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

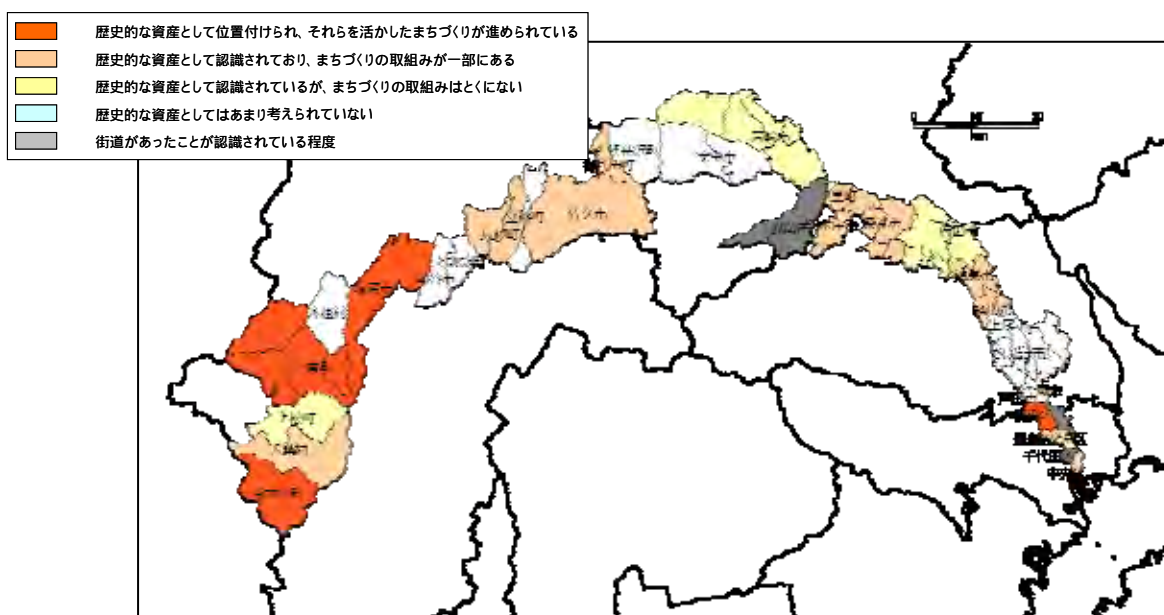
i) 街道の状況

中山道では、長野県塩尻市、長野県南木曾町において歴史的な建物や史跡が連続して残っており、その他の市町村においても概ね、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



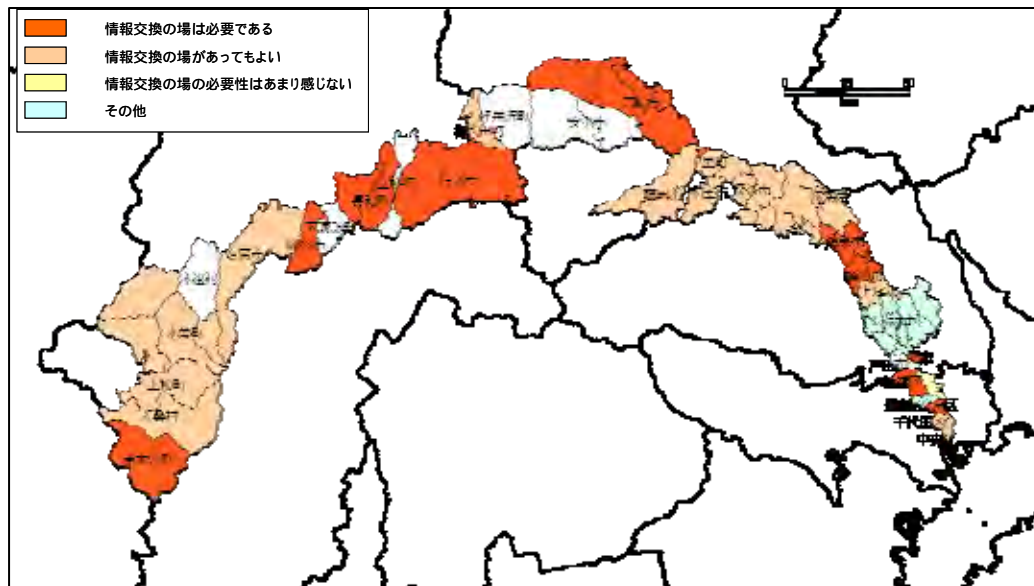
ii) 街道の位置づけ

中山道では、特に長野県において街道を活かしたまちづくりが行われている傾向にある。また、さいたま市においても、中山道を活かしたまちづくりの取組みが一部でおこなわれている。



iii) 連絡会議の設置について

中山道では、殆どの市町村で連絡会議の設置について必要性を感じている。特に、長野県、埼玉県での市町村において必要性の認識が高い。

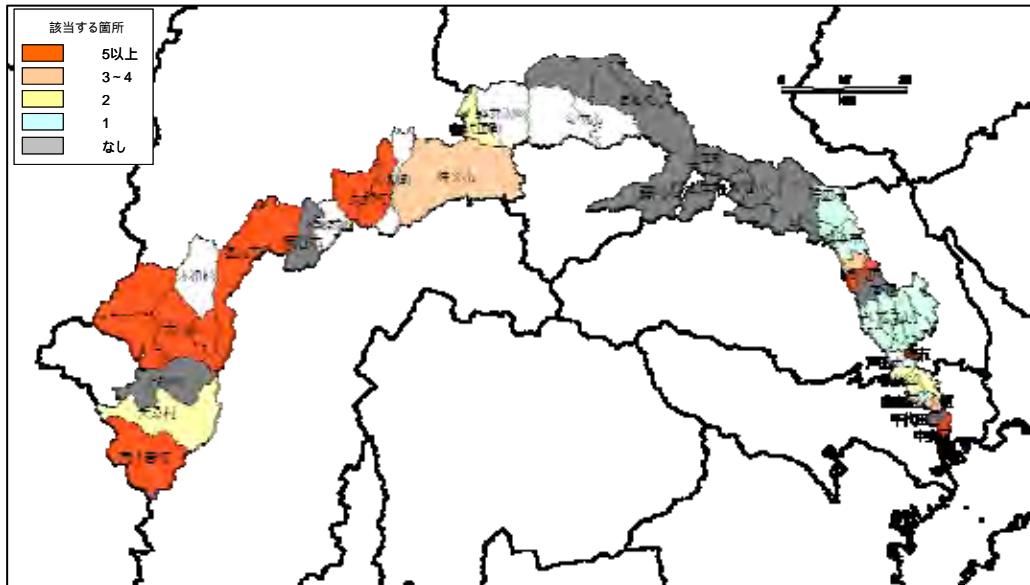


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

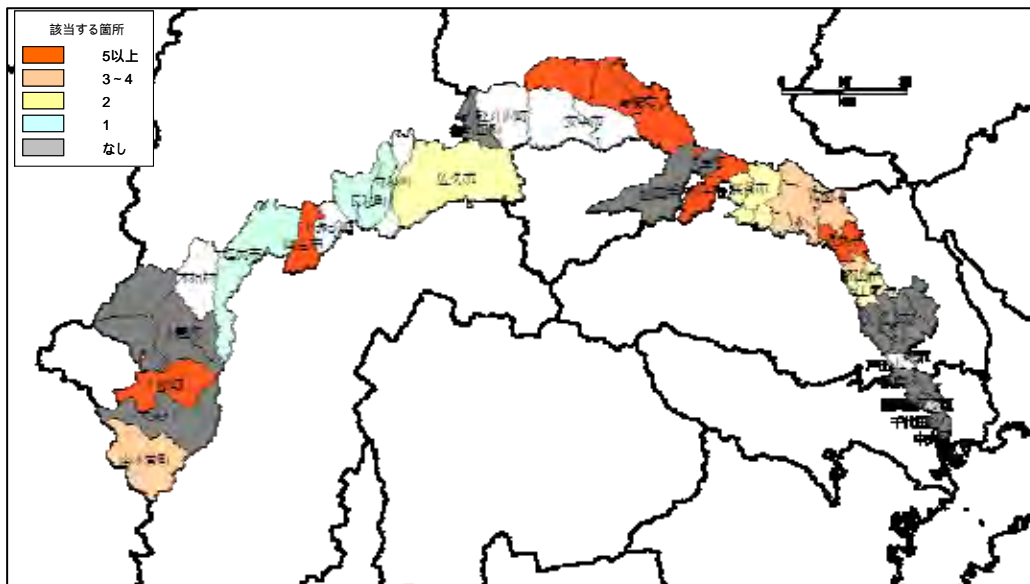
歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

中山道においては、主に長野県の市町村で歴史資源を活かしたまちづくりの取組が活発に行われている。一方、埼玉県から群馬県の市町村では歴史資源を活かしたまちづくりは行われていない傾向にあるが、今後実施したい取組みが3項目以上あることから、今後の活動の活発化が期待される

<実施している>



<実施したい>

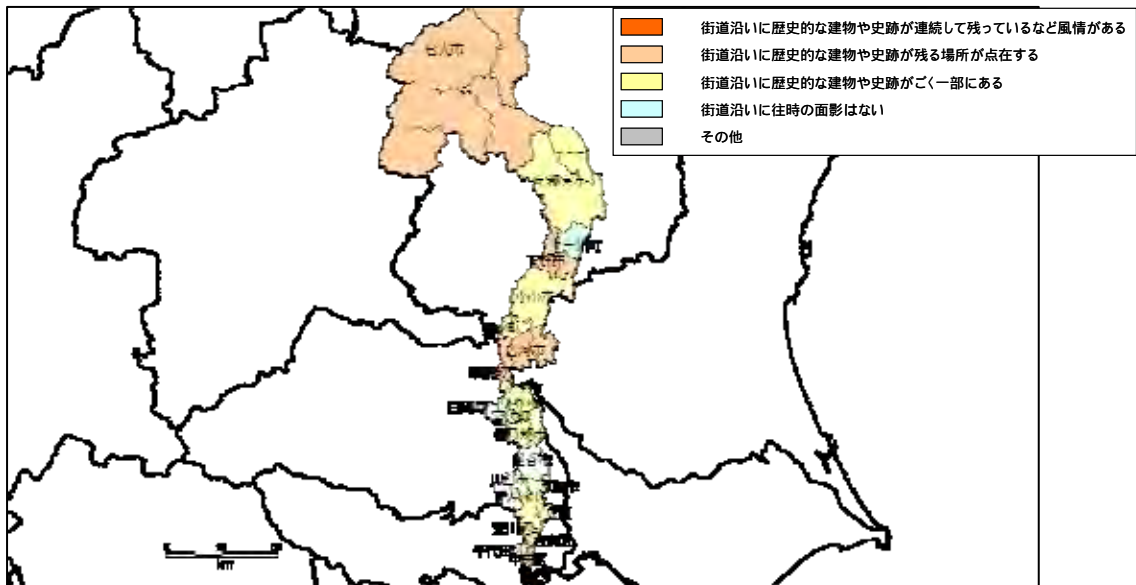


日光街道・日光御成街道

日光街道・日光御成街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

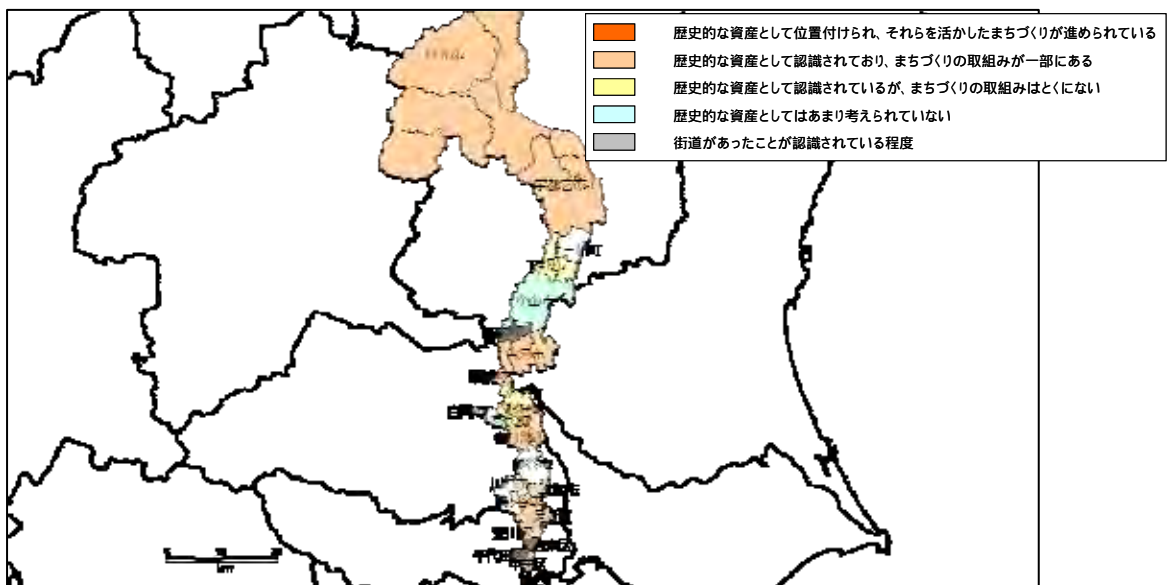
i) 街道の状況

日光街道・日光御成街道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られず、歴史資源が残っている市町村は、東京から離れた地域に多くみられる。



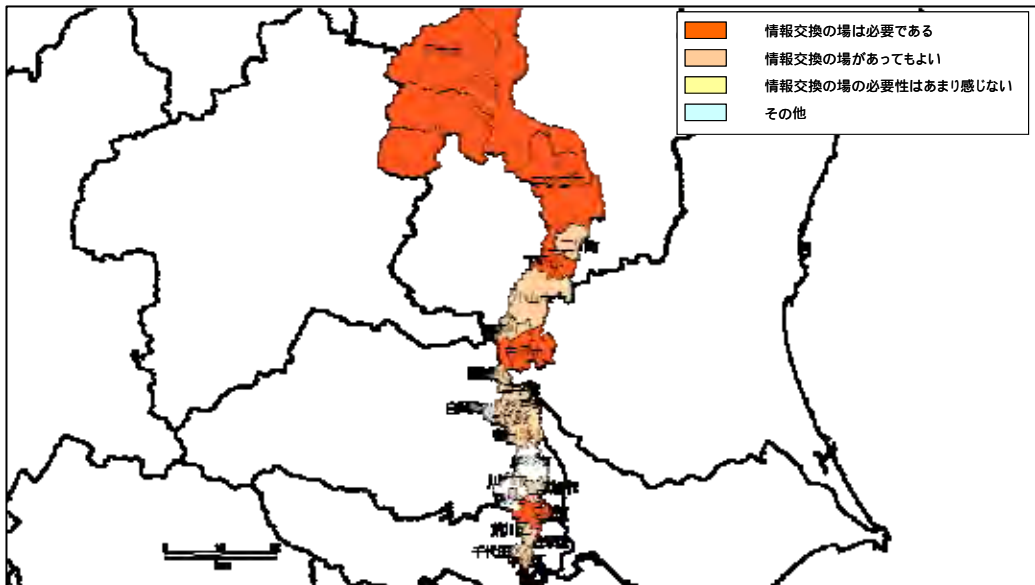
ii) 街道の位置づけ

日光街道・日光御成街道においては、街道を歴史資源とし、それらを活かしたまちづくりを進めている市町村はみられず、まちづくりの取組みが一部にある市町村が点在するに留まっている。



iii) 連絡会議の設置について

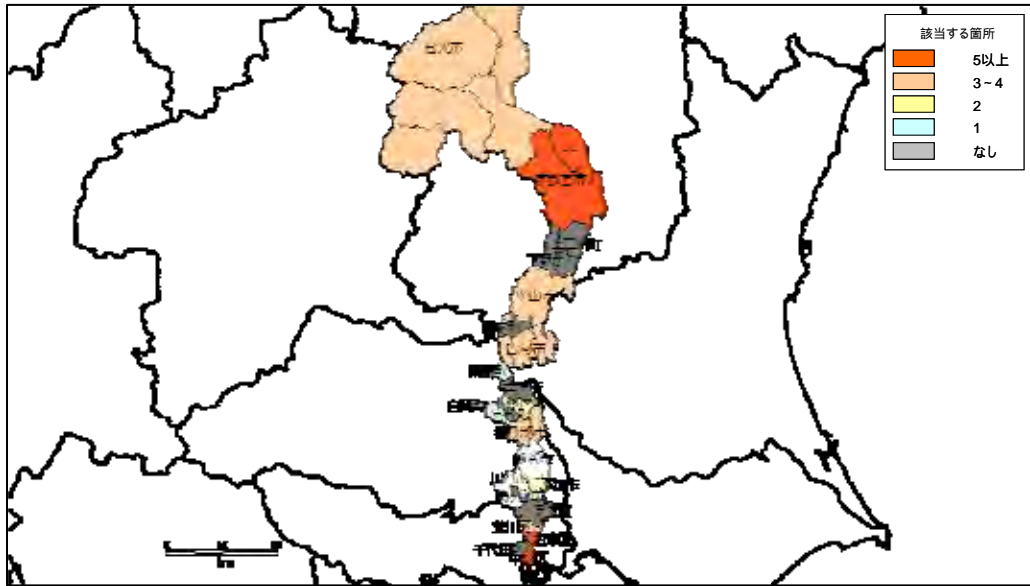
連絡会議の設置については、栃木県を中心にいずれの市町村においても必要性の認識が高い。



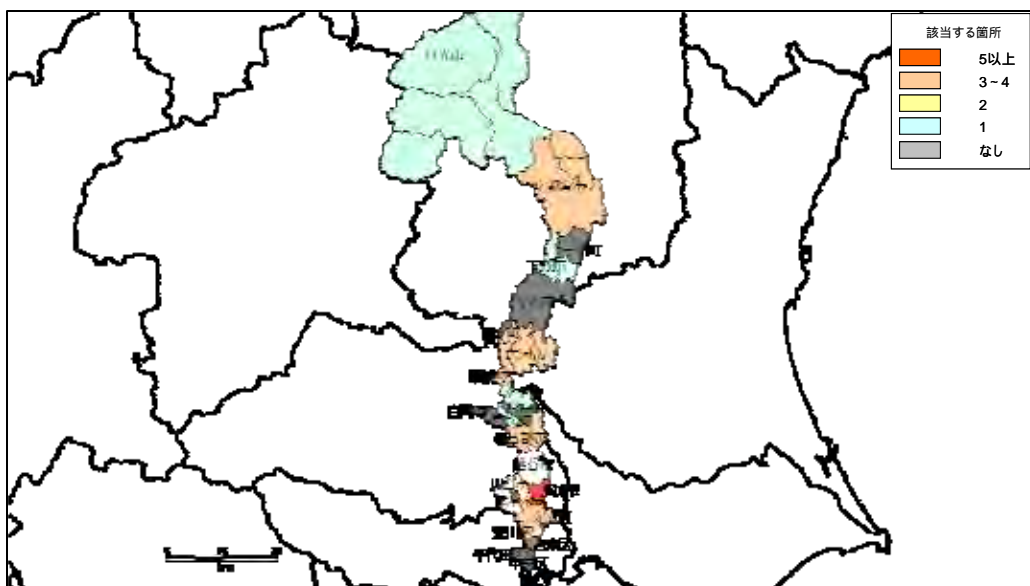
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示をおこなった。日光街道・日光御成街道においては、東京から離れた市町村において、活動が活発である傾向がみられるが、今後実施したいと考えている取組みは少ない。

<実施している>



<実施したい>

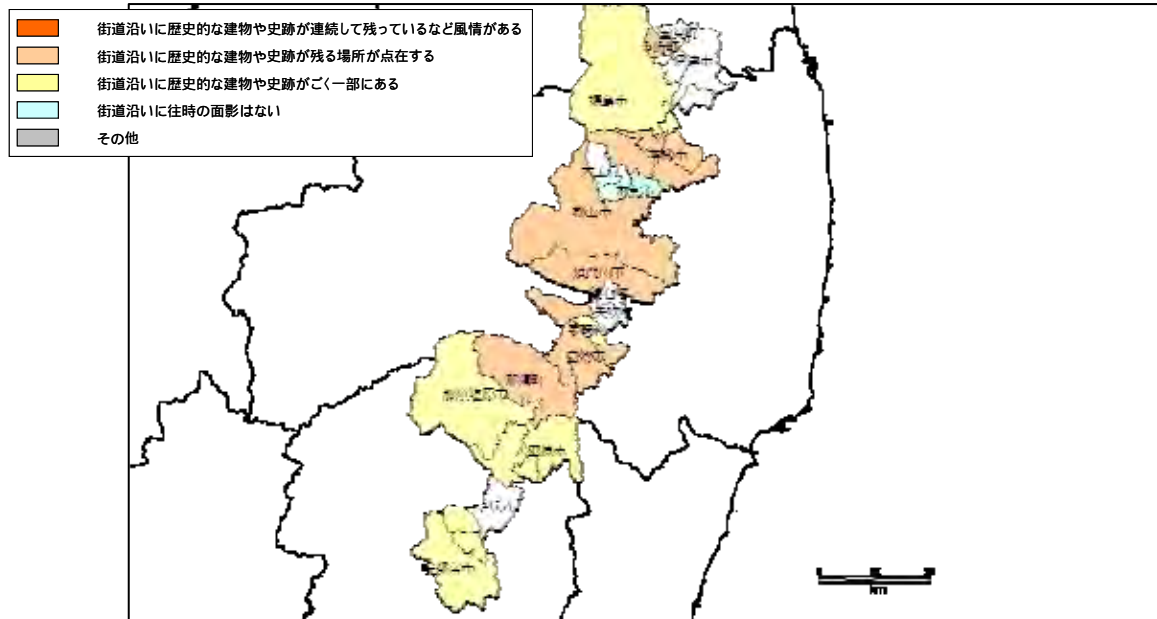


奥州街道

奥州街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

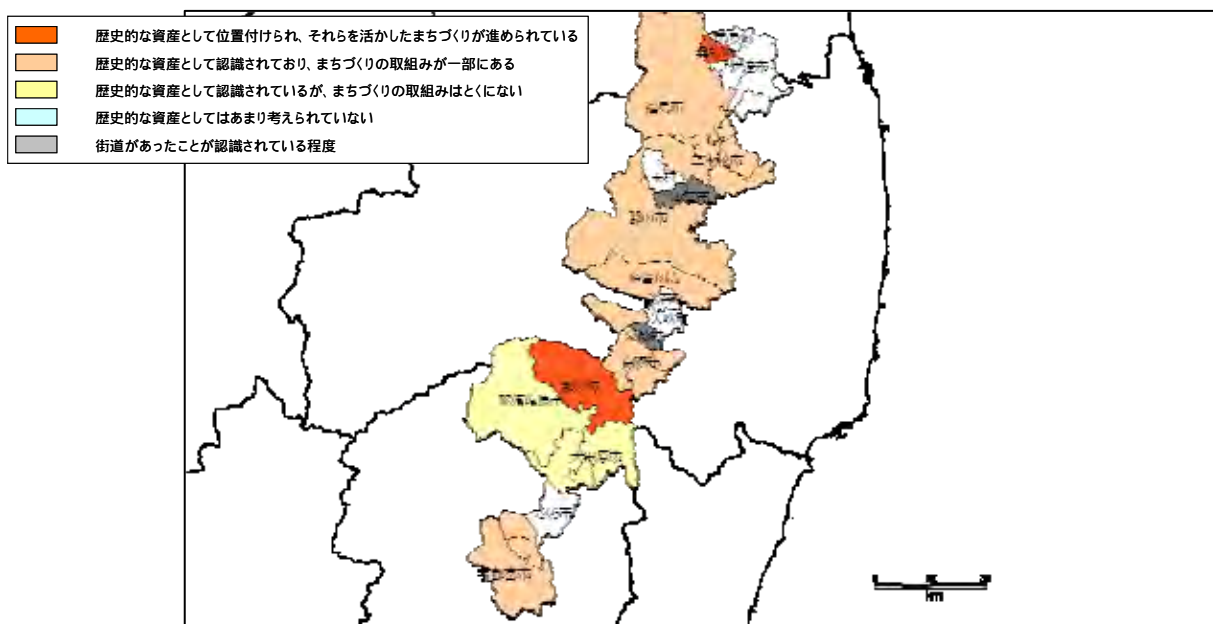
i) 街道の状況

奥州街道においては、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られないが、殆どの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



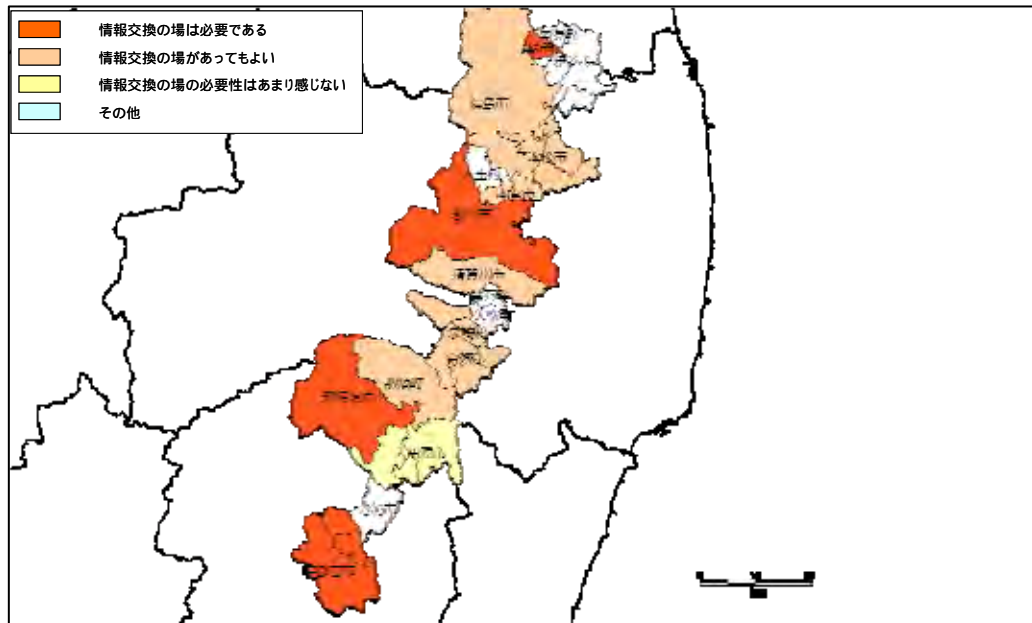
ii) 街道の位置づけ

奥州街道では、福島県桑折町、那須町において街道を活かしたまちづくりが進められている。また、他の市町村においても、まちづくりの取組みが一部にある市町村が多くみられる。



iii) 連絡会議の設置について

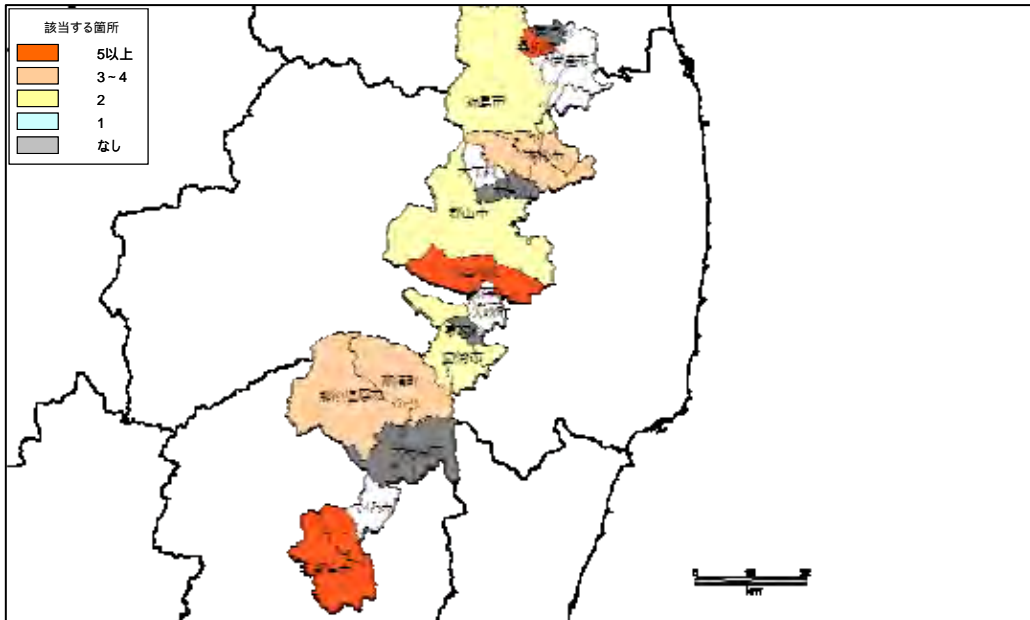
連絡会議の必要性については、いずれの市町村においても必要性の認識が高い。



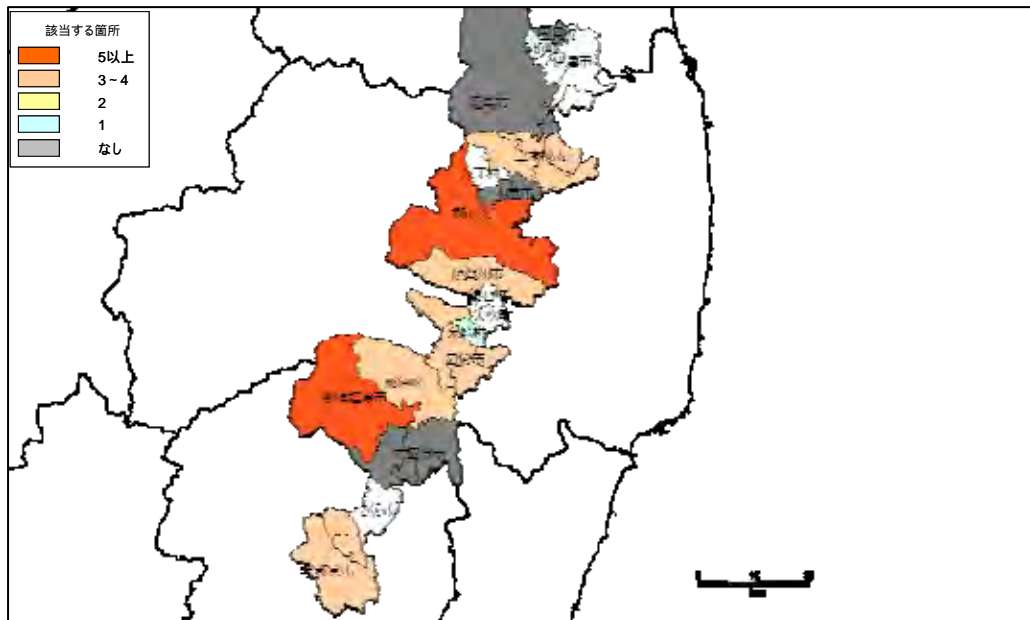
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示をおこなった。奥州街道においては、現在の取組みが活発な市町村は点在しているが、全体的に今後、3 つ以上の取組みを行っていきたいと考えている傾向がみられ、今後の活動の活発化が期待される。

<実施している>



<実施したい>

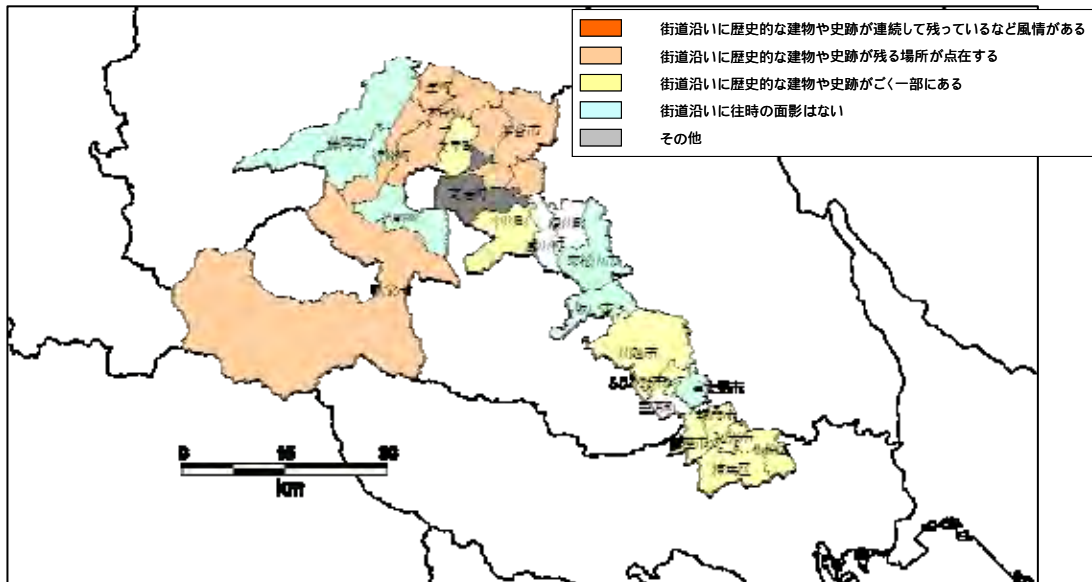


川越街道・秩父往還

川越街道・秩父往還が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

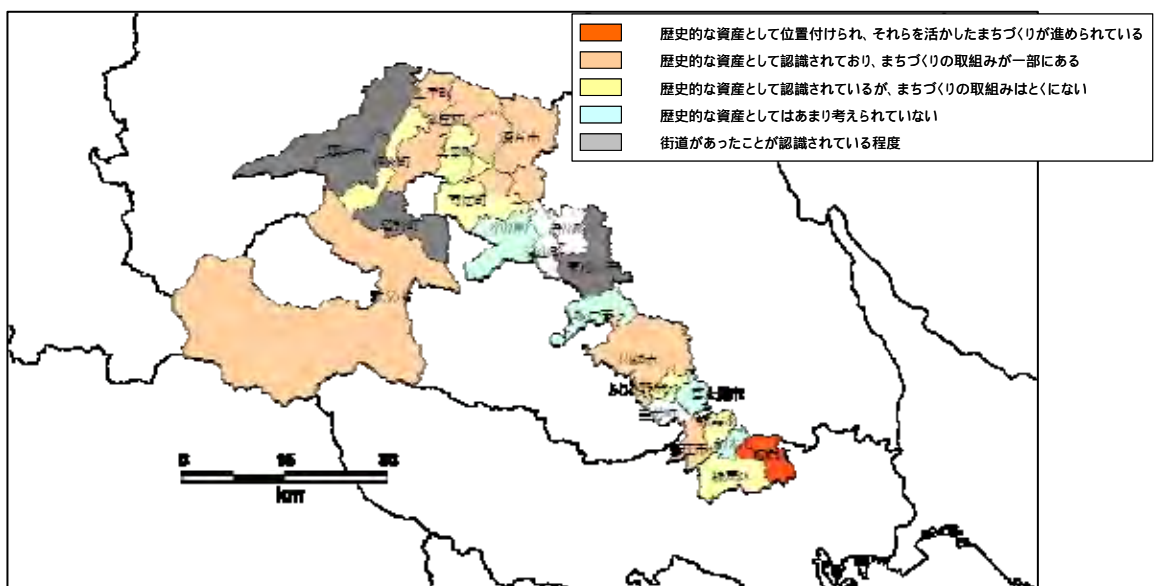
i) 街道の状況

川越街道・秩父往還では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られず、また、街道沿いに往時の面影がない市町村も多く存在する。



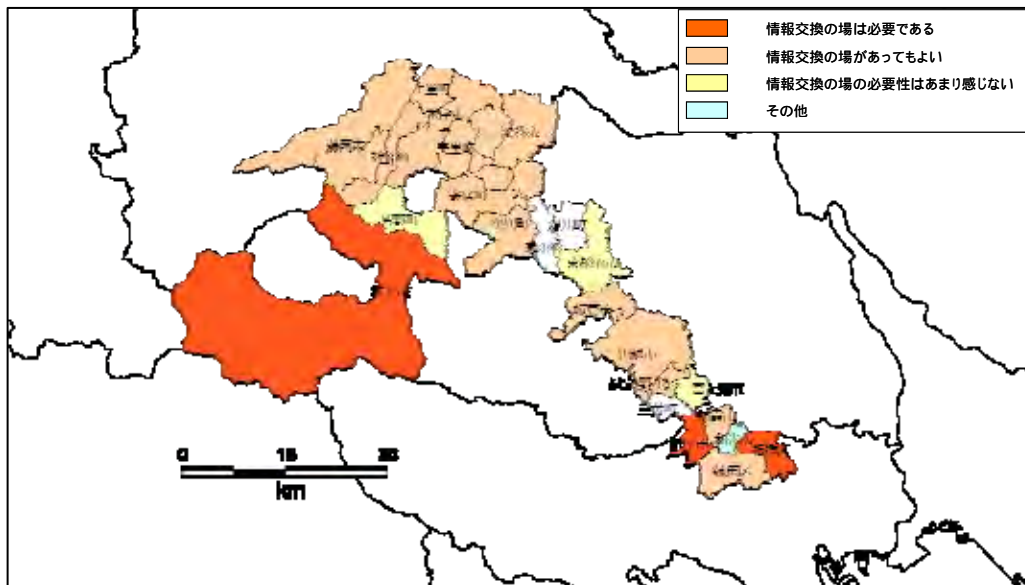
ii) 街道の位置づけ

しかし、()の状況にもかかわらず、街道は歴史的な資産と認識されている市町村も多く存在し、歴史的な建物や史跡がごく一部にある地域においても、街道を活かしたまちづくりの取組が一部で行われている。



iii) 連絡会議の設置について

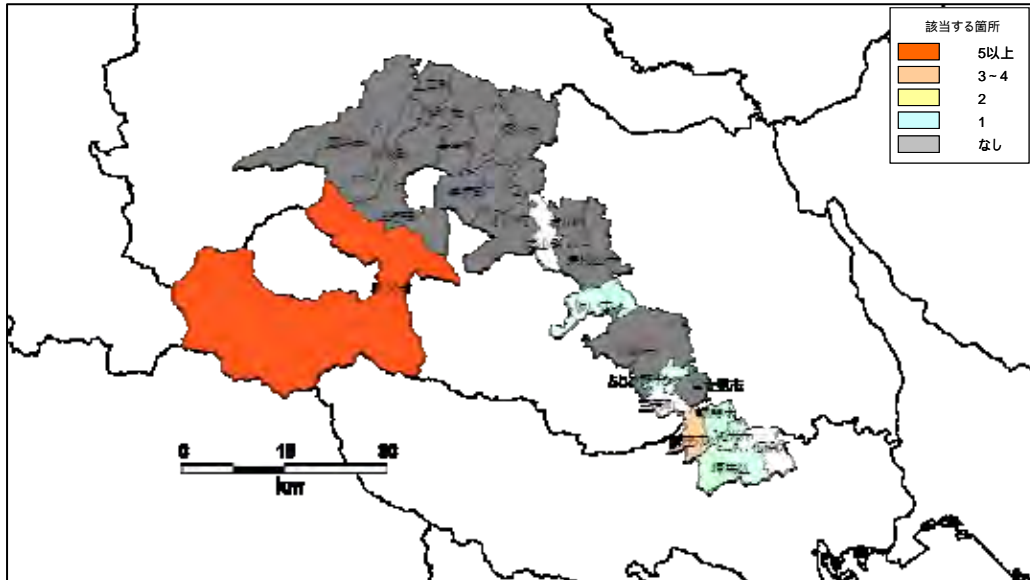
また、連絡会議の設置については、殆どの市区町村で必要性の認識が高い。



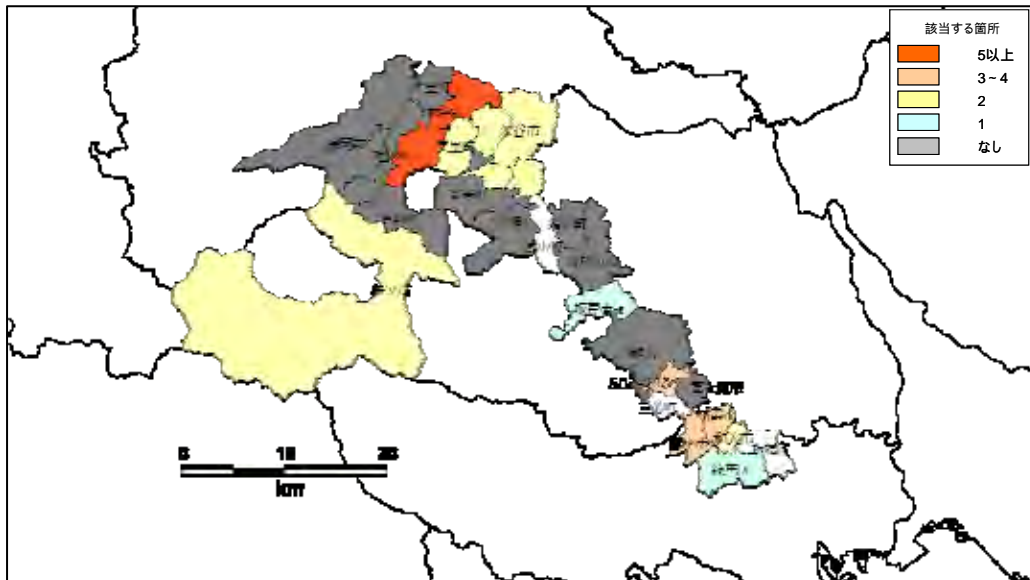
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示をおこなった。川越街道・秩父往還においては、埼玉県秩父市、新座市で取組が活発におこなわれている他は、取組みはほとんど行われていない。また、今後の実施についてもあまり意欲的ではない傾向がみられる。

<実施している>



<実施したい>

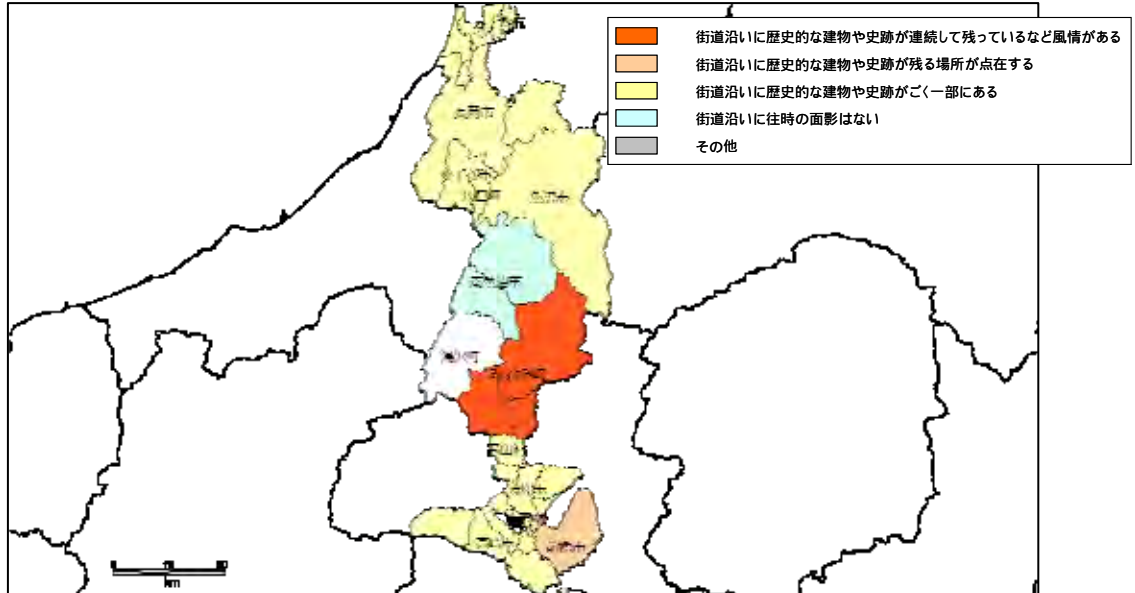


三国街道

三国街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

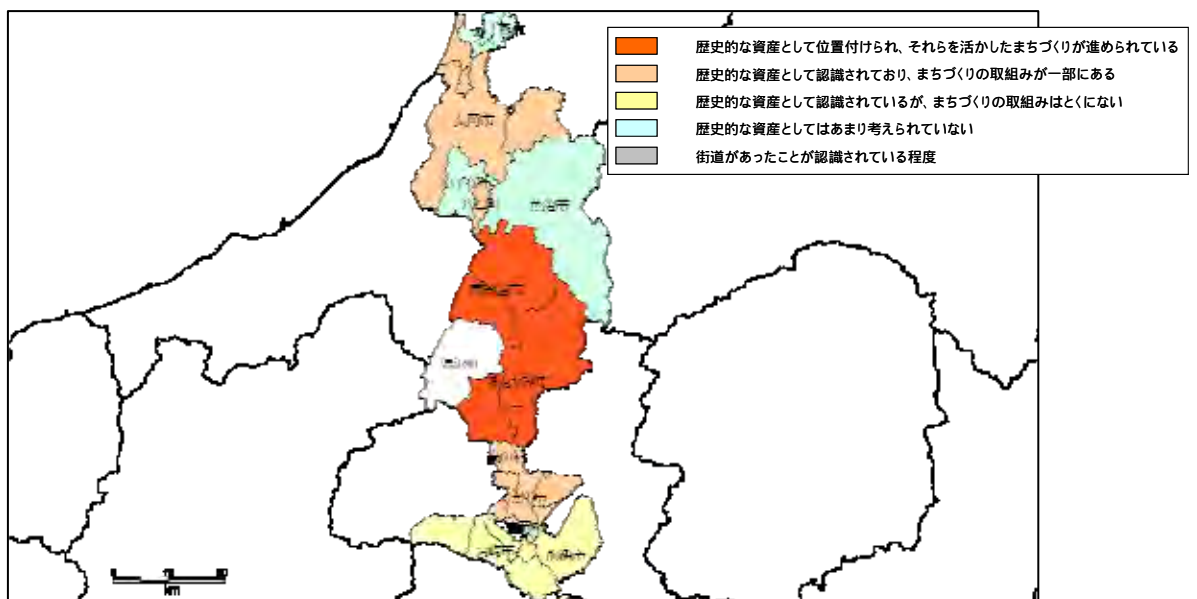
i) 街道の状況

三国街道では、殆どの市町村において街道沿いに歴史的な建物や史跡が残されている。



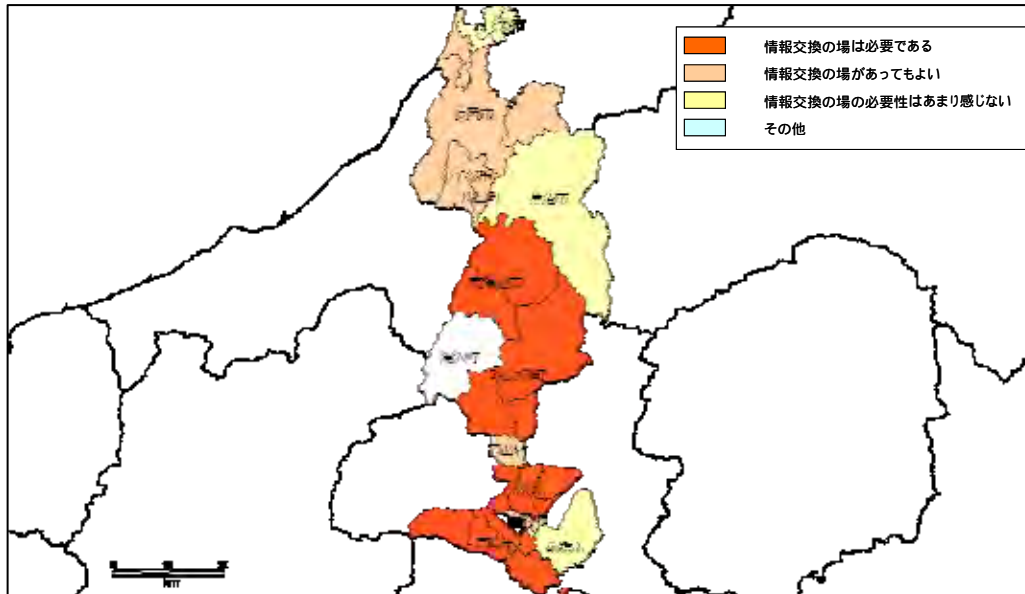
ii) 街道の位置づけ

三国街道では、群馬県みなかみ町、新潟県南魚沼市において街道を活かしたまちづくりが進められている。



iii) 連絡会議の設置について

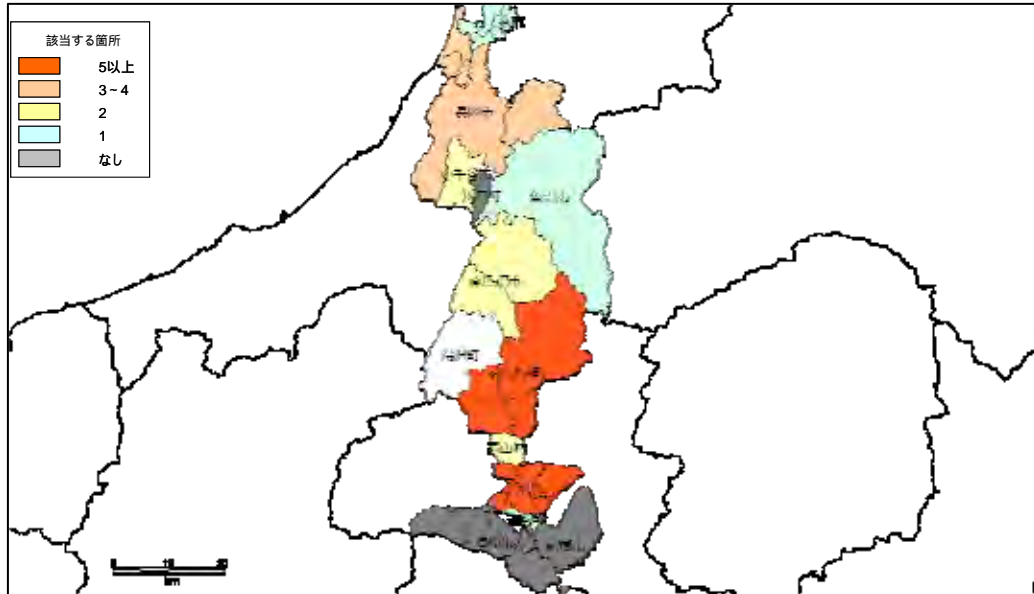
また、連絡会議の設置については、殆どの市区町村で必要性の認識はあるものの、現在、まちづくりの取組みがある市町村とない市町村での認識が大きく分かれる傾向がある。



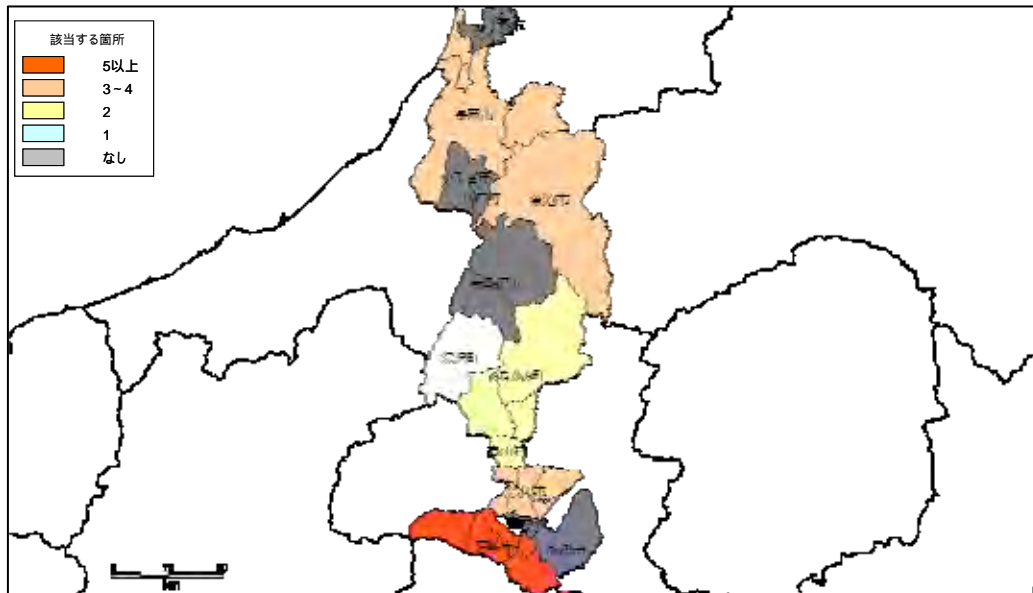
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示をおこなった。三国街道においては、群馬県渋川市、皆川市、新潟県長岡市で取組が活発におこなわれている他は、取組みはほとんど行われていない。また、今後の実施については概ね意欲的である。

<実施している>



<実施したい>

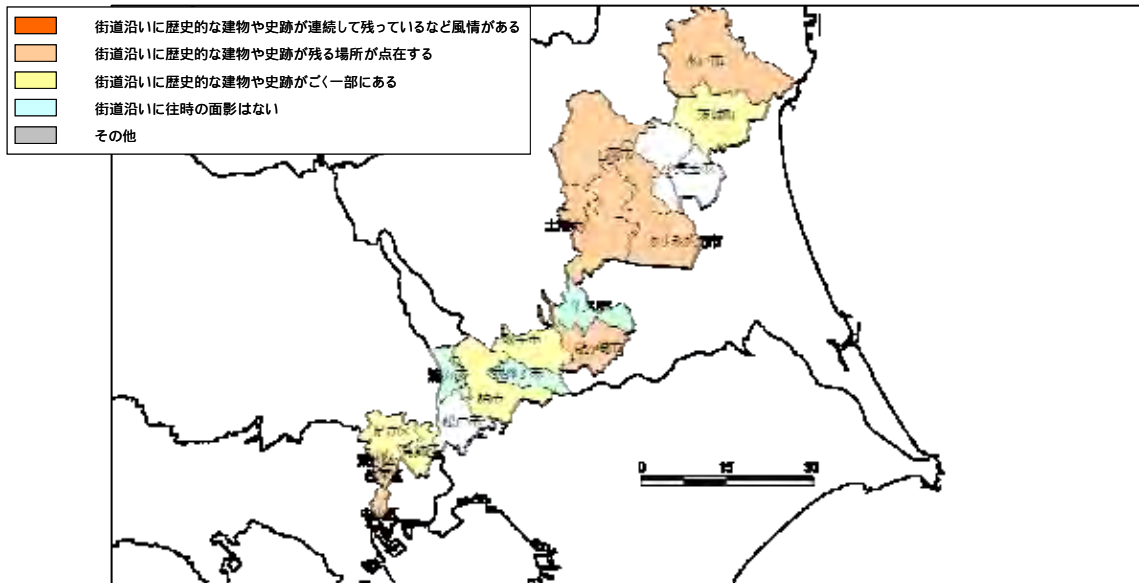


水戸街道

水戸街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

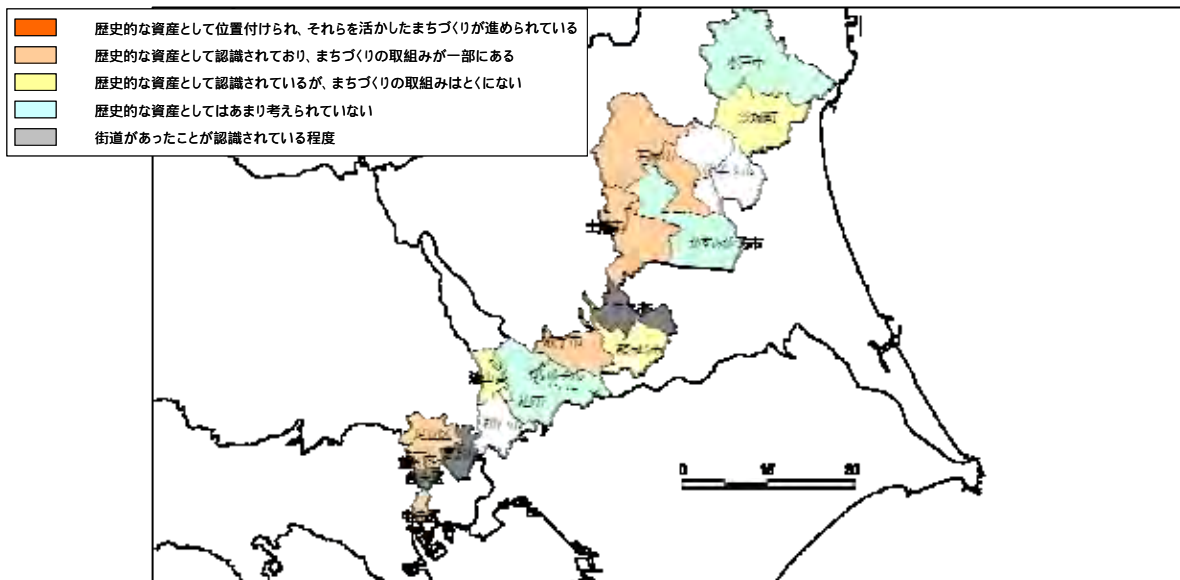
i) 街道の状況

水戸街道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られず、歴史資源が残っている市町村は、東京から離れた地域に多くみられる。



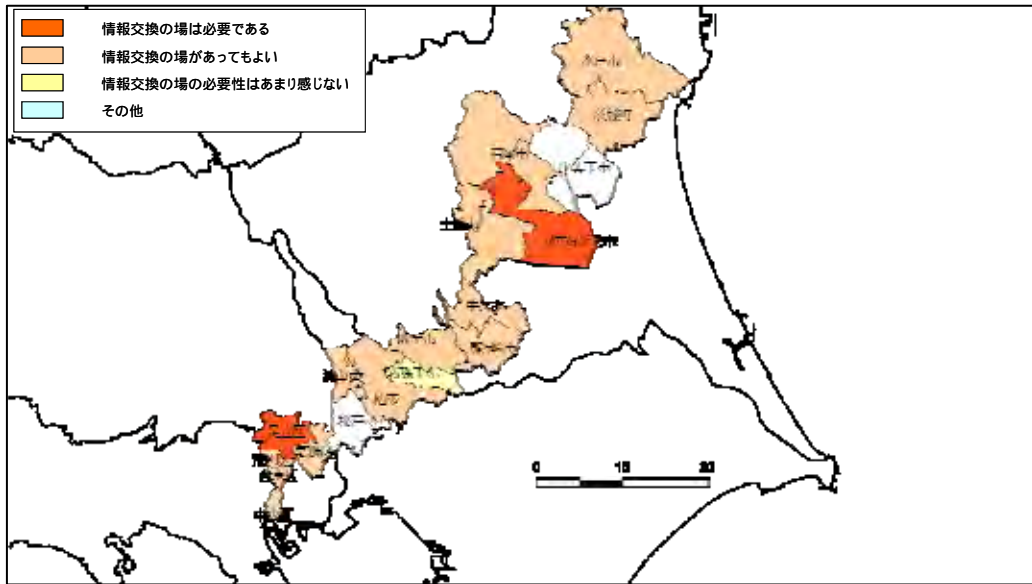
ii) 街道の位置づけ

水戸街道では、街道を活かしたまちづくりの取組みが一部にある市区町村が点在しているに留まっており、全体的に各市町村において街道の位置づけは低い。



iii) 連絡会議の設置について

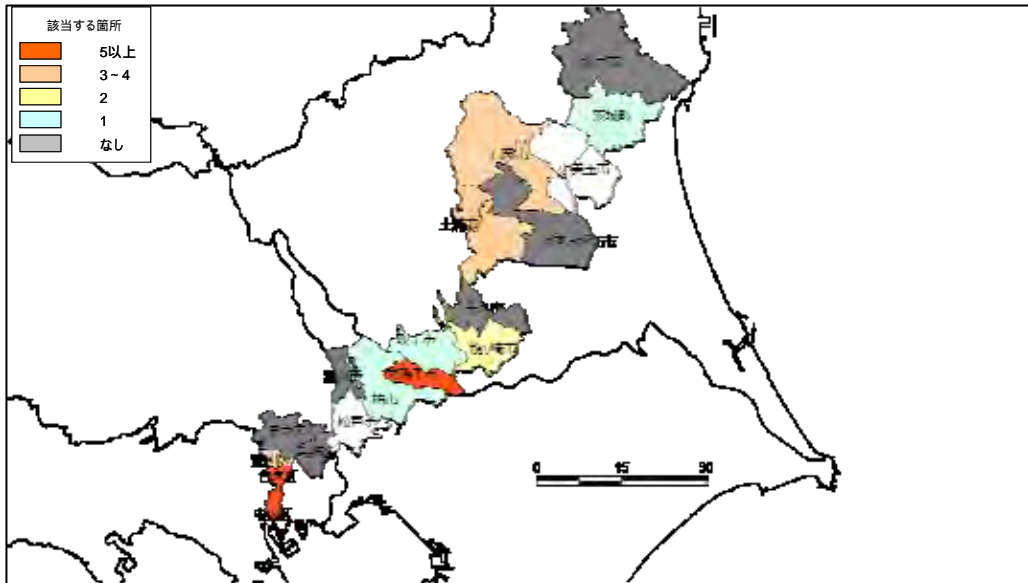
水戸街道では、殆どの市町村で連絡会議の設置について必要性を感じている。特に、東京都足立区、茨城県かすみがうら市において必要性の認識が高い。



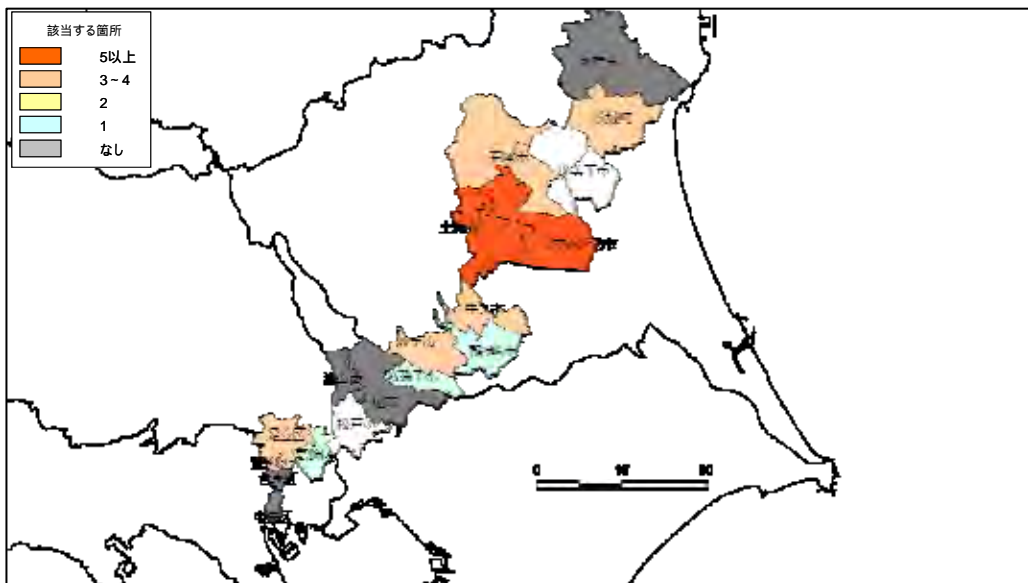
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示をおこなった。水戸街道においては、東京都中央区、台東区、千葉県我孫子市、茨城県土浦市、石岡市で取組が活発におこなわれている他は、取組みはほとんど行われておらず、全体的に歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況は活発ではない傾向がみられる。しかし、今後の実施については茨城県を中心に意欲的な市町村も多くみられるため、今後の活動が期待される。

<実施している>



<実施したい>

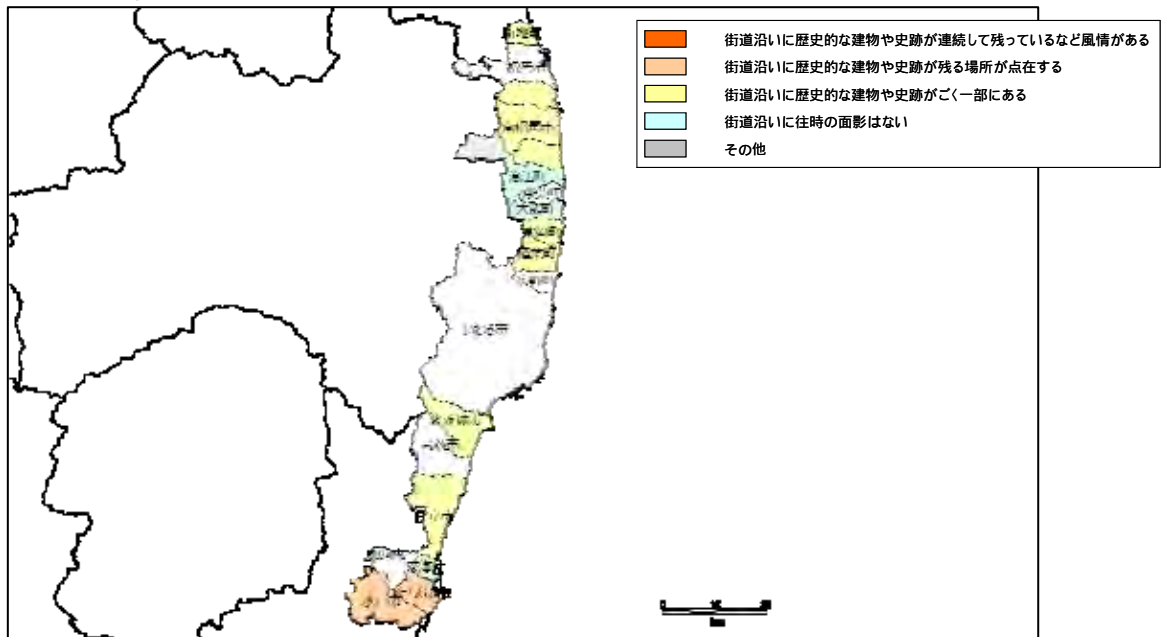


陸前浜街道

陸前浜街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

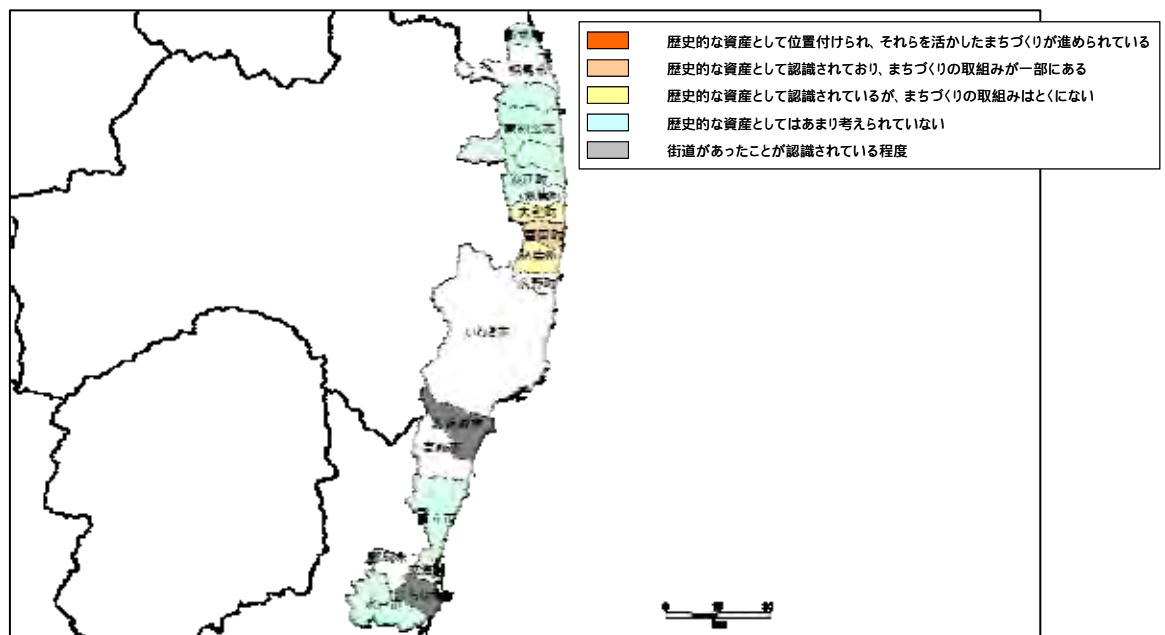
i) 街道の状況

陸前浜街道では、殆どの市町村において街道沿いに歴史的な建物や史跡がごく一部に残る程度となっている。



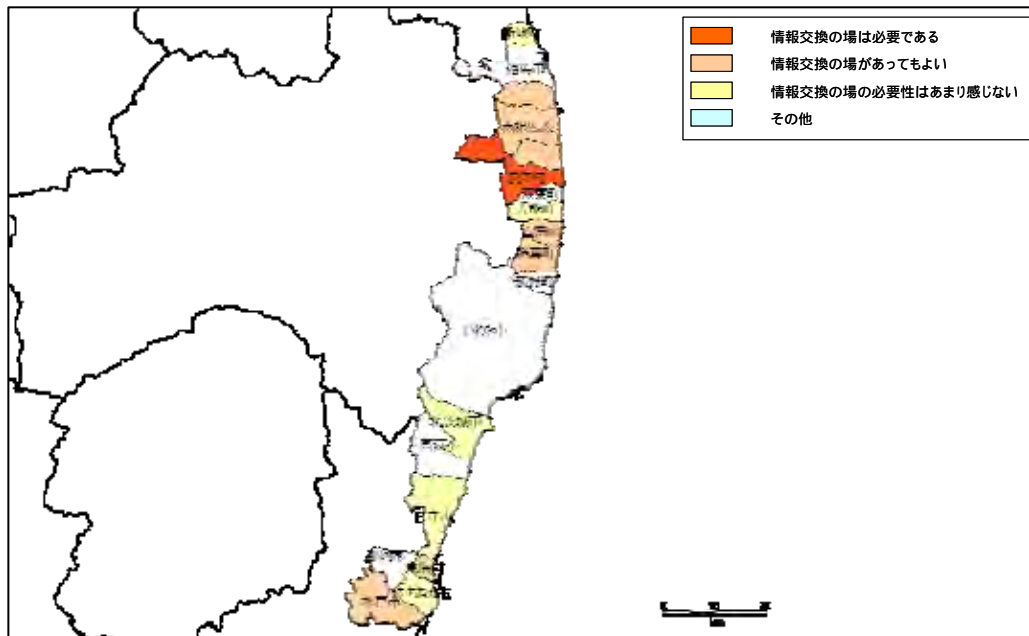
ii) 街道の位置づけ

陸前浜街道では、福島県富岡町において街道を活かしたまちづくりの取組みが一部にある他は、街道を歴史的な資産として認識していない市町村が殆どである。



iii) 連絡会議の設置について

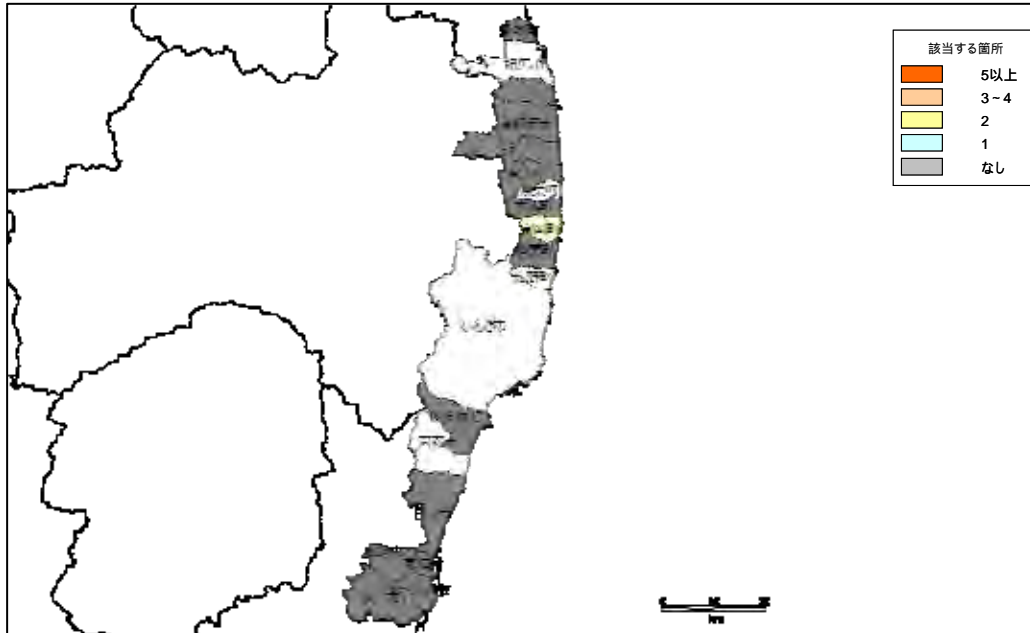
陸前浜街道では、福島県の市町村で情報交換の場の必要性の認識が高い。



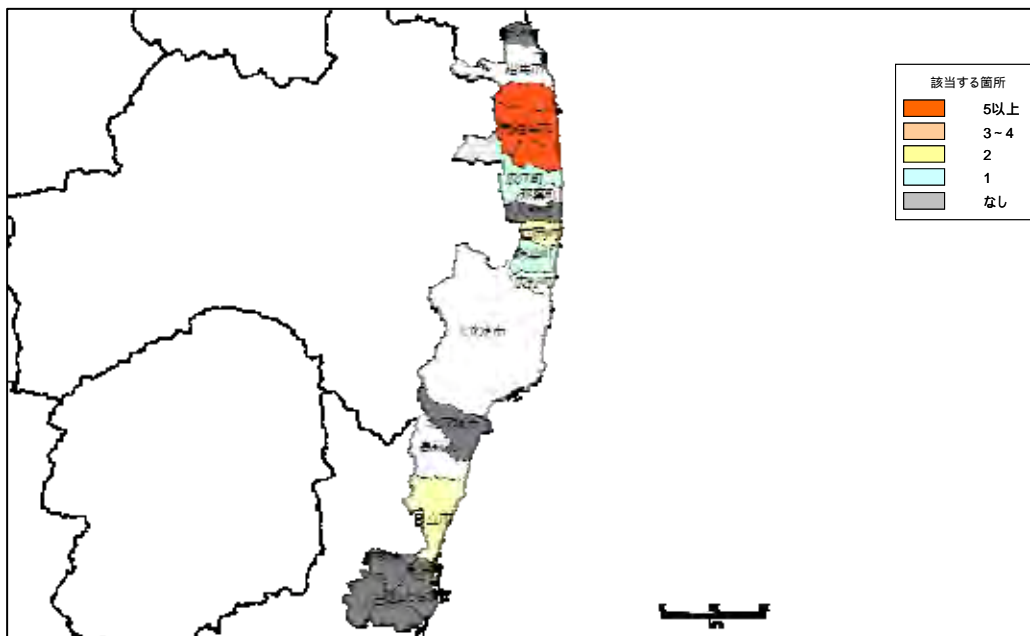
iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示をおこなった。陸前浜街道においては、街道を活かしたまちづくりの取組は殆どの市町村で全く行われていない。今後の実施については福島県南相馬市でのみ意欲的である。

<実施している>



<実施したい>

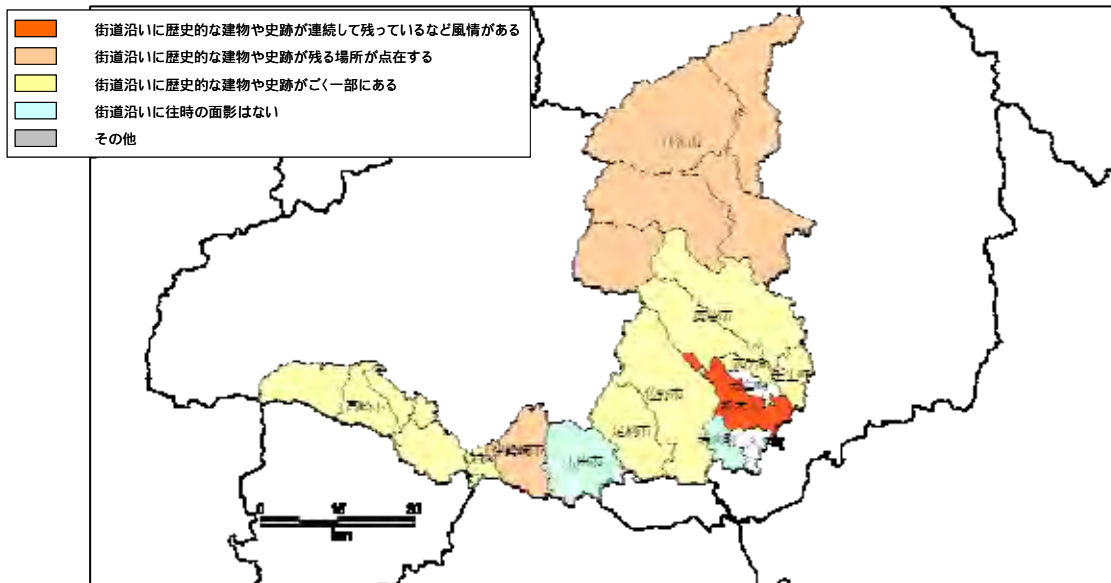


日光例幣使街道・日光壬生道

日光例幣使街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

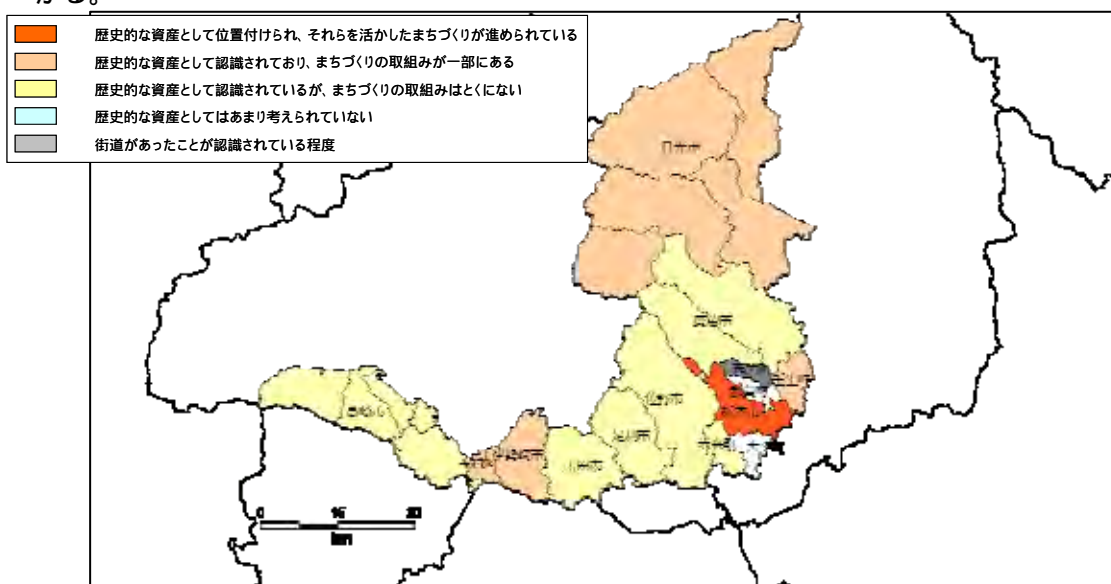
i) 街道の状況

日光例幣使街道では、栃木市において歴史的な建物や史跡が連続して残っており、殆どの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



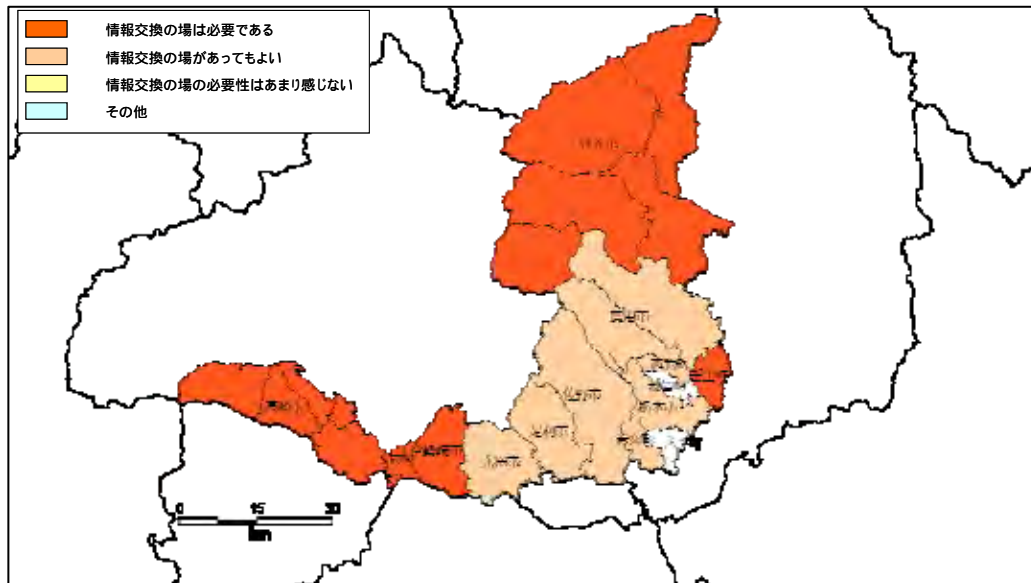
ii) 街道の位置づけ

日光例幣使街道では、栃木市において歴史的な建物や史跡が連続して残っており、また、殆どの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



iii) 連絡会議の設置について

日光例幣使街道では、情報交換の場の必要性の認識が非常に高い。

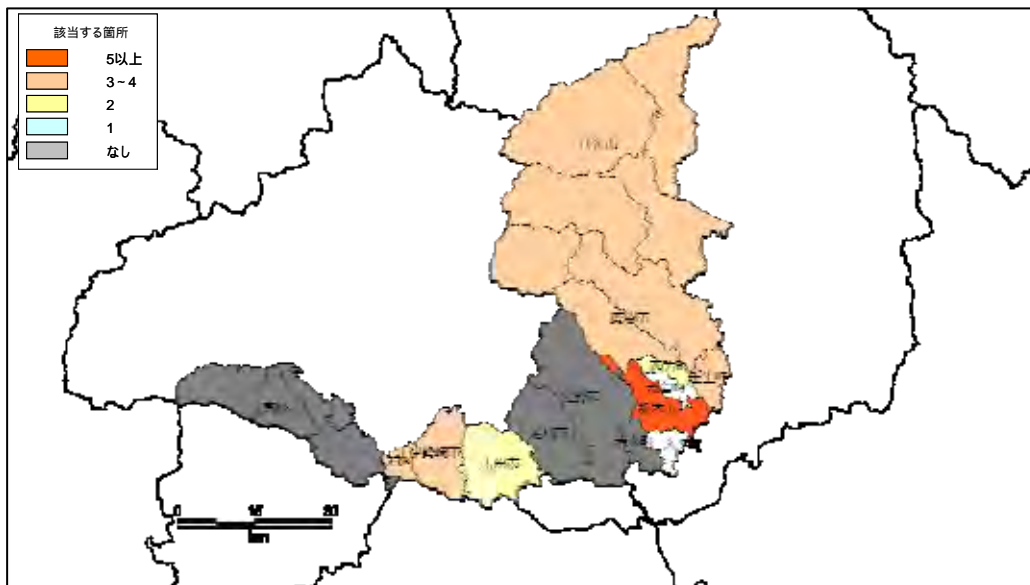


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

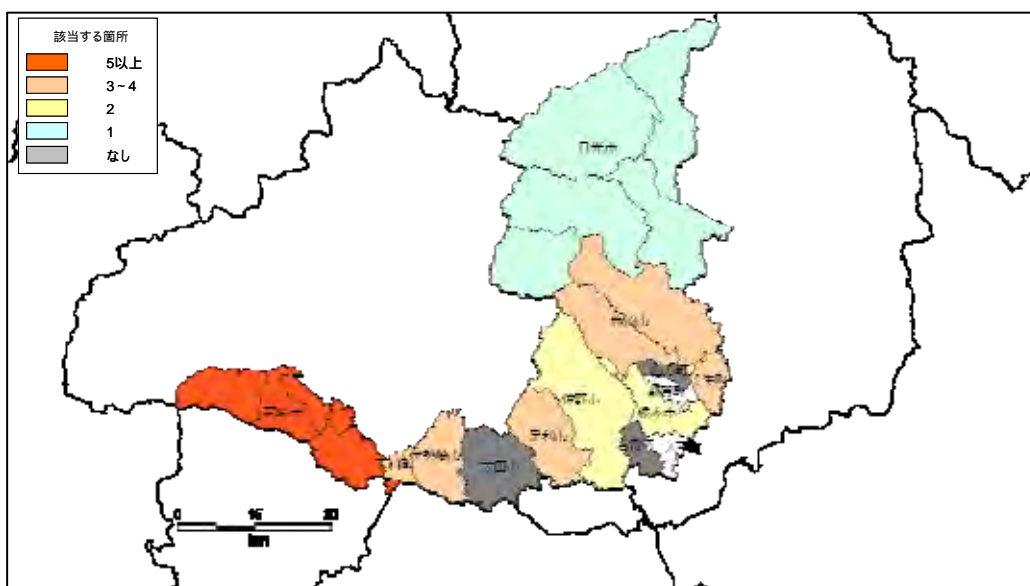
歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

日光例幣使街道においては、取組みが活発な市町村は主に栃木市から以北の地域で見られるが、現在あまり取組みが行われてない市町村では、今後実施したいと回答している項目が多く、今後の活動の活発化に期待できる。

<実施している>



<実施したい>

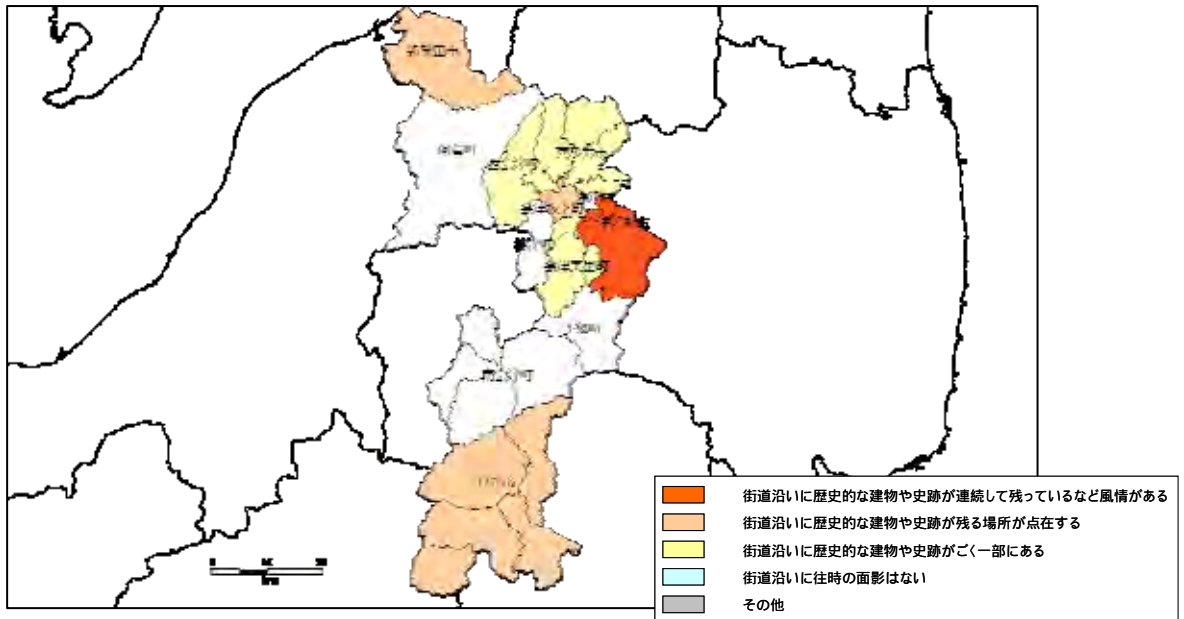


会津街道・会津通り

会津街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

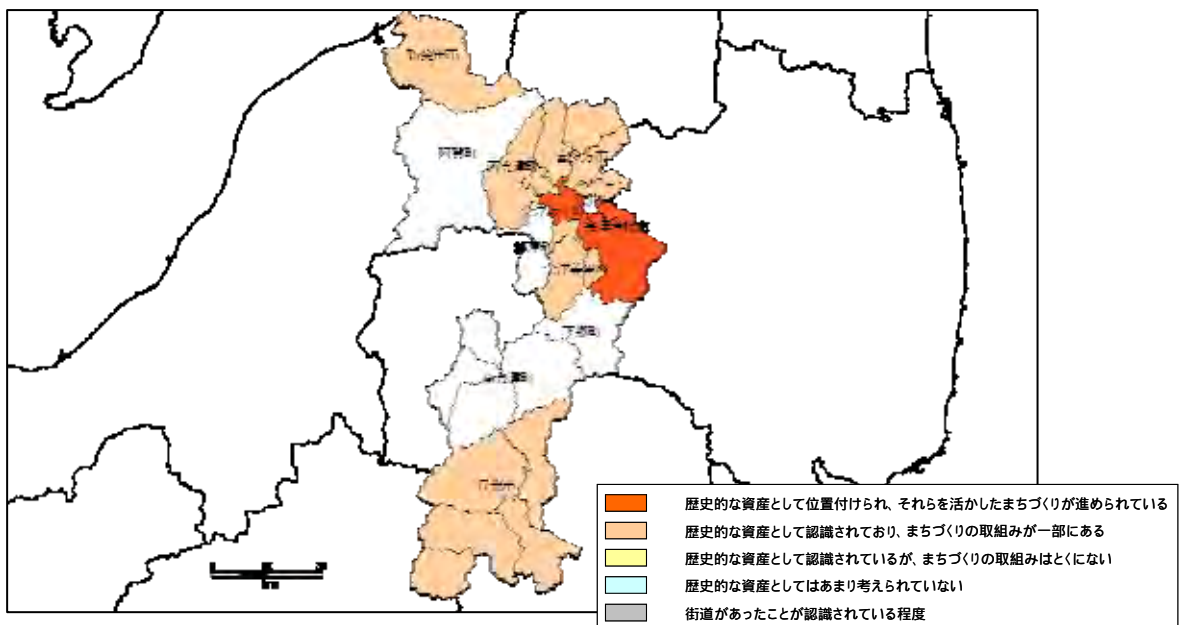
i) 街道の状況

会津街道では、会津若松市において歴史的な建物や史跡が連続して残っており、また、殆どの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



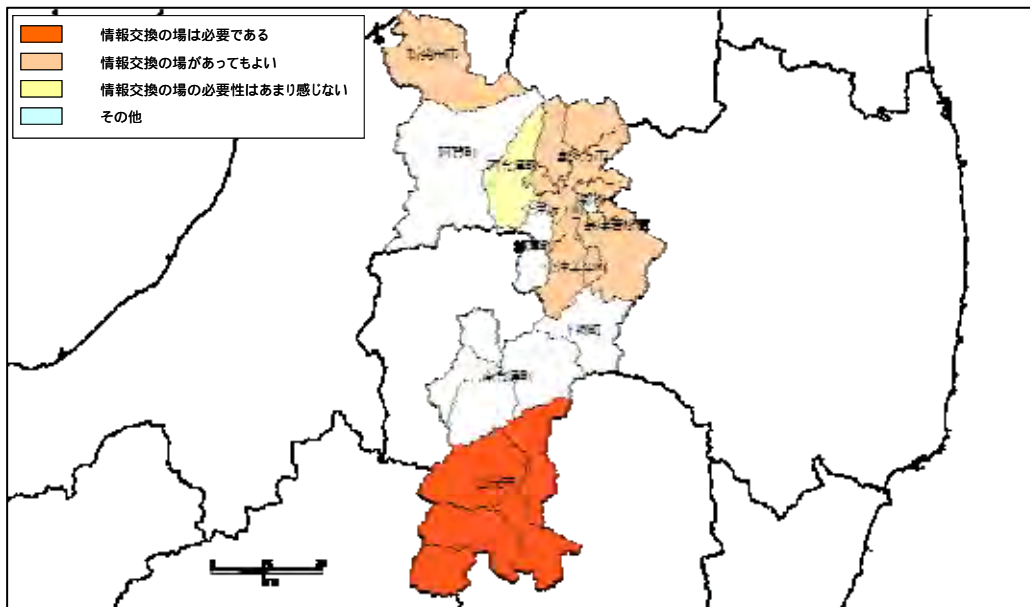
ii) 街道の位置づけ

会津街道では、各市町村における街道の位置づけが高く、殆どの市町村において、街道を活かしたまちづくりの取組みが行われている。



iii) 連絡会議の設置について

会津街道では、情報交換の場の必要性の認識が非常に高い。

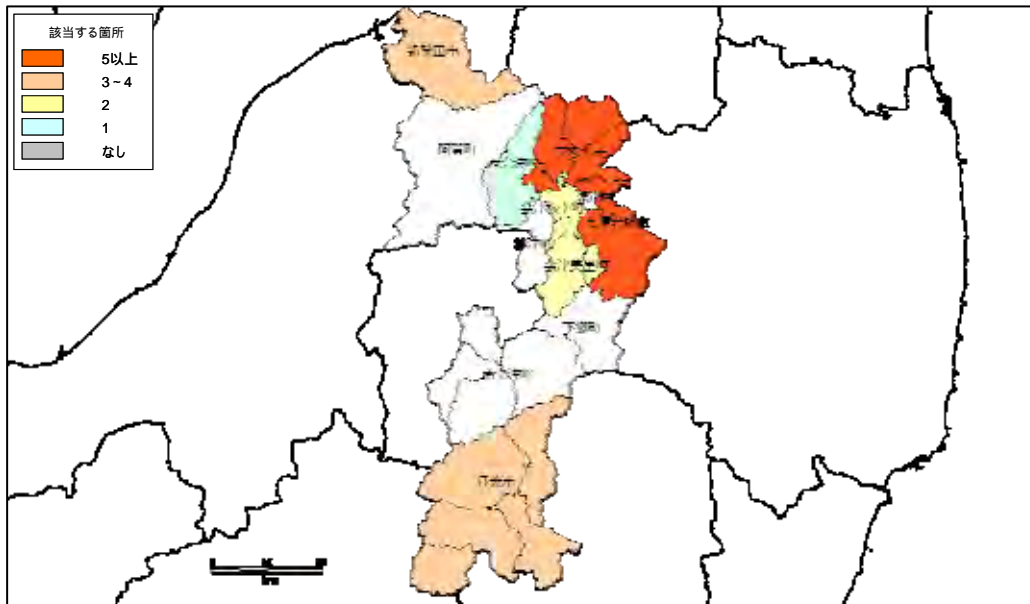


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

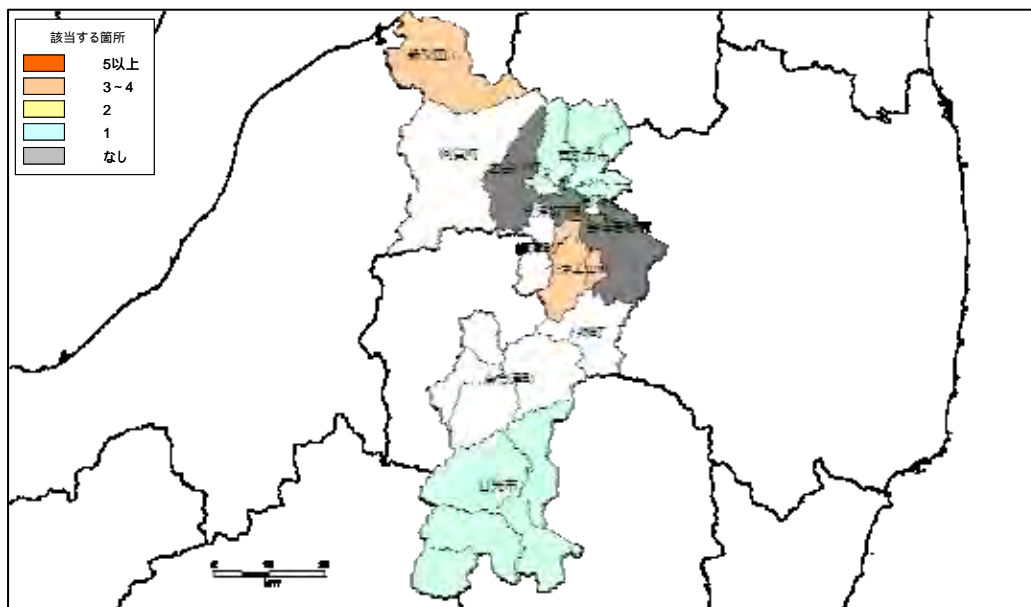
歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

会津街道においては、取組みが活発な市町村が多く、特に、会津若松市、喜多方市で活発である。

<実施している>



<実施したい>

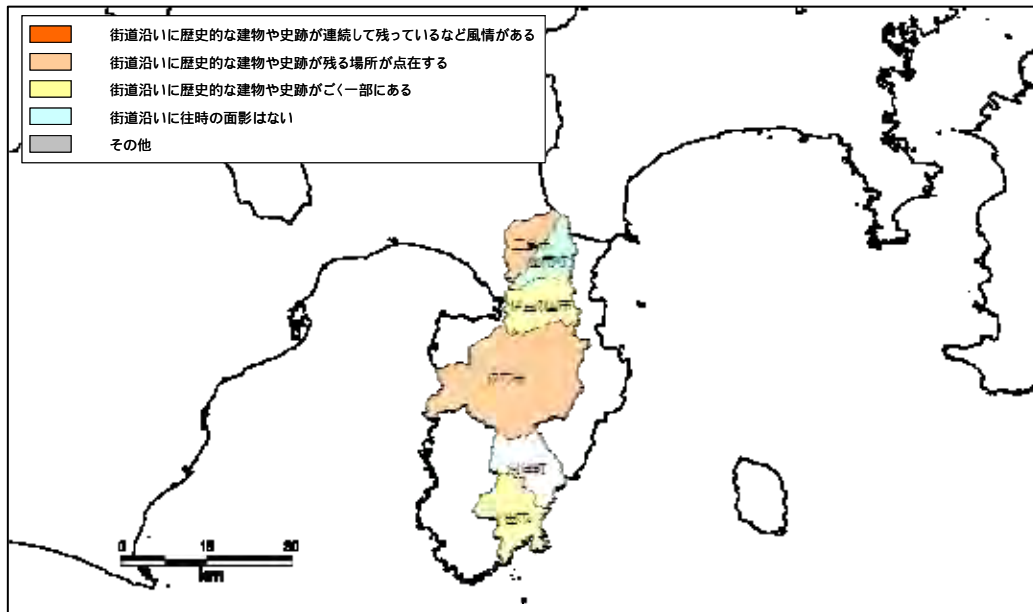


下田街道

下田街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

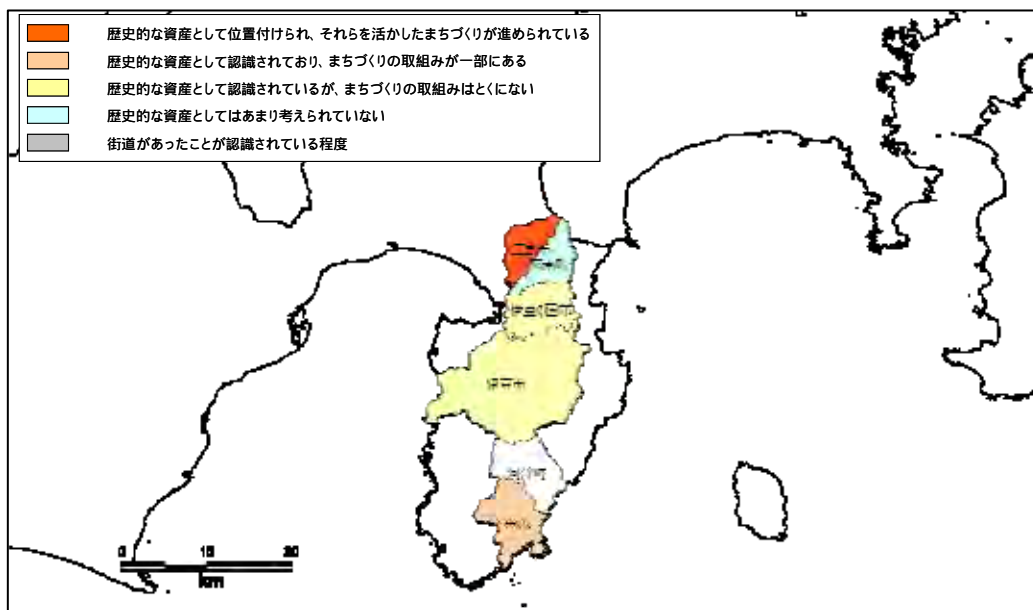
i) 街道の状況

下田街道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られないが、多くの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



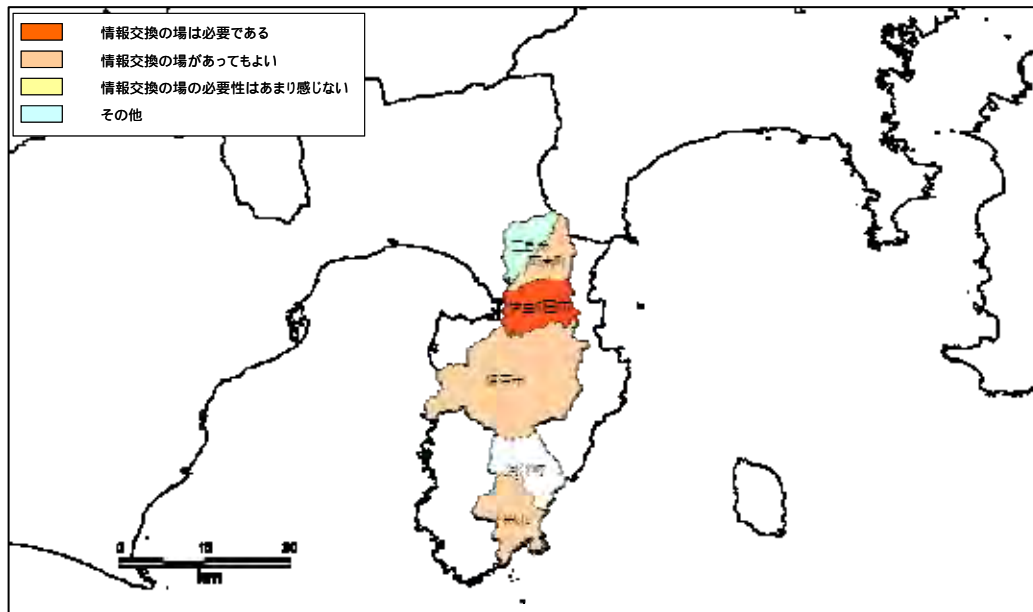
ii) 街道の位置づけ

下田街道では、起点である三島市と終点である下田市では街道の位置づけが高いが、その他の市町村ではまちづくりの取組みはみられない。



iii)連絡会議の設置について

下田街道では、情報交換の場の必要性の認識が非常に高い。

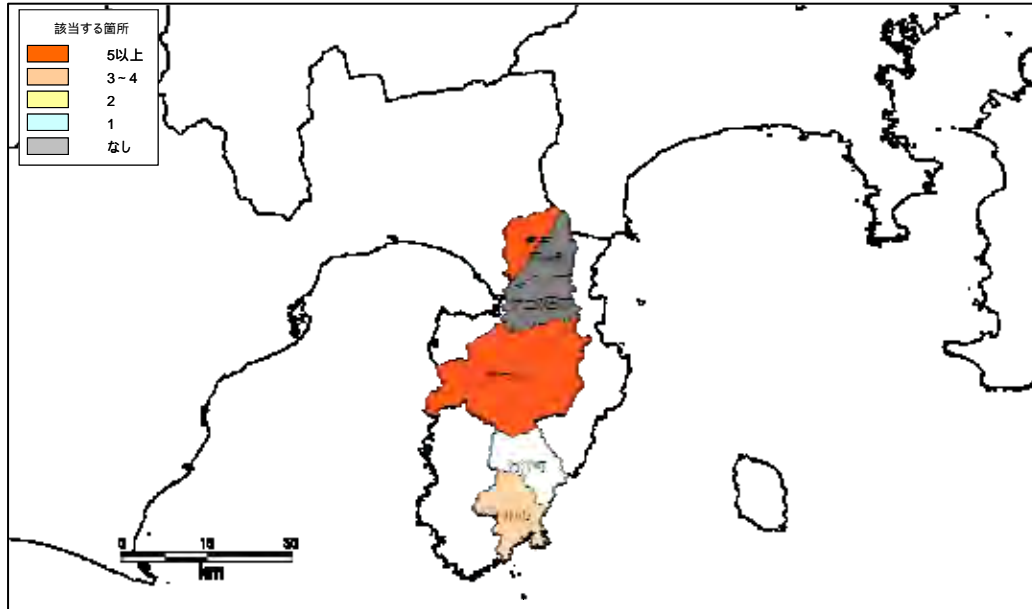


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

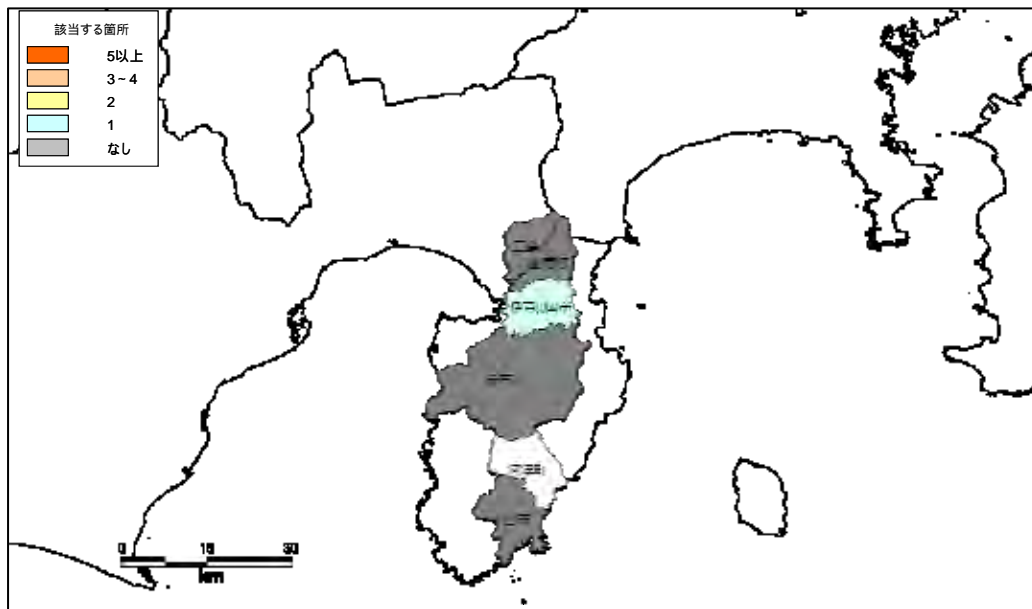
歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

会津街道においては、歴史資源を活かした取組みが活発な市町村が多く、特に静岡県三島市、伊豆市で取組み数が多い。しかし、今後の活動についてはあまり期待できない。

<実施している>



<実施したい>

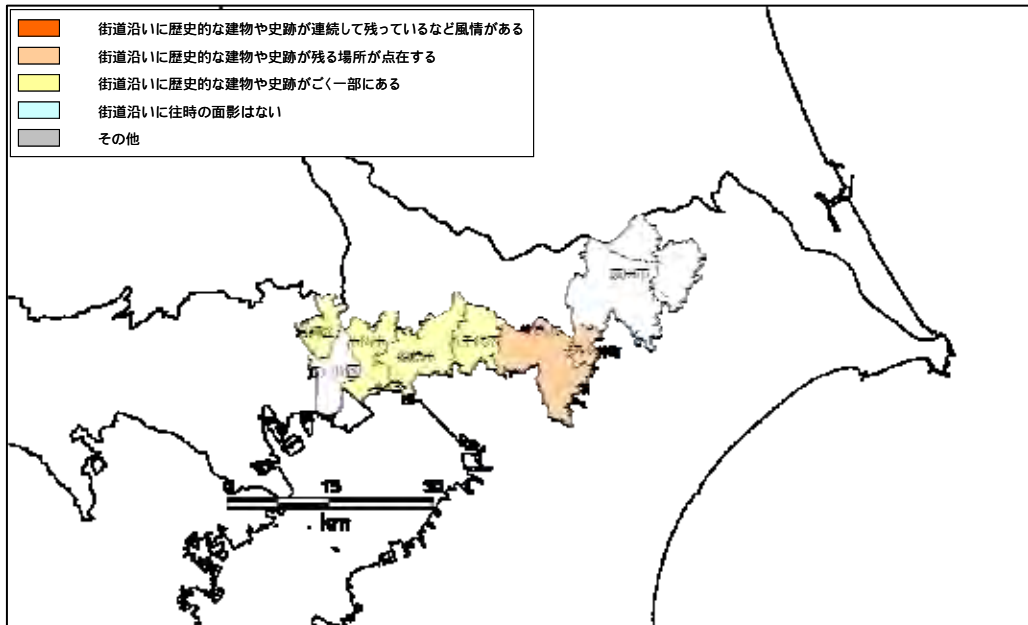


成田道

甲州街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

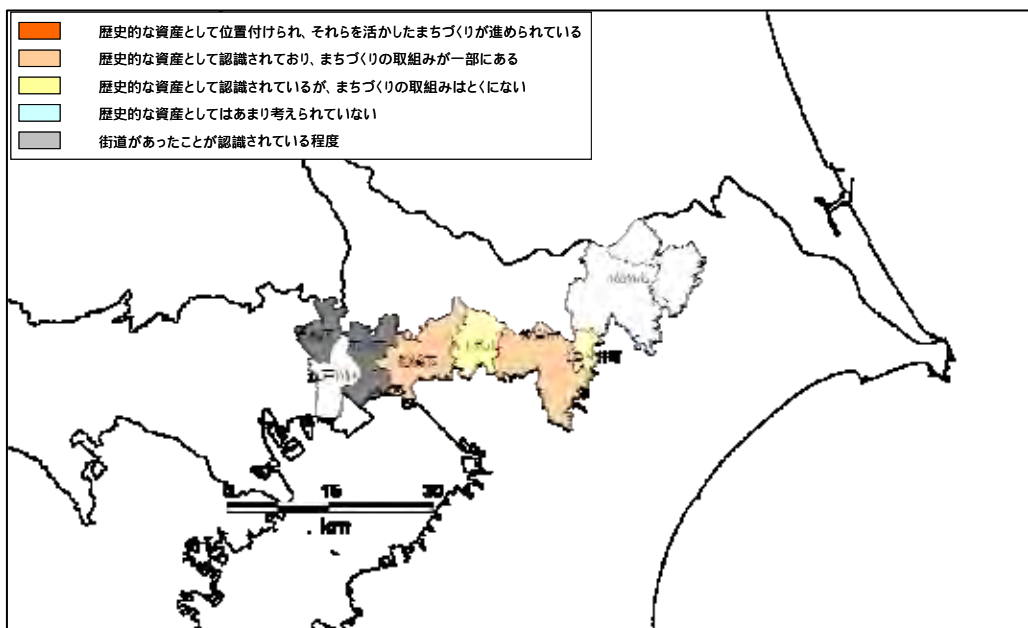
i) 街道の状況

成田道では、殆どの市町村において街道沿いに歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に残る程度となっている。



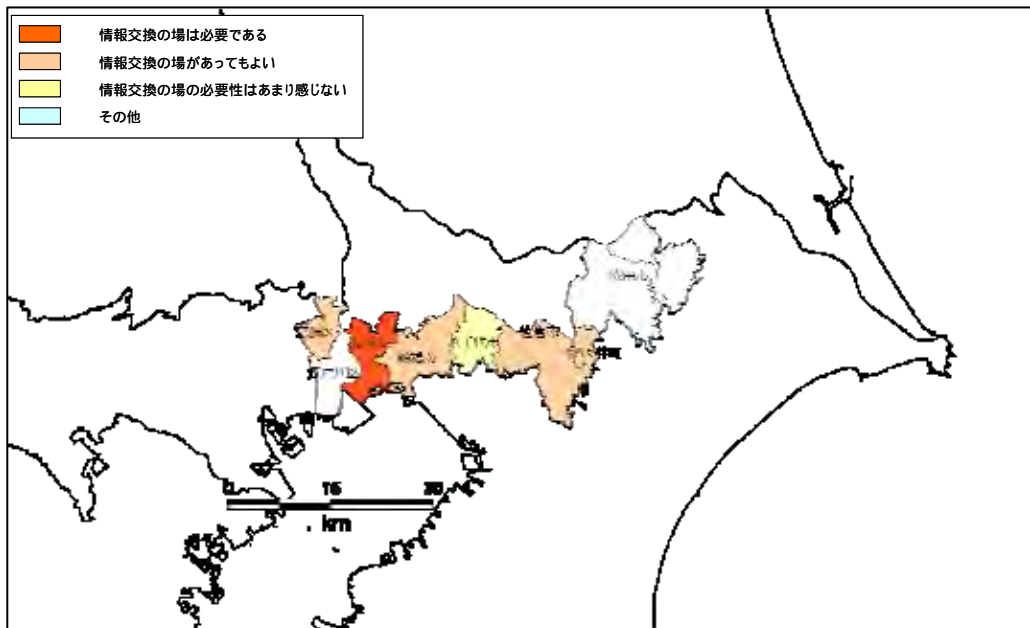
ii) 街道の位置づけ

成田道では、千葉県船橋市、佐倉市において街道を活かしたまちづくりの取組みが一部にある他は、街道を活かしたまちづくりはあまり行われていない状況にある。



iii) 連絡会議の設置について

下田街道では、情報交換の場の必要性の認識は高い。

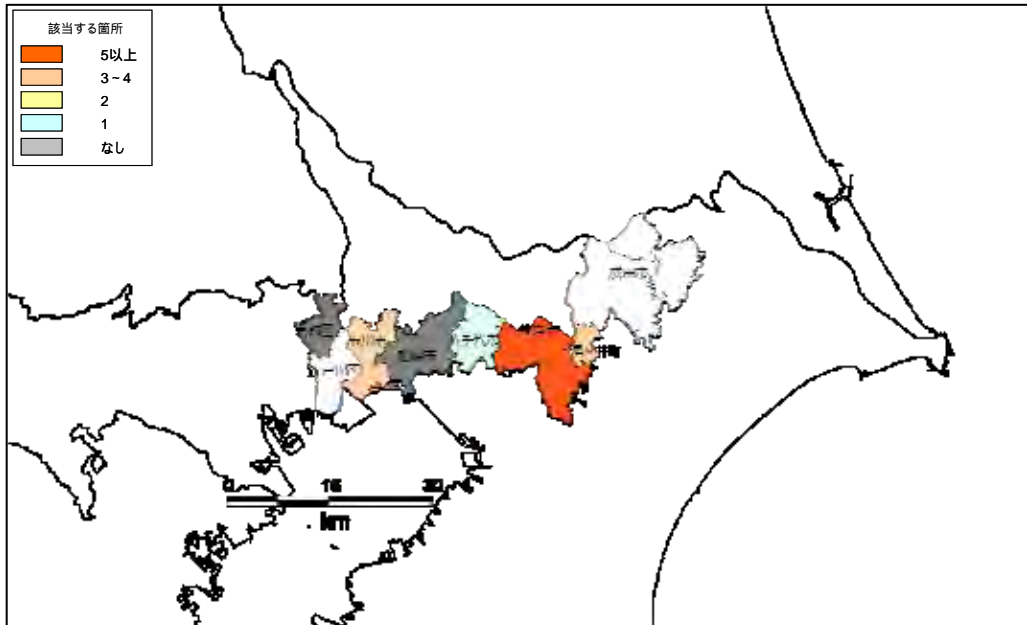


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

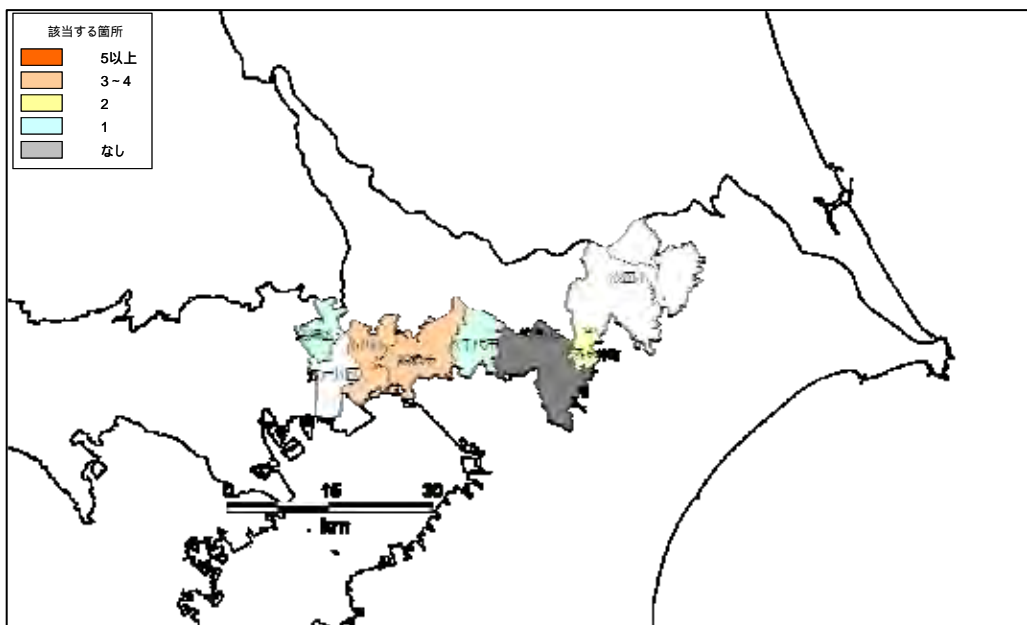
歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

成田道においては、街道の歴史的な資産がごく一部に残る佐倉市、酒々井町において取組みが行われている。また、街道の位置づけが低い市川市においても歴史資源を活かした取組みは多く実施されている。

<実施している>



<実施したい>

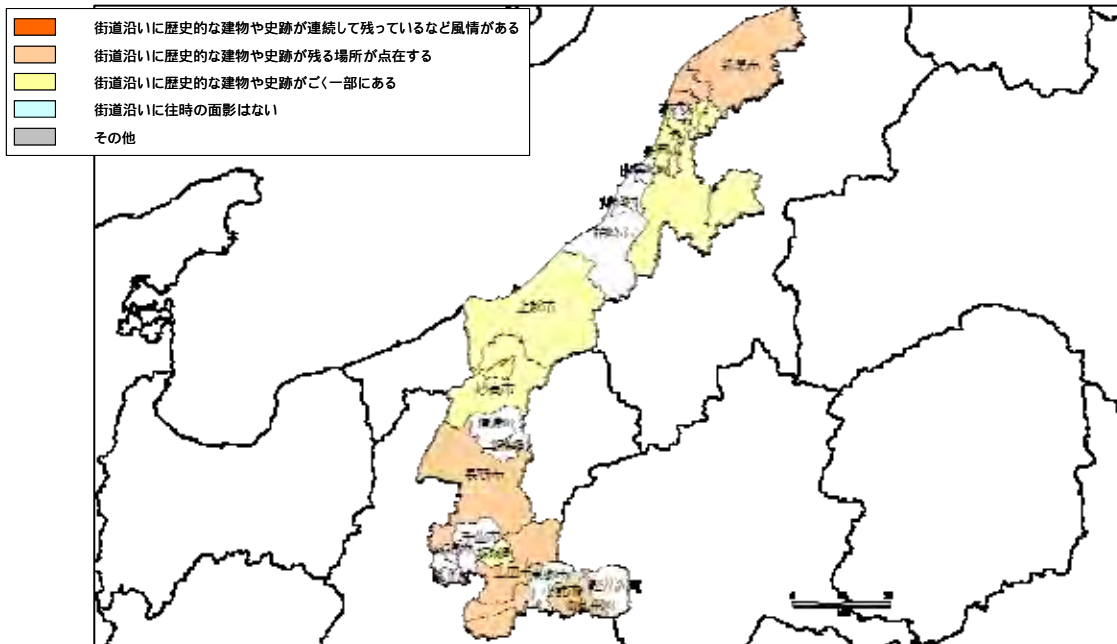


北国街道・北国西街道

北国街道・北国西街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

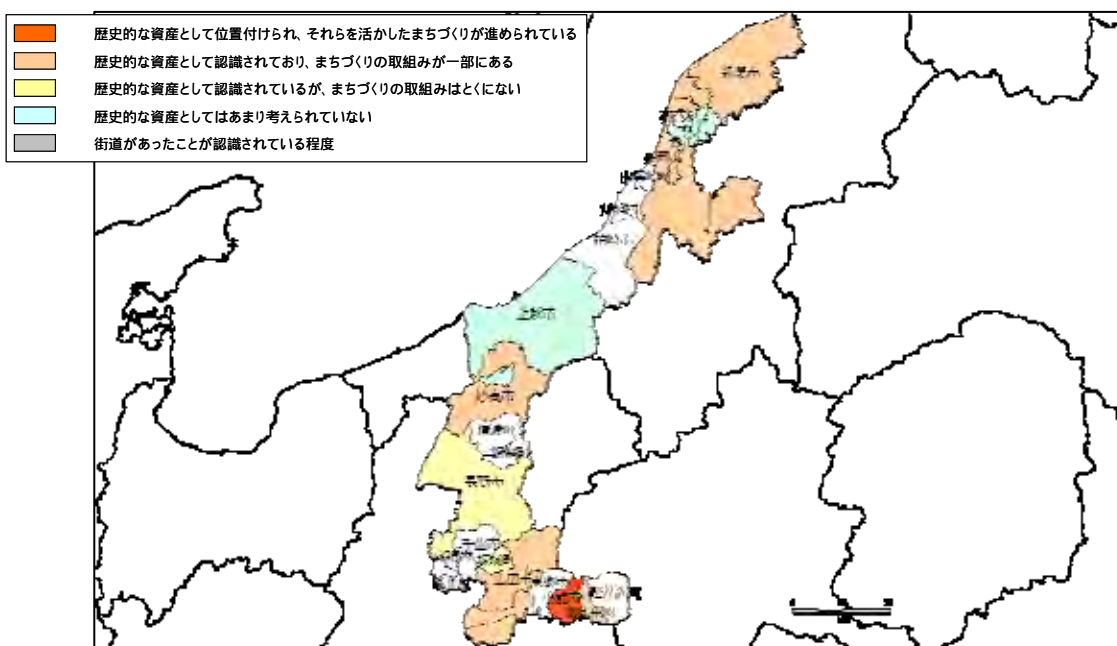
i) 街道の状況

北国街道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られないが、殆どの市区町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



ii) 街道の位置づけ

北国街道では、街道を活かしたまちづくりが行われている市町村が多くみられ、特に街道の起点・終点付近の市町村でまちづくりの取組が行われている傾向にある。

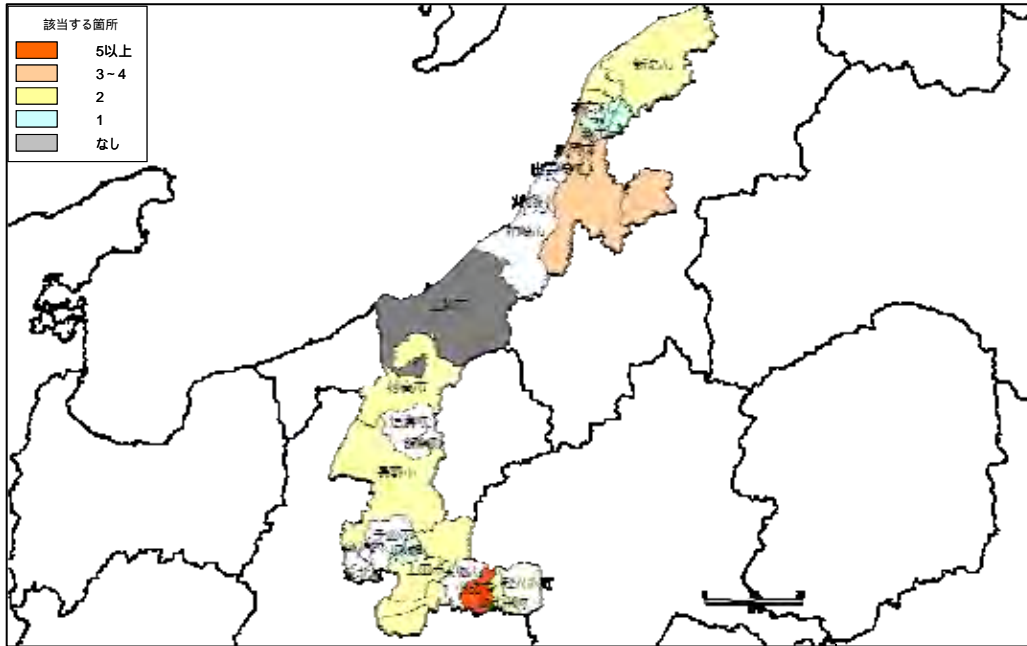


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

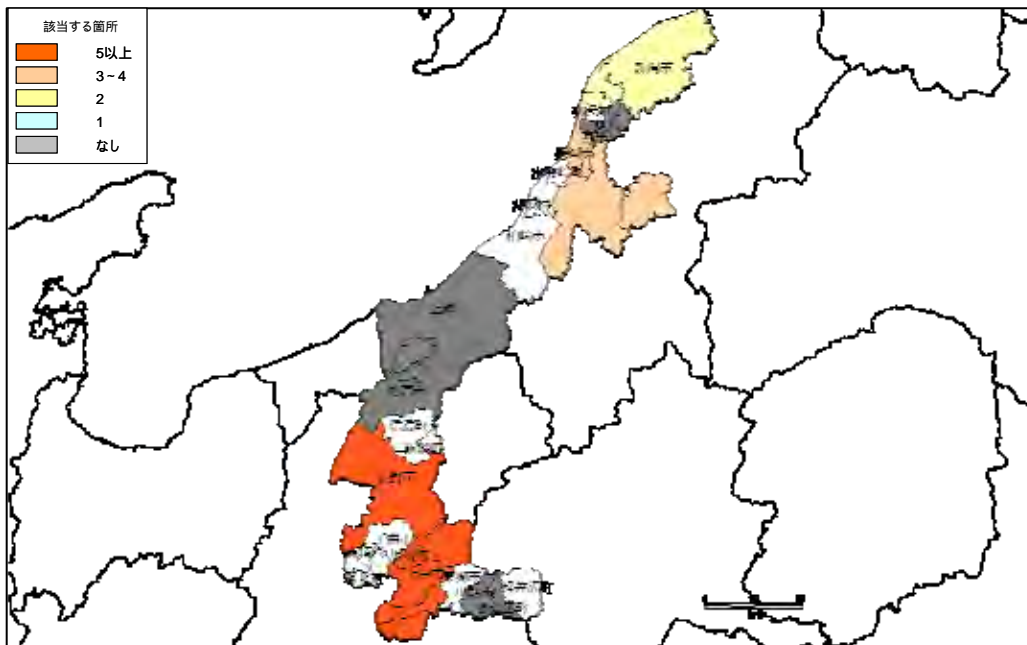
歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

北国街道においては、歴史資源を活かしたまちづくりは、長野県小諸市、新潟県長岡市で活発であり、両市は街道の位置づけも高い市である。今後の活動については、特に長野県の市町村で意欲的であり、今後の活動の活発化が期待される。

<実施している>



<実施したい>

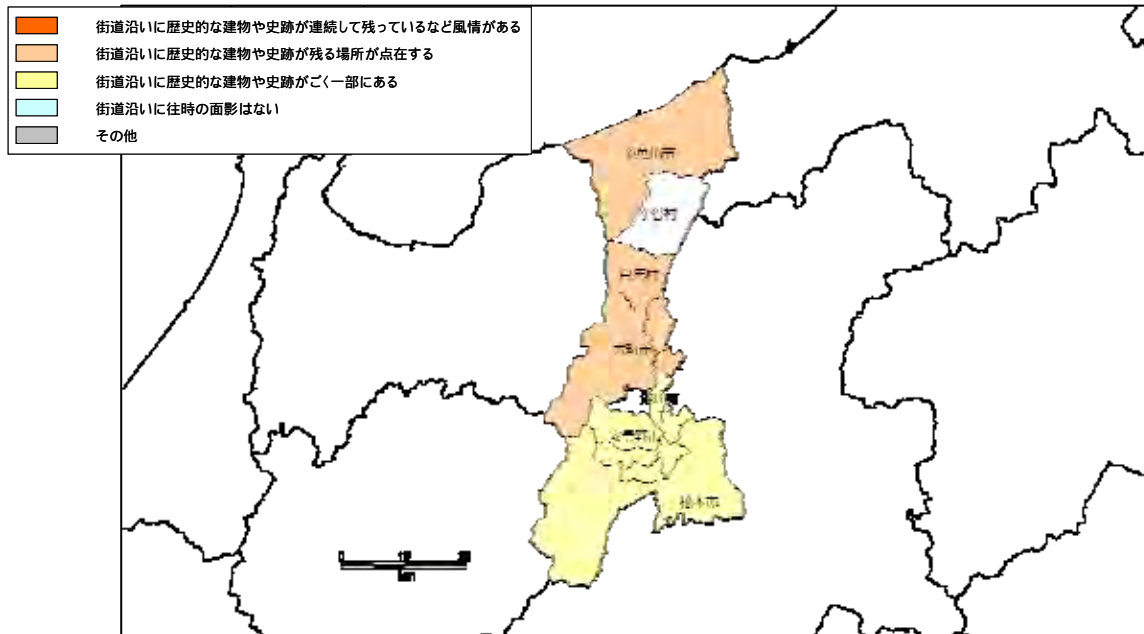


千国街道

千国街道が通過している市区町村へのアンケート結果の中で、「問2 街道の状況」、「問3 街道の位置づけ」、「問6 連絡会議の設置等」、「問9 歴史資源を活かしたまちづくりの取組の実施状況およびこれから実施したいもの」について整理した。

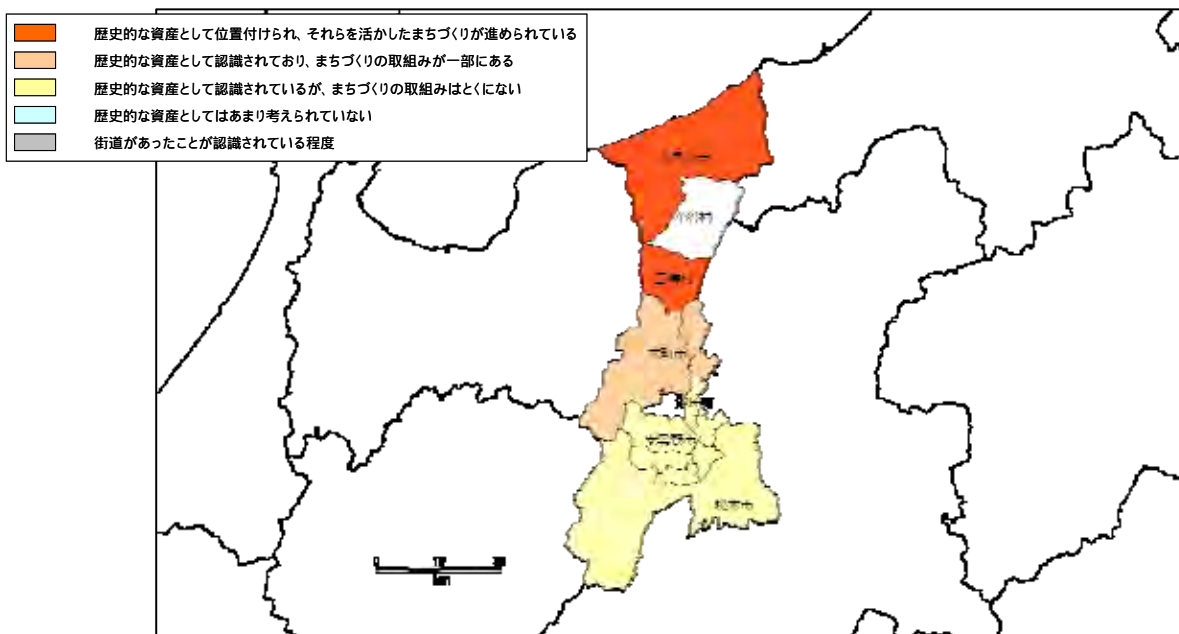
i) 街道の状況

千国街道では、歴史的な建物や史跡が連続して残っている市町村は見られないが、各市町村において、歴史的な建物や史跡が点在もしくはごく一部に存在していることがわかる。



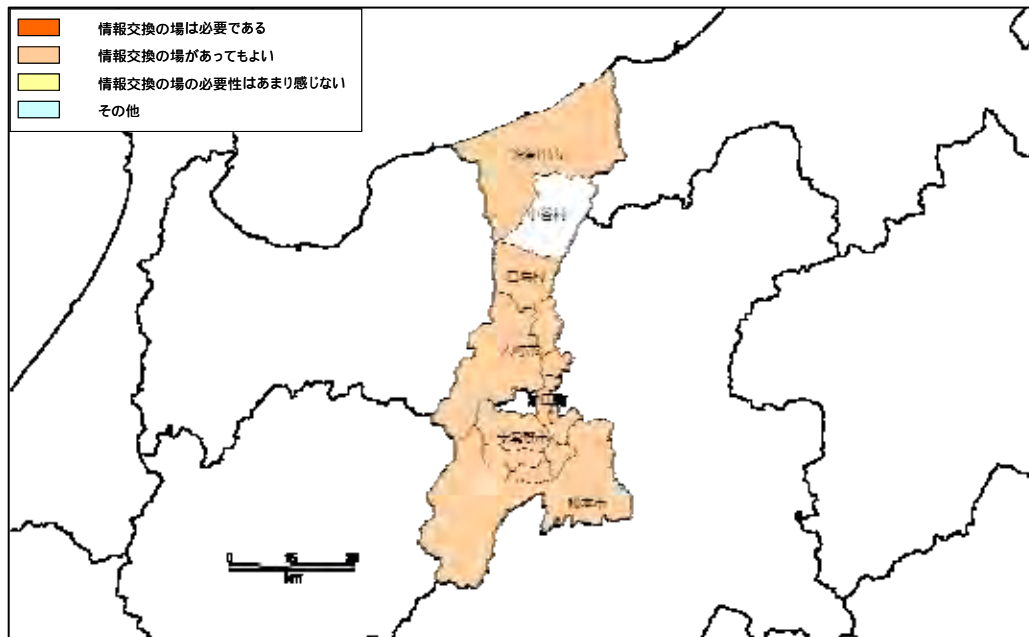
ii) 街道の位置づけ

千国街道では、街道の終点付近で、街道を活かしたまちづくりが行われている。



iii) 連絡会議の設置について

千国街道では、すべての市町村で情報交換の場があってもよいという認識であり、必要というところまでは達していない。

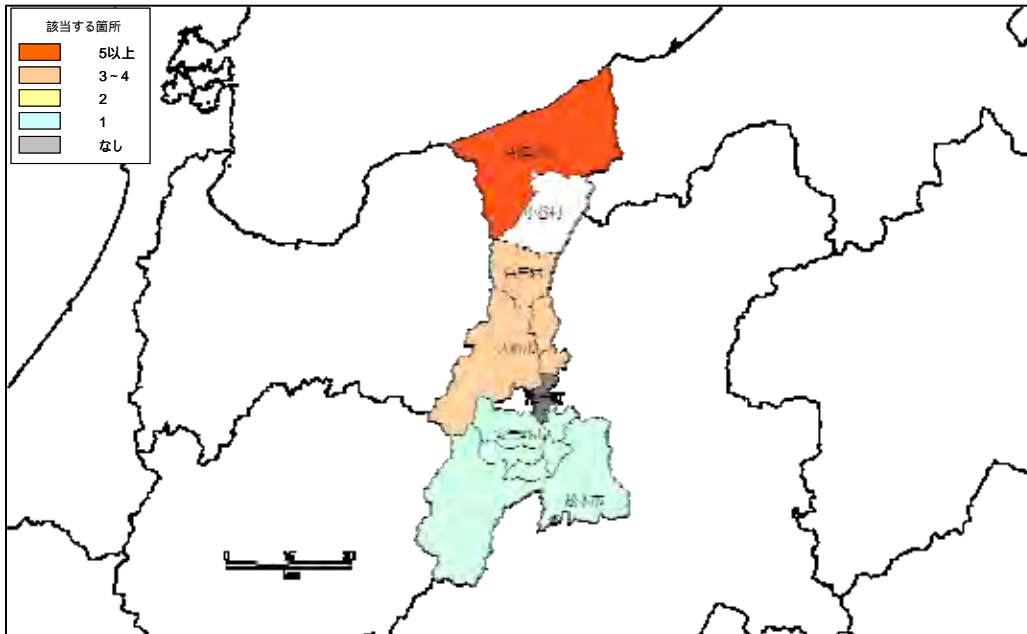


iv) 歴史資源を活かしたまちづくりの実施状況

歴史資源を活かしたまちづくりについて、取組みの該当数によって図の表示を行った。

千国街道においては、歴史資源を活かしたまちづくりは、) の街道の位置づけが高い市町村において、活動が活発である。

<実施している>



<実施したい>

